



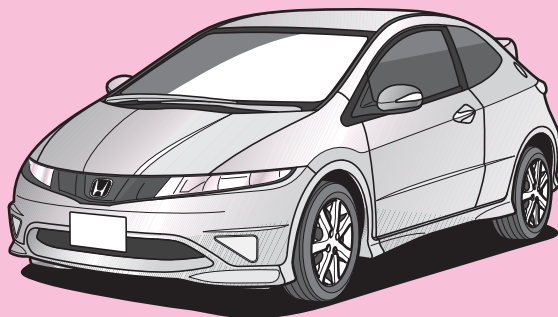
取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

CIVIC TYPE R
EURO

このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **CIVIC TYPE R** の
取り扱いについて必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



●運転はルールを守り、マナーよく。 ●シートベルトを着用しましょう。 ●法定速度を守りましょう。 ●子供やお年寄りをいたわりましょう。 ●駐停車は、ルールに従いましょう。 ●迷惑運転はやめましょう。 ●自然環境保護に気をくばりましょう。	●お車に“  ”の表示があるところは、ご使用前に本書の記載を確認してください。
	●取扱説明書は、メンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。
	●お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。
●保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。	●ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読5ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

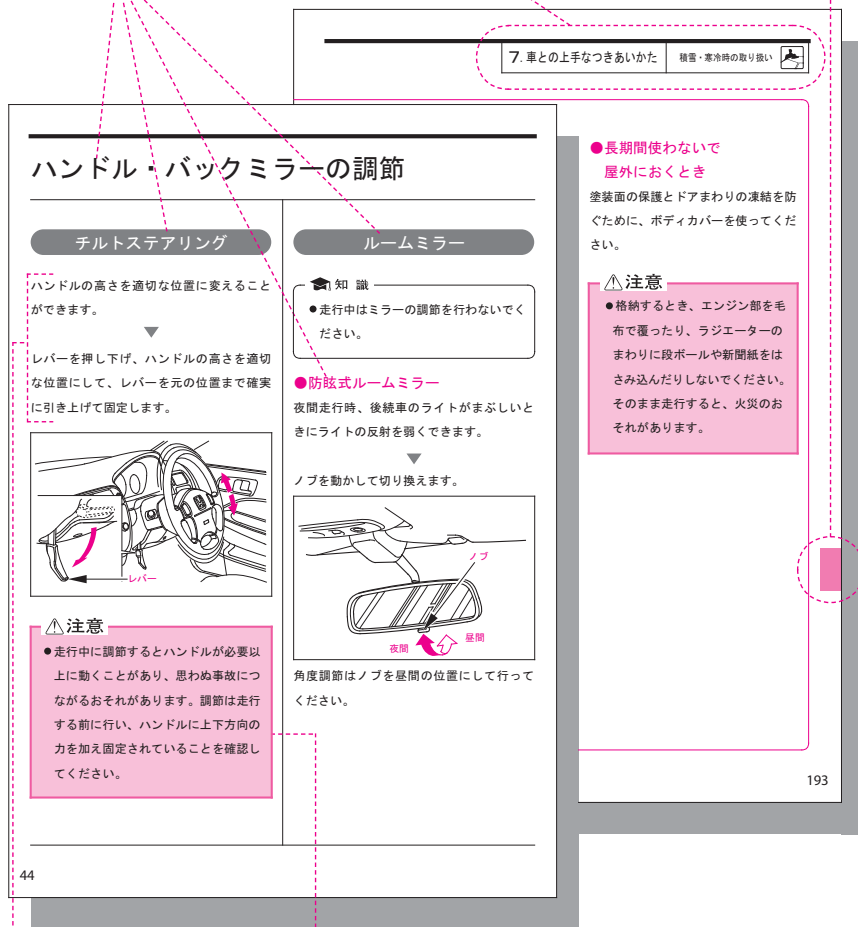
タイトル

階層ごとにデザインを
変えています

ヘッダー

ページの内容を
示しています

ページ インデックス (→4ページ)



説明文

装置／機構について

解説
▼
操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.6)

ページインデックス：

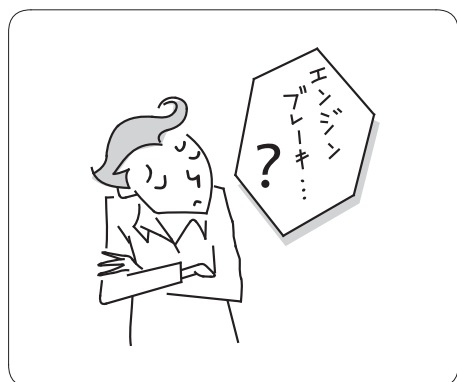
目次と対応しているので、目的のページが
辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



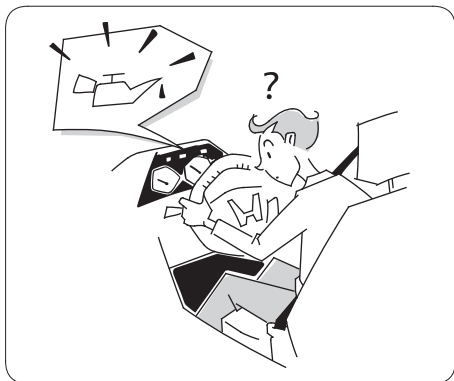
ビジュアル目次
(P.8～P.13)



名称から探すとき



さくいん
(P.332)



メーター内にランプ(警告灯)が
点灯したとき



警告灯目次(P.14)



故障かな、と思ったときや
万一のとき



さくいん(赤色文字)
(P.332)
「こんなことでお困りのとき」
(巻末)

目次

◆安全ドライブのための必読5ポイント

1. 車を運転する前に

2. 車を運転するときに

3. 安全装備

4. ドライブを快適にする装備

5. 万一のとき

6. 車の手入れ

7. 車との上手なつきあいかた

・ サービスデータ

・ さくいん

・ こんなことでお困りのとき

1. お出かけまえに 16	2. お子さまに思いやりを 18	15	
3. 正しい知識で最適運転 22	4. 駐車や停車はしっかりと 26		
5. こんなことにも注意をしよう 28			
・各部の開閉 34	・セキュリティシステム 50	33	
・シートの調節 54	・ハンドル・バックミラーの調節 60		
・シートベルト 64	・チャイルドシート固定装置 76		
・メーター 82	・マルチインフォメーションディスプレイ 88	81	
・表示灯 116	・警告灯 120		
・スイッチの使いかた 132	・運転のしかた 144		
・コーナーセンサー/バックソナー 150	・リミテッドスリップデフ(LSD) 154		
・SRSエアバッグシステム 156	・シートベルトプリテンショナー 164	155	
・アンチロックブレーキシステム(ABS) 166	・ビークルスタビリティアシスト(VSA) 168		
・ブレーキアシスト 172	・その他の安全装備 173		
・エアコン 176	・オーディオ 192	175	
	・室内装備品 228		
・工具・タイヤパンク応急修理キット・発炎筒 244	・故障したとき 248	243	
・事故が起きたとき 250	・けん引 252		
・ジャッキの取り扱い 264	・オーバーヒートしたとき 266		
	・電気系統が異常のとき 268		
・点検・整備について 288	・簡単な整備 290	287	
・車にあった部品の使用 304	・日常の手入れ 296		
・積雪・寒冷時の取り扱い 306	・こんなときは 316	305	
・環境にやさしい省エネドライブをするために 320			
		324	
		332	
		巻末	

ビジュアル目次

ライト／方向指示器(ウィンカー)スイッチ 135、138

フォグライトスイッチ 138

メーター 82

マルチインフォメーションディスプレイ 88

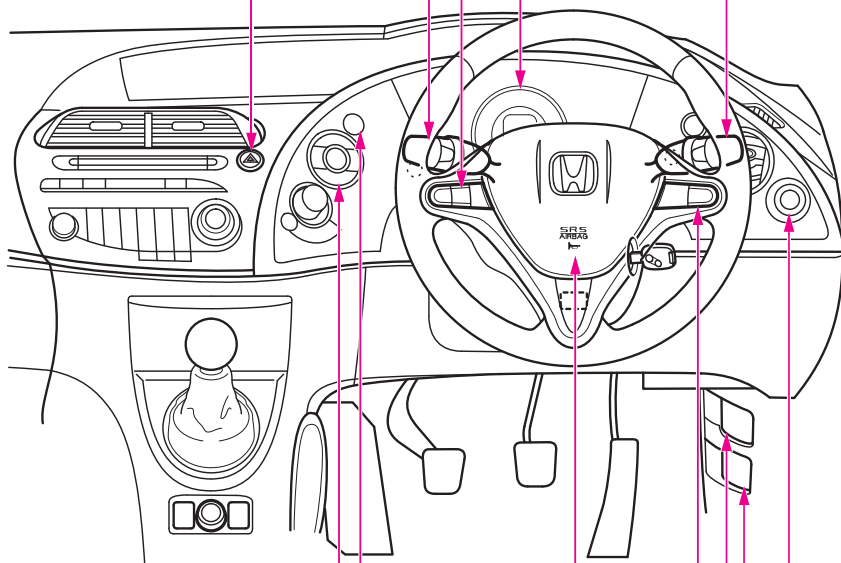
表示灯 116

警告灯 120

オーディオリモートコントロールスイッチ 227

ワイパー／ウォッシャースイッチ 139

非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ 143



エアコン 176

ヒートドドアミラースイッチ 63

リヤデフロスタースイッチ 142

ホーンスイッチ 143

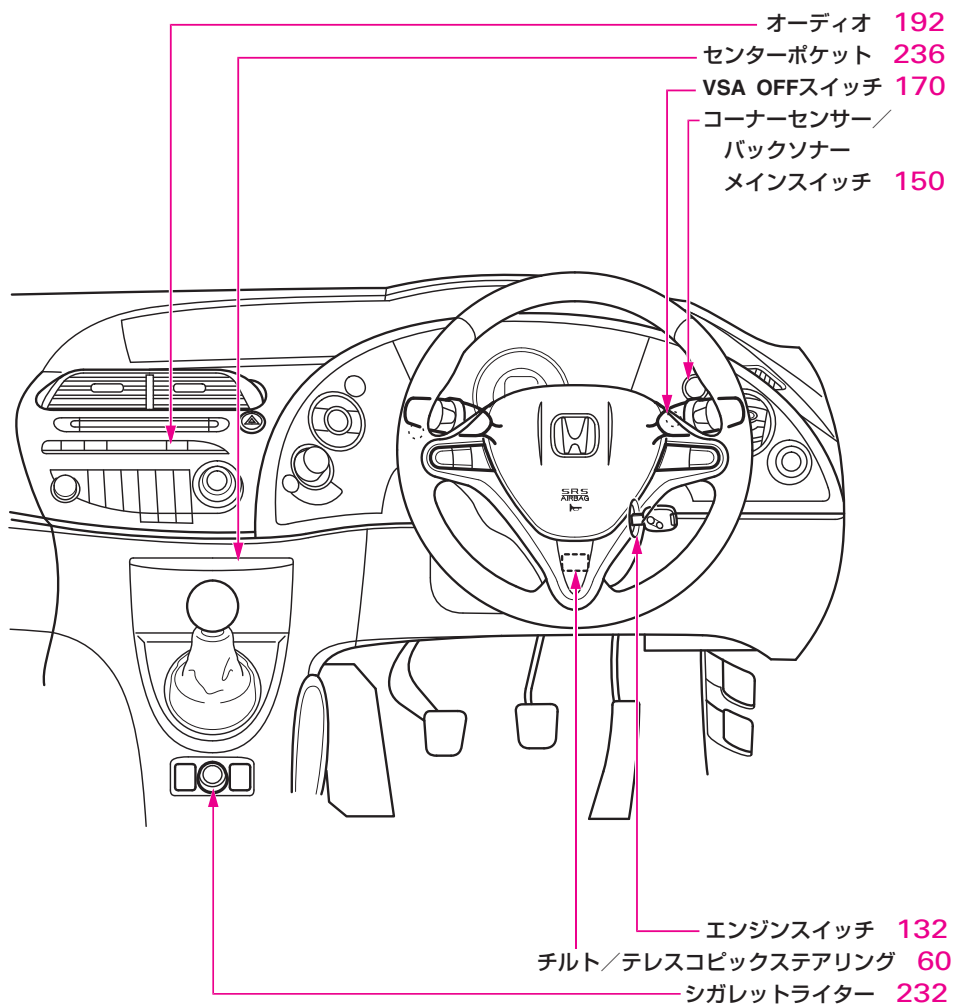
インフォメーション(ⓘ)スイッチ 89

SEL/RESETスイッチ 89

フューエルリッドオープナー 45

ボンネット解錠ノブ 42

エンジンスタートスイッチ 134



ビジュアル目次

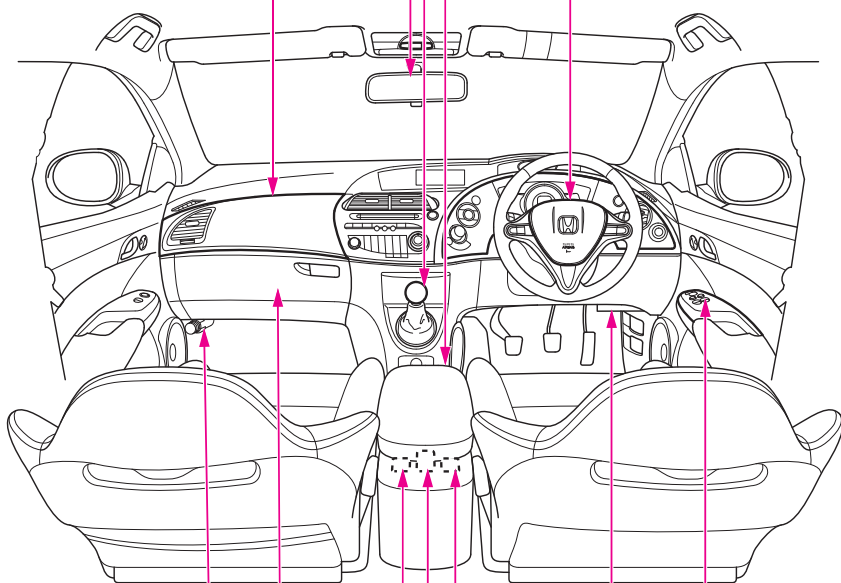
SRSエアバッグシステム(運転席用) 156

コンソールボックス 237

チェンジレバー 148

ルームミラー 60

SRSエアバッグシステム(助手席用) 156



発炎筒 247

グローブボックス 236

クールボックス 238

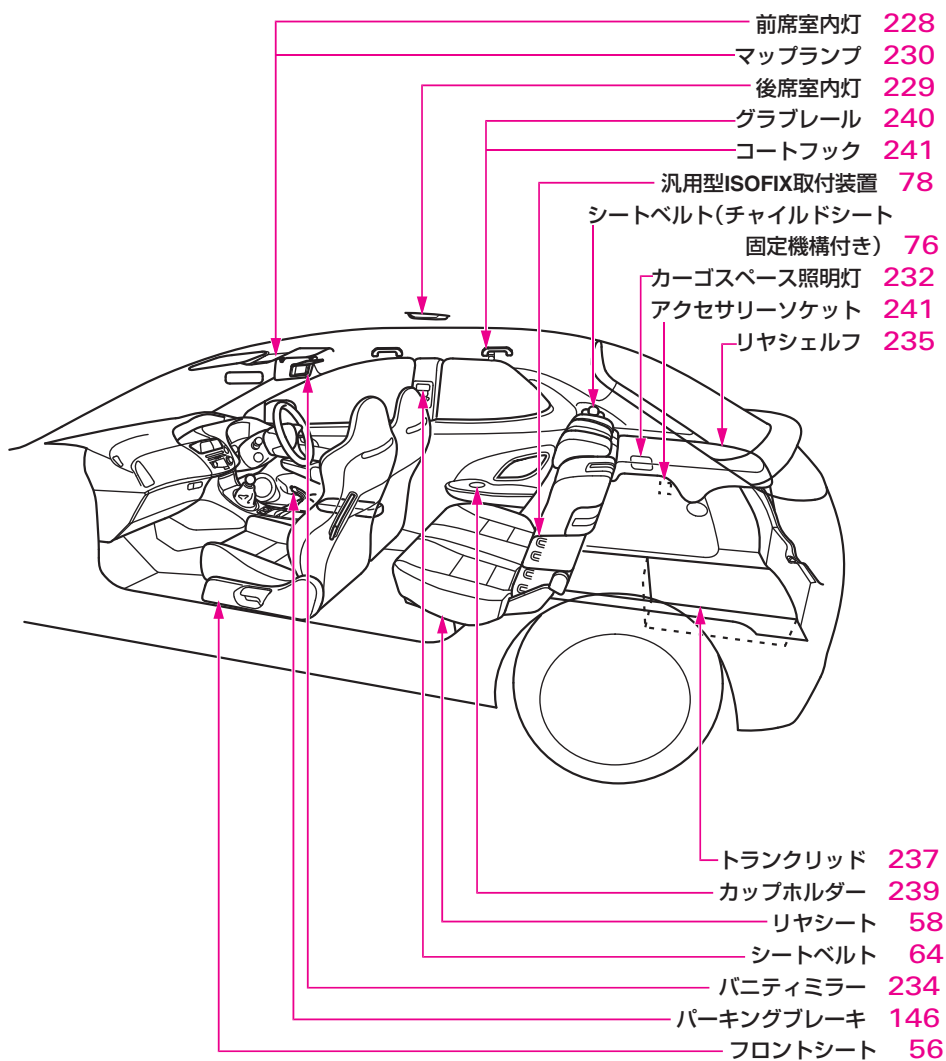
AUX端子 222

アクセサリソケット 241

USB接続端子 242

ヒューズボックス 270

パワーウィンドースイッチ 47



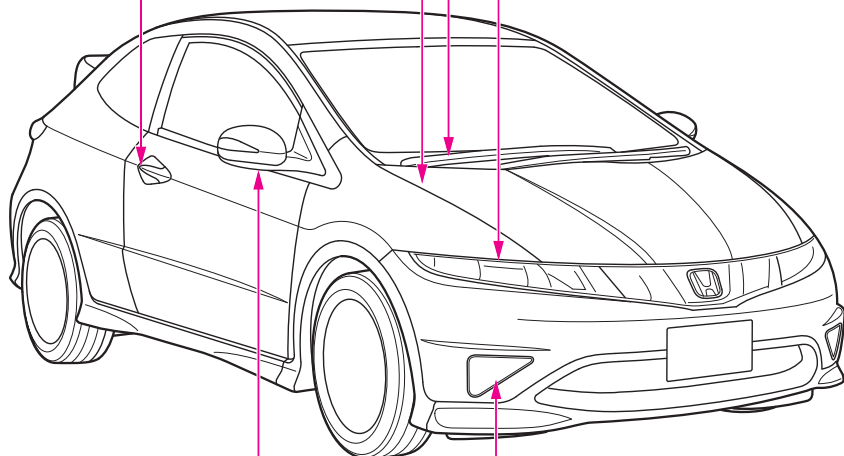
ビジュアル目次

ヘッドライト 135

ワイパー 139

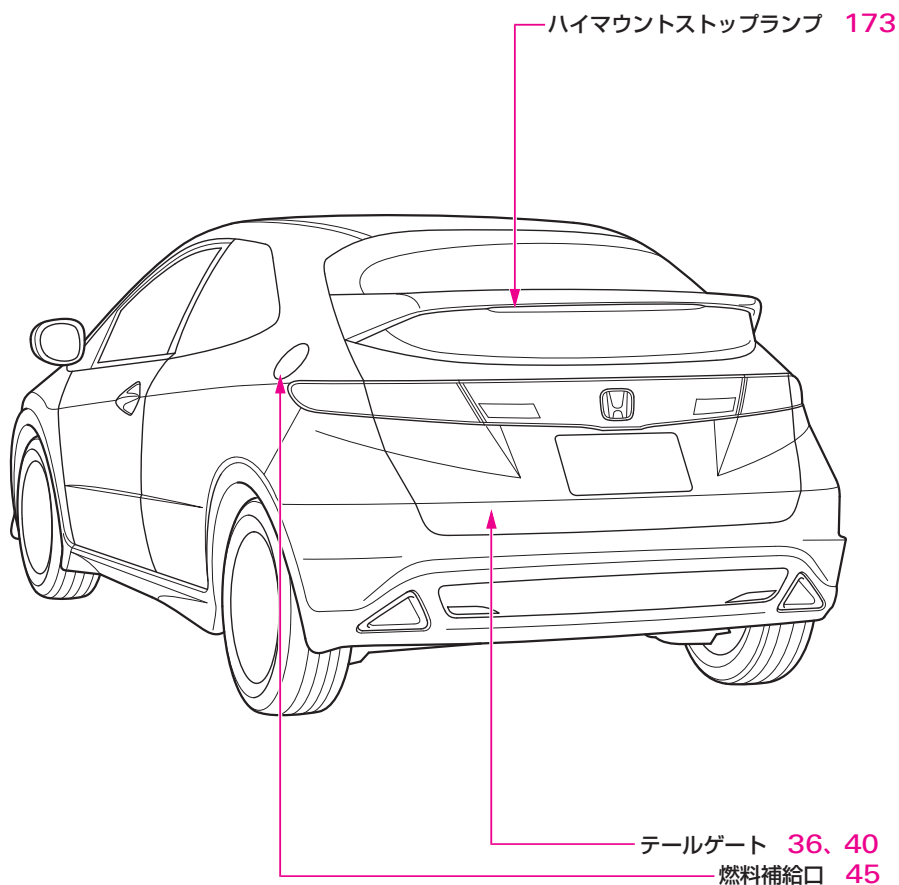
ボンネット 42

ドアの施錠・解錠 36



ドアミラー 61

フォグライト 138



警告灯目次



ブレーキ警告灯

→121ページ



燃料残量警告灯

→124ページ



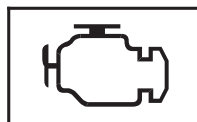
油圧警告灯

→122ページ



アンチロックブレーキ
システム (ABS)

警告灯 →125ページ



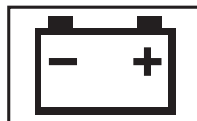
PGM-FI警告灯

→122ページ



SRSエアバッグシステム
警告灯

→125ページ



充電警告灯

→123ページ



ビークルスタビリティ
アシスト (VSA)

警告灯 →125ページ



タイヤ空気圧警報システム
警告灯

→126ページ



エレクトリックパワー
ステアリング (EPS)

警告灯 →128ページ



シートベルト非着用
警告灯

→124ページ

安全ドライブのための 必読5ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



- お出かけまえに 16
- お子さまに思いやりを 18
- 正しい知識で最適運転 22
- 駐車や停車はしっかりと 26
- こんなことにも注意をしよう 28

1 お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、Honda販売店で点検を受けてください。

(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・)

- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<56ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



運転の妨げになる物には注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように以下のことに注意してください。
 - ・フロアマットが固定されている。
 - ・フロアマットを重ねていない。
 - ・車に合ったフロアマットを使用している。

ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



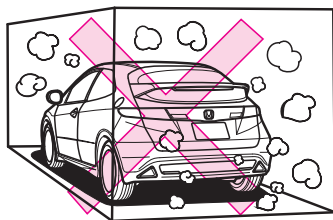
- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

後方視界を妨げたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
 - 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
- 車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらHonda販売店で点検を受けてください。
- 車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

●助手席にのせるのは避けましょう。

- 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転の妨げになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
- インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあり危険です。
- お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。

お子さまにもシートベルトを。

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



●お子さまのくびやあごにシートベルトが当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートを使用してください。

- シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
また、ひとりですわることでできない小さなお子さまは後ろ向きのチャイルドシートを使用してください。
- チャイルドシートは安全装備です。ヨーロッパの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。
- シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- この車には、汎用型ISOFIXチャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。
汎用型ISOFIX取付装置 →78ページ
- Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

●チャイルドシートは確実に取り付けてください。

お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。

- シートベルトで固定するチャイルドシートは、シートベルトの種類により固定方法が異なります。

シートベルトの種類 →66ページ

チャイルドシート固定機構付き

シートベルト →76ページ

- 汎用型ISOFIXチャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。トップテザーアンカレッジにトップテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。

- 汎用型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

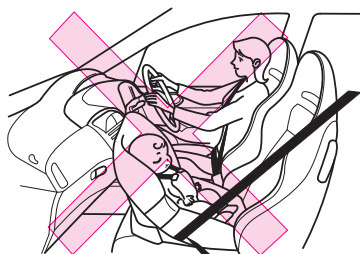
汎用型ISOFIX取付装置 →78ページ

- 詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

安全ドライブのための必読5ポイント

- 助手席には後ろ向きのチャイルドシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。

- SRSエアバッグが膨らむ際、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け危険です。
- やむをえず前向きにチャイルドシートを取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



- チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、顔などをはさまないように、気をつけてください。

- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。

ドアが完全に閉まっていないと走行中にドアが開き、思わぬ事故の原因となります。

- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。

<47ページ参照>

- 走行中、一時停止のときなど、窓から手や頭、物などを出さないよう、注意してください。

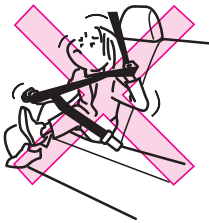
思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

●チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。

ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。

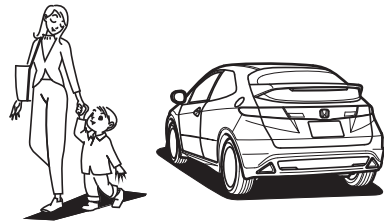
万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

●お子さまだけを車内に残さないでください。

- ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
- ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

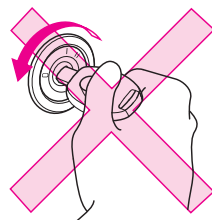


正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作の妨げになり大変危険です。

- 走行中はエンジンを止めないでください。

- ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキの効きが悪くなります。
- パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
- エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、効きが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。

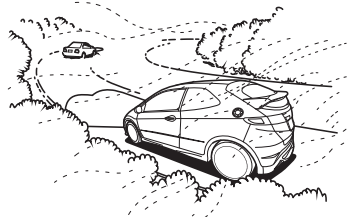


エンジンブレーキ：

走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよく効きます。

霧が出たときは。

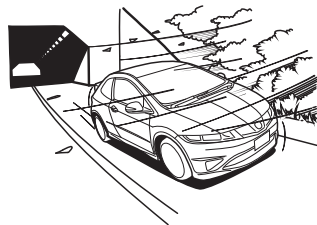
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



安全ドライブのための必読5ポイント

雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロブレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロブレーニング現象とは
→316ページ

- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

水たまりに入ったあとはブレーキの効き具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んで効き具合を確認してください。ぬれたブレーキは効きが悪かったり、ぬれていない片側だけが効いてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキの効きが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。

<120ページ参照>

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

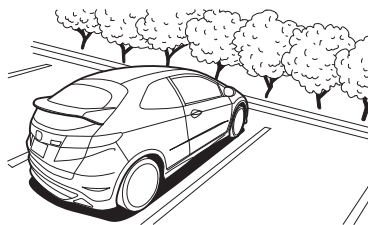
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



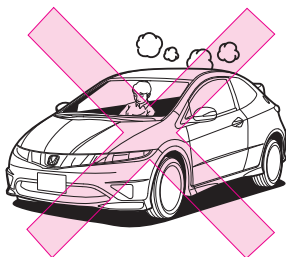
仮眠するときはエンジンを止める。

●エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

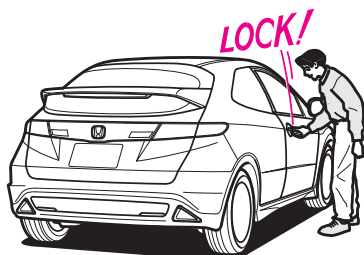
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーを平地や下り坂ではRに、上り坂では1に入れてください。
- さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも 注意をしよう

アクセサリーの取り付けには注意を。

●運転視界の中にアクセサリーなどを 取り付けないでください。

- 視界の妨げにより思わぬ事故のもとになります。
- アクセサリーなどの揺れる動きが、車外の状況認識を遅らせることがあります。

●ガラス面にアクセサリーなどを取り 付けないでください。

- 吸盤がレンズのはたらきをして火災につながるおそれがあります。



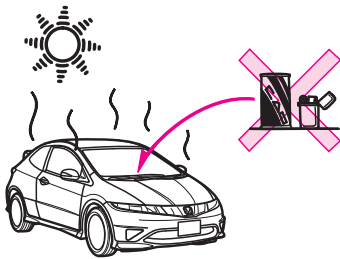
飲み物などを電装品にこぼさない ように注意して。

オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物がかかると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出し危険です。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
- ・運転者が運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- ・運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
- ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違反になることがあります。
- ホイールは、CIVIC TYPE R EURO 専用品をご使用ください。
専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。
Honda販売店にご相談ください。
- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずHonda販売店にご相談ください。
装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

安全ドライブのための必読5ポイント

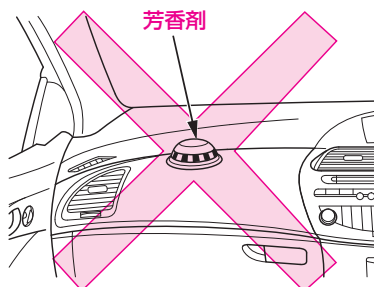
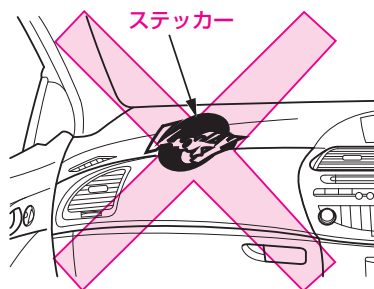
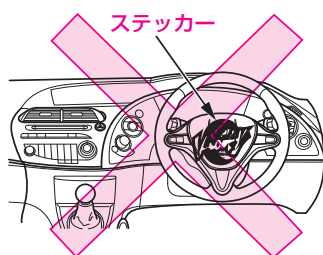
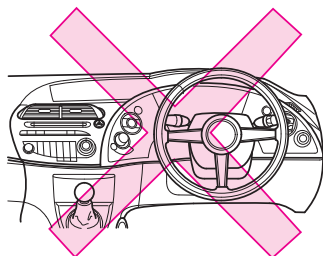
●運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- 作動時にこれらの物が飛ぶことがあります危険です。
- 次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。

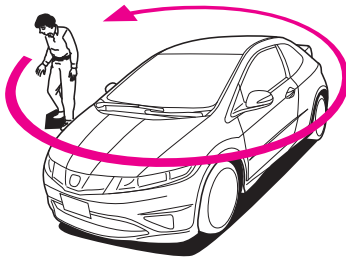
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

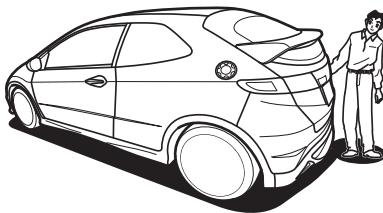
車の周りには運転席から見えなところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

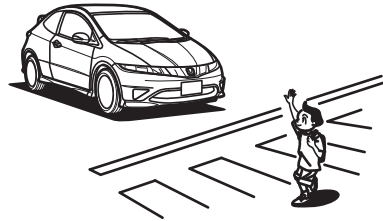


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。



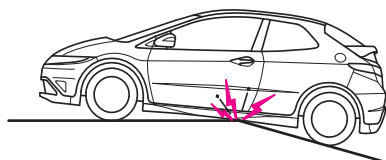
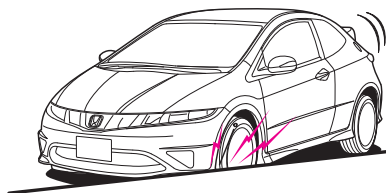
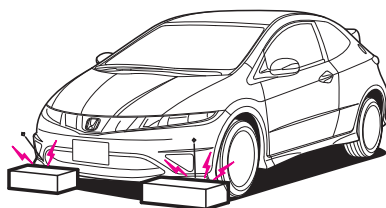
安全ドライブのための必読5ポイント

車止めなどに注意して。

●この車は、最低地上高が低く設計され、タイヤも超偏平タイヤを装着しています。

次のような場合には、フロントバンパー、マフラー、床下やアルミホイールを損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

- ・車止めのある場所への駐車
- ・路肩に沿っての駐車
- ・平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂から平坦路への乗り入れ
- ・路肩等段差のある場所への乗り降り
- ・凹凸やわだちのある道路の走行
- ・くぼみ(穴)のある個所の通過





車を運転する前に

●各部の開閉

キーの種類	34
ドア、テールゲートの施錠・解錠	36
テールゲートの開閉	40
ボンネット	42
燃料補給口	44
パワーウィンドー	47

●セキュリティシステム

イモビライザーシステム	
について	50
セキュリティアラームシステム	
について	51

●シートの調節

正しい運転姿勢	54
フロントシート	56
リヤシート	58
カーゴスペースの作りかた	58

●ハンドル・バックミラーの調節

チルト／テレスコピック ステアリング	60
ルームミラー	60
ドアミラー	61

●シートベルト

シートベルト	64
着用のしかた	73

●チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構付き シートベルト(後席)	76
汎用型ISOFIX取付装置(後席)	78

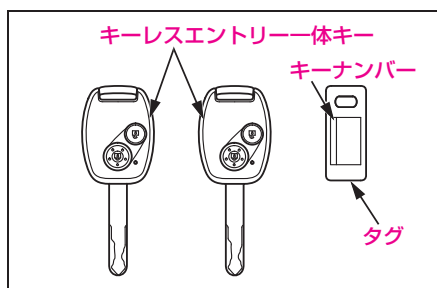
各部の開閉

キーの種類

この車には、以下のキーが付いています。
すべてのキーには、イモビライザー機能
(車両盗難防止装置)が付いています。

イモビライザーシステムについて

→50ページ



知 識

- タグにはキーナンバーが表示してあります。キーを購入する際に必要となりますので、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。
- キーを紛失したときや、追加したいときは、Honda販売店へご連絡ください。



●キーレスエントリー一体キー

キーはエンジンの始動、停止のほかに、ドアとテールゲートの施錠・解錠に使えます。

キーレスエントリーでは、ドアとテールゲートの施錠・解錠ができます。

ドア、テールゲートの施錠・解錠

→36ページ

エンジンのかけかた →144ページ



アドバイス

●キーおよびキーレスエントリー一体キーには、信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。

電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください

- 直射日光が当たるところ、高温、多湿になるところには置かないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 分解しないでください。
- 火であぶったりしないでください。

●電子部品が故障すると、エンジンの始動ができなくなったり、キーレスエントリーが正常に作動しなくなったりします。

そのようなときは、Honda販売店にご連絡ください。

知 識

- キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

ドア、テールゲートの施錠・解錠

●キーで施錠・解錠するとき	37
●キーレスエントリーで施錠・解錠するとき	37
●車内から施錠・解錠するとき	38
●キーを使わないで施錠するとき	39
●衝撃感知ドアロック解除システム	40

注意

- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確認してから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止め、ドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

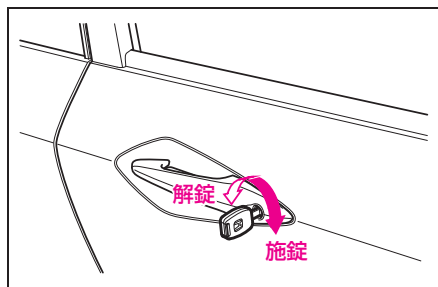
前席室内灯 →228ページ

後席室内灯 →229ページ

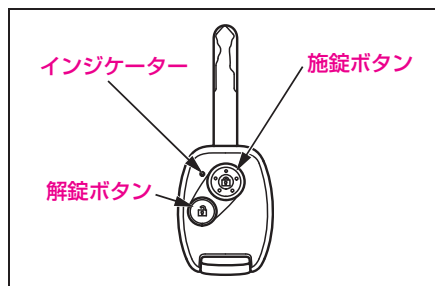
**●キーで施錠・解錠するとき**

キーを確実に差し込んで回します。

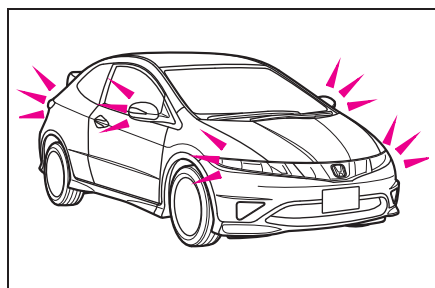
運転席ドアを施錠(解錠)すると、助手席ドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。

**●キーレスエントリーで施錠・解錠するとき**

施錠ボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠され、解錠ボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが解錠されます。



キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと、非常点滅表示灯が施錠時は1回、解錠時は2回点滅します。



知識

- 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。ボタンを押したときにインジケータが点灯しない場合は電池切れです。

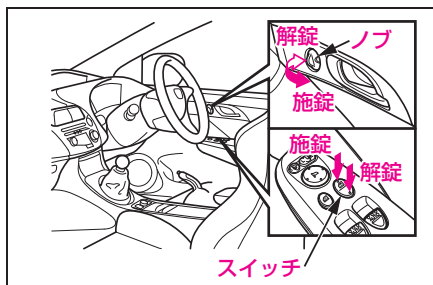
電池交換のしかた →285ページ

- キーレスエントリーで解錠してから約30秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- 次の場合、キーレスエントリーは作動しません。
 - ・エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき。
 - ・ドアまたはテールゲートが開いているとき。(施錠時のみ)

●車内から施錠・解錠するとき

運転席ドア

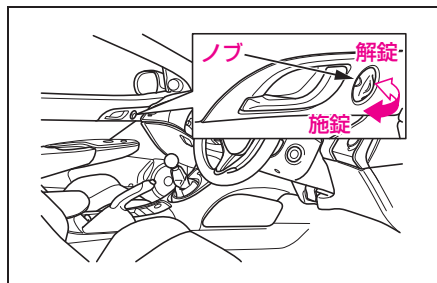
運転席ドア部のスイッチまたはノブを操作すると、すべてのドアとテールゲートの施錠(解錠)ができます。





助手席ドア

ノブを施錠(解錠)の方向に動かします。



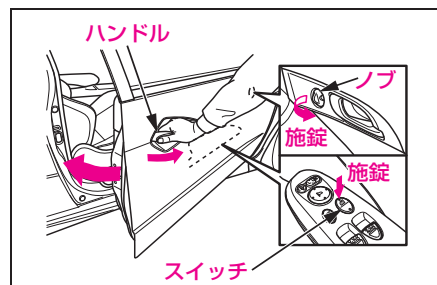
●キーを使わないで施錠するとき

知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ドアのハンドルを引いたままノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



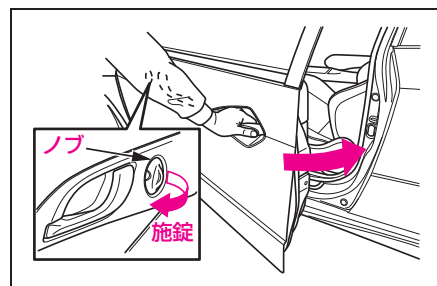
- ②ドアを閉めます。
運転席ドアを施錠すると、助手席ドアとテールゲートも同時に施錠されます。

・キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと、施錠できません。

助手席ドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。



●衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドアとテールゲートを解錠します。

作動するとき

正面からの衝撃では、SRSエアバッグが作動したときに解錠します。

エアバッグが作動しない後面からの衝撃では、衝撃が大きいと解錠します。

安全性を考慮して、衝撃が加わってから約10秒後に解錠します。



知識

- 衝撃の加わりかたや、大きさによって解錠しない場合があります。

テールゲートの開閉

⚠注意

- テールゲートを閉めるときは頭をぶつけたり、手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後ろに立たないでください。
やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- カーゴスペース内には人を乗せないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。



知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 運転席ドアを施錠したあとにテールゲートを閉めると、施錠されてテールゲートが開かなくなります。

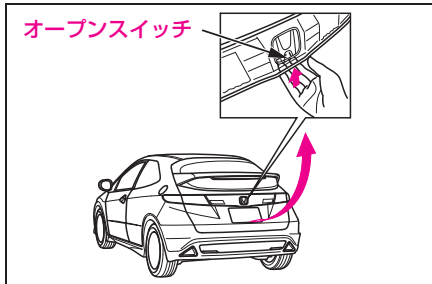
**●開けるとき**

運転席ドアを解錠(施錠)すると、助手席ドアとテールゲートも同時に解錠(施錠)します。

ドア、テールゲートの施錠・解錠

→36ページ

テールゲートを解錠してから、テールゲートオープンスイッチを押しながら静かに引き上げて開けます。

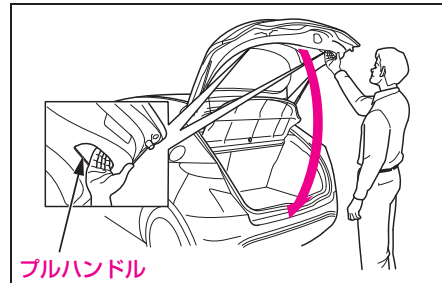
**🚗 アドバイス**

●テールゲートが開かないとき。

→284ページ

●閉めるとき

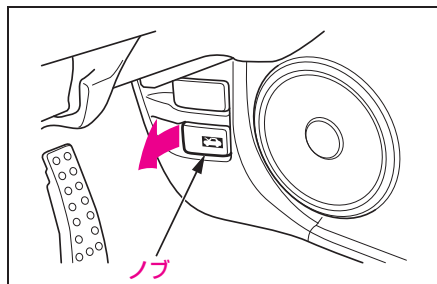
閉めるときはプルハンドルを利用してください。



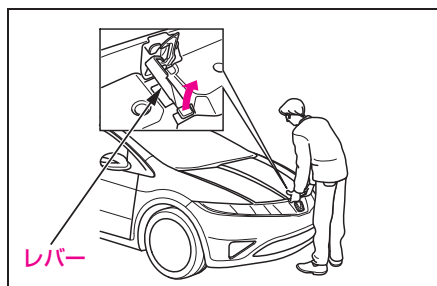
ボンネット

●開けた

①運転席足元のノブを引きます。



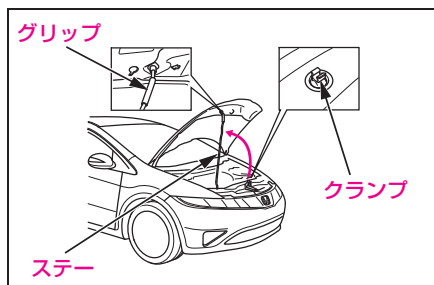
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを上へ押しながら開けます。



🎓 知識

- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

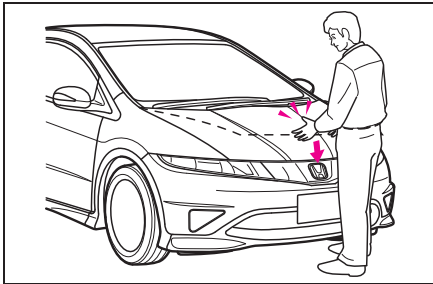
③ステーをかけるときは、グリップ部を持ち、確実に固定します。





●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。
ボンネットを約30 cmの高さまで下げ、
手を離して閉めます。



ボンネットが完全に閉まっていることを
確認します。

⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

**指定燃料：無鉛プレミアムガソリン
(無鉛ハイオク)**

タンク容量：50 L



アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
- 有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- 軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

知識

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。



●燃料補給のしかた

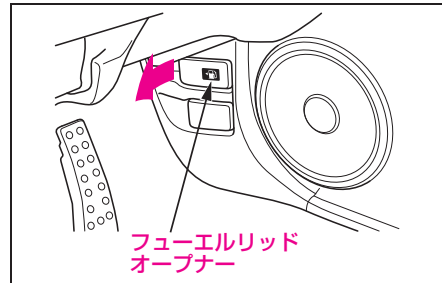
⚠ 警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・エンジンは必ず止めてください。
 - ・タバコなどの火気を近づけないでください。
 - ・こぼれた燃料はすみやかに拭き取ってください。
 - ・燃料の取り扱いは、屋外で行ってください。
- 燃料補給作業は身体の静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により酸化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

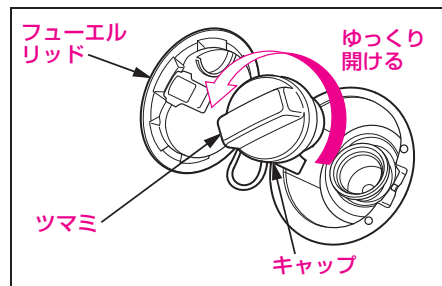
🎓 知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。
再度、静電気を除去してください。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

- ①運転席足元にあるフューエルリッドオープナーを引いてリッドを開けます。



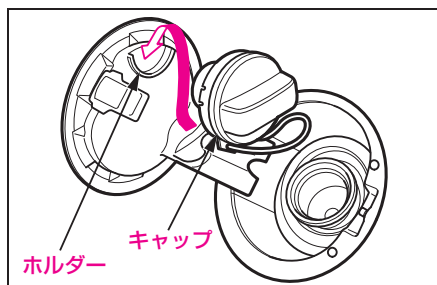
- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
- ③ツマミを持ってキャップをゆっくり回して開けます。



⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

- ④キャップはフューエルリッドにあるホルダーにかけてください。



- ⑤給油ノズルを奥まで差し込んで補給します。

燃料タンクが満タンになると給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

⚠ 注意

- 給油ノズルの自動停止後は、追加補給しないでください。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

🎓 知識

- 気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

- ⑥キャップを“カチッ”という音が1回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠ 注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。



パワーウィンドー

エンジンスイッチが「II」のとき、ウィンドーの開閉ができます。



開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席ウィンドーも操作できます。

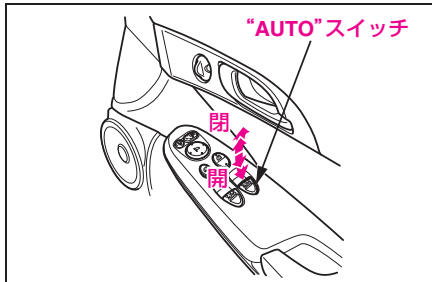
スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。

●運転席ウィンドーの開閉



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●助手席ウィンドーの開閉

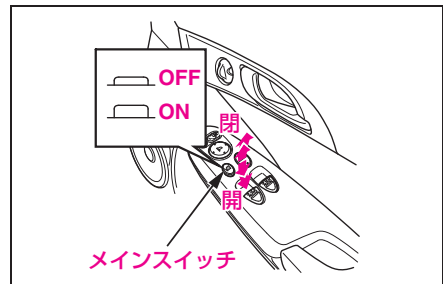
メインスイッチを「ON」にしてから、スイッチを操作します。

メインスイッチを押すごとに「ON」⇔「OFF」が切り換わります。

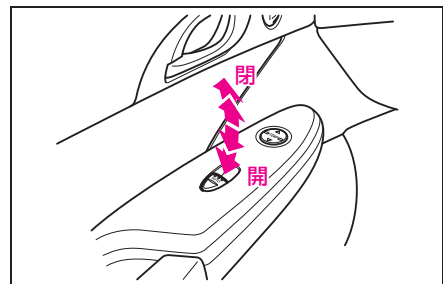
ON…すべてのウィンドーの操作ができます。

OFF…運転席以外のウィンドーは操作できません。

- ・運転席ドアスイッチ



- ・助手席ドアスイッチ



警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。



●キーオフオペレーション

エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”にしてから、約10分間は、パワーウィンドーの操作ができます。
ただし、エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”にしてから約10分以内に、ドアを開けてから閉めると、パワーウィンドーの操作はできなくなります。

●はさみ込み防止機構

ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

セキュリティシステム

セキュリティ（盗難防止）システムは、イモビライザーシステムとセキュリティアラームシステムにより、お車を盗難から守るための装置です。

イモビライザーシステムについて

キーに信号を発信する電子部品があり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。



アドバイス

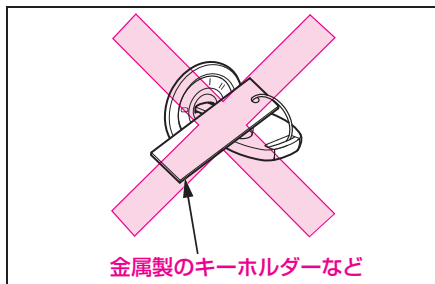
- システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

イモビライザーシステムは、車両とキーとの電子照合を行うとき、微弱な電波を使用しています。次のような場合、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンの始動ができないことがあります。

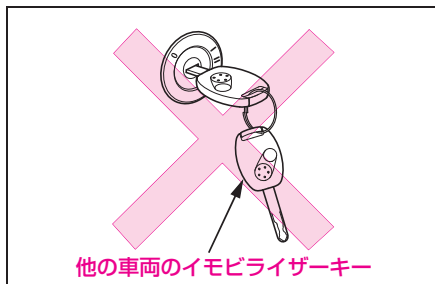
イモビライザーシステム表示灯

→119ページ

- 近くに強い電波を発する設備があるとき。
- キーが金属物に触れたり覆われているとき。



- 他の車両のイモビライザーシステム用のキーが近くにあるとき。





セキュリティアラームシステムについて

このシステムは、キーあるいはキーレスエントリーを使わずにドア、テールゲートを開けたり、ボンネットを開けたりすると警報装置が作動し、ホーンを鳴らし、同時に非常点滅表示灯を点滅させます。

●警報装置について

警報装置は、セキュリティアラームシステムがセットされているときに次のようなことのいずれかを行うと作動します。

- ドアまたはテールゲートをキーあるいはキーレスエントリーを使わずに開けようとしたとき。
- ボンネットをこじ開けようとしたとき。
- エンジンスイッチを“II”にしたとき。

警報装置が作動すると、ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

警報装置は、セキュリティアラームシステムを止めるまで最大5分間作動します。（ホーンおよび非常点滅表示灯は1回の警報作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。）

警報装置の止めかた

キーあるいはキーレスエントリーで解錠すれば、その時点で警報装置は止まります。

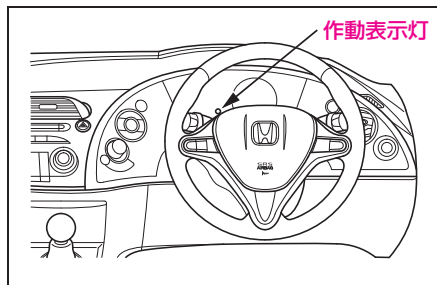
●セッットのしかた

次の操作がすべて行われると自動的にセキュリティアラームシステムがセットされます。

- エンジンスイッチを“0”にしてキーを抜く。
- ボンネットを閉める。
- すべてのドアとテールゲートを閉め、施錠する。

上記がすべて行われると、メーター内にある作動表示灯が点滅を始めます。約15秒後に点滅間隔が変わり、セキュリティアラームシステムがセットされたことを知らせます。

作動表示灯は、セキュリティアラームシステムがセットされている間は、点滅を続けます。



セッ트를解除するときは、キーあるいはキーレスエントリーで解錠します。作動表示灯が消灯し、セッ트가解除されたことを知らせます。

🎓 知識

- 車から離れるときは、セキュリティアラームシステムがセットされ、作動していることを作動表示灯で確認してください。
- ボンネット、ドア、テールゲートのすべてが完全に閉まっていないと、セキュリティアラームシステムはセットされません。
- 車内に人が乗っている状態またはウィンドーが開いた状態でもセキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐため、人が乗っている状態またはウィンドーが開いた状態ではセキュリティアラームシステムをセットしないでください。
- セキュリティアラームシステムをセットしたあとに、バッテリーあがりなどでバッテリーの充電・交換をすると、警報装置が作動することがあります。そのときは、キーあるいはキーレスエントリーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

1.車を運転する前に

セキュリティシステム

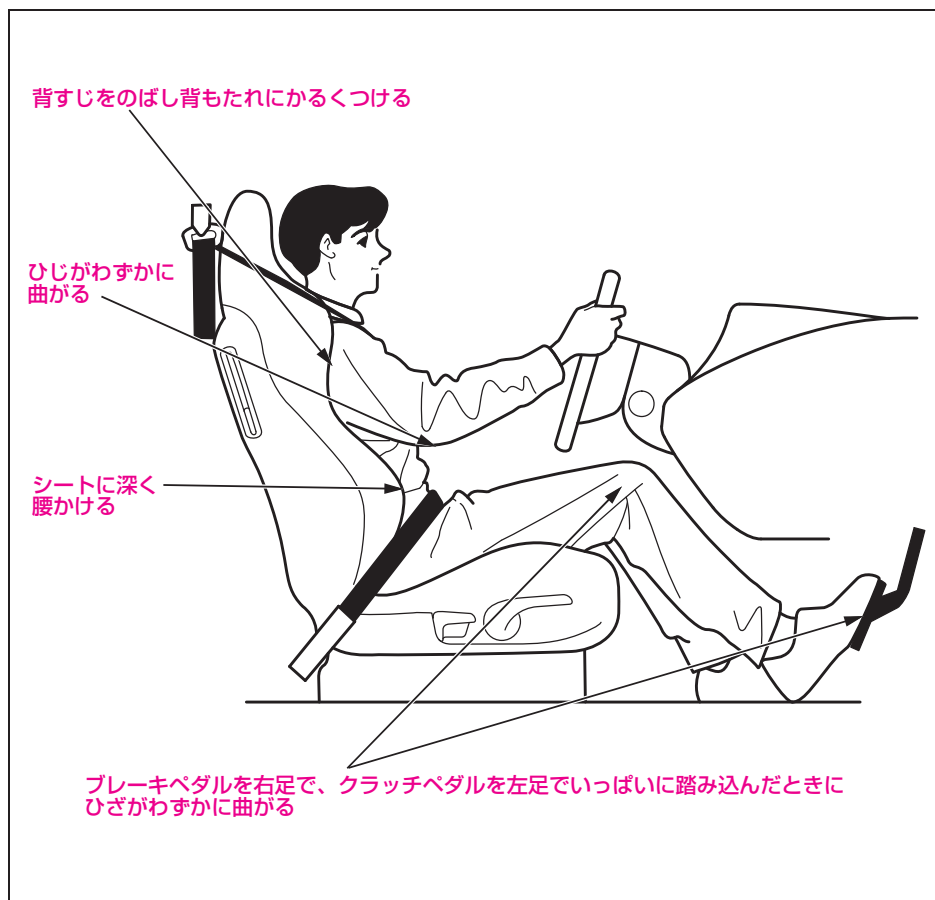


シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離さずことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

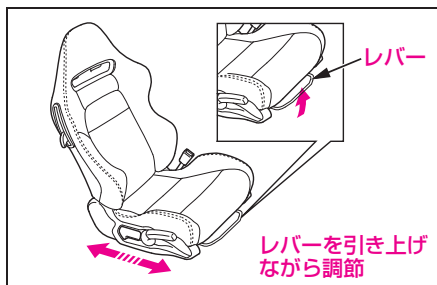
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

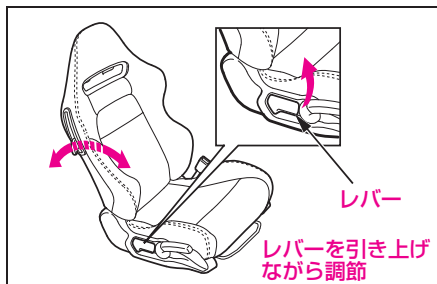
- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中間にクッションなどをいれないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。
物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシート

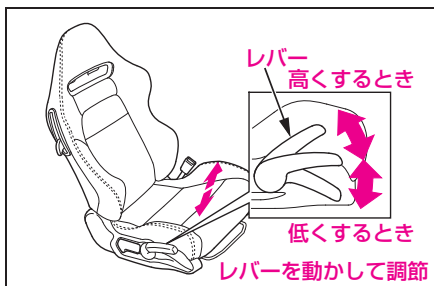
●前後位置の調節



●背もたれの調節



●高さの調節(運転席のみ)



上へ動かす…

中間位置より上にレバーを動かします。

下へ動かす…

中間位置より下にレバーを動かします。

レバーを動かすたびに高さを調節できます。

レバーを動かしたら一旦中間の位置に戻して、もう一度動かすようにして調節します。

知 識

- シートの高さを最上段または最下段にすると、レバーが動かなくなります。



●後席への乗り降り

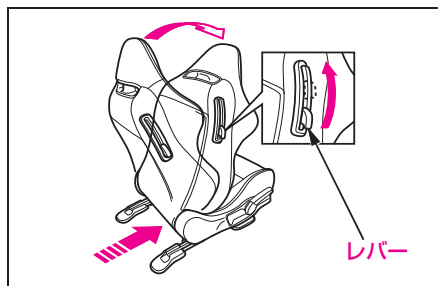
左右どちらからでも乗り降りできます。

ウォークイン機構

背もたれを前に倒し、フロントシート全体を前へ移動します。



背もたれ横にあるレバーを引き上げると背もたれが前に倒れます。
そのままシートを前に押すと移動します。
片側ずつ独立して行えます。



走行する前にシートの前後位置を調節し、背もたれを起こしてシートを固定してください。

⚠ 注意

- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。

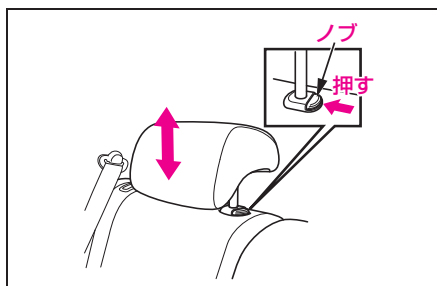
🎓 知識

- シートを元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 乗り降りの際はシートベルトに足を引っかけないようにしてください。

リヤシート

●ヘッドレストの位置変更

乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。下げるときは、ノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

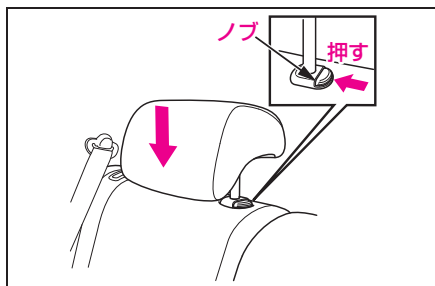
- 乗車するときは、ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず引き上げてください。

カーゴスペースの作りかた

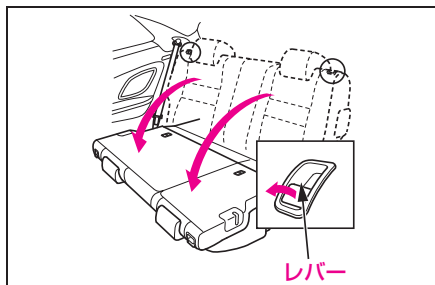
リヤシートを格納するとカーゴスペースを広くすることができます。片側ずつ独立して行えます。

●格納のしかた

- ①ノブを押しながら、リヤシートのヘッドレストを下げます。



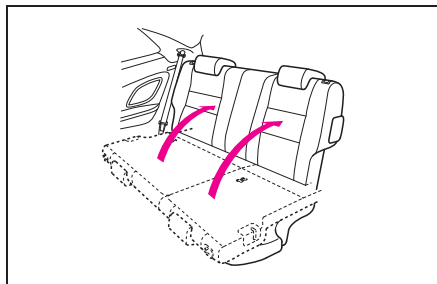
- ②床に荷物などが無いことを確認し、リヤシートのレバーを引き上げながら、背もたれを静かに前に倒します。





●戻しかた

背もたれを起こして固定します。



⚠ 注意

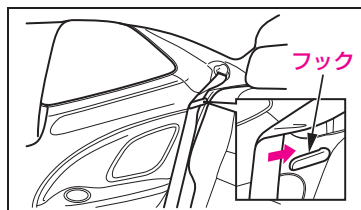
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 格納したリヤシートの背もたれの上やカーゴスペースには人を乗せて走行しないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- 格納したリヤシートの背もたれの上やカーゴスペース内を走り回らないでください。
思わぬけがをすることがあります。

🎓 知識

- フロントシートの背もたれを後ろに倒したり、シートバックポケットに物が入ったままリヤシートを格納するときは、リヤシートのヘッドレストがシートバックポケットに引っかかりやすいので注意してください。
- シートを格納するときは、シートの下に物を置いたまま操作しないでください。

🎓 知識

- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれではさみ込まないようにしましょう。はさまれると正しく着用できません。
- 背もたれを倒すときは、シートベルトをフックにかけておきます。



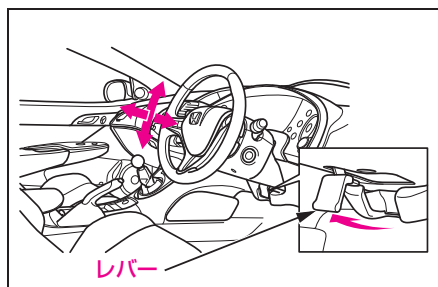
- シートを元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

ハンドル・バックミラーの調節

チルト／テレスコピック ステアリング

ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置に変えることができます。

レバーを引き上げ、ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に押し下げて固定します。



⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下前後方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

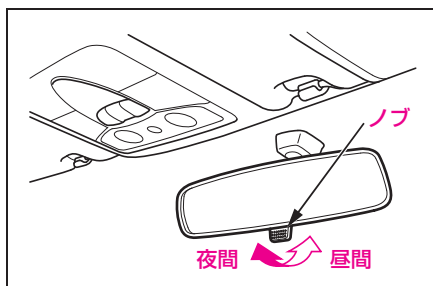
知 識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。



ドアミラー

知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

●格納のしかた

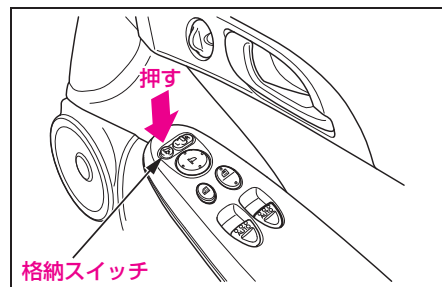
ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。



格納スイッチを押すごとに“ON” ↔ “OFF” が切り換わります。

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		



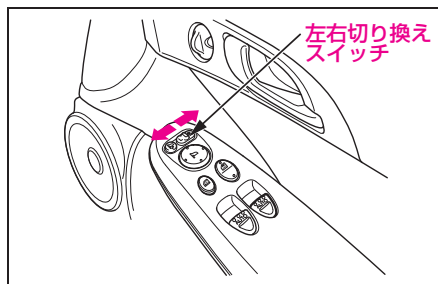
エンジンスイッチが“0”または“I”のときは手動で操作ができます。

●角度調節のしかた

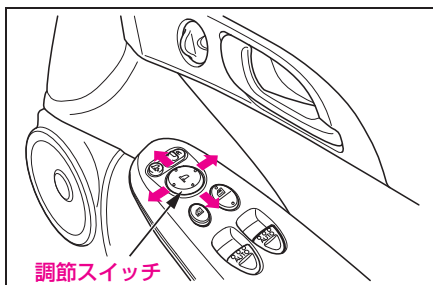
エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。



- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。



- ②調節スイッチで角度を調節します。

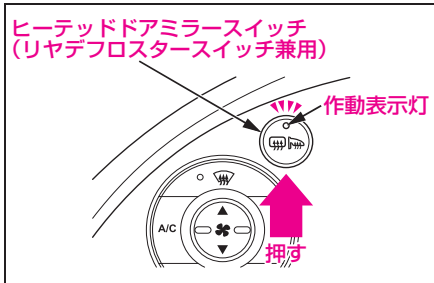


直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。



●ヒートッドアミラー

ヒートッドアミラースイッチ(リヤデフロスタースイッチ兼用)を押すとミラーが暖められ曇りが取れます。



エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。

🎓 知 識

- ヒートッドアミラースイッチを押すと、リヤガラスの曇り取りも同時に機能します。

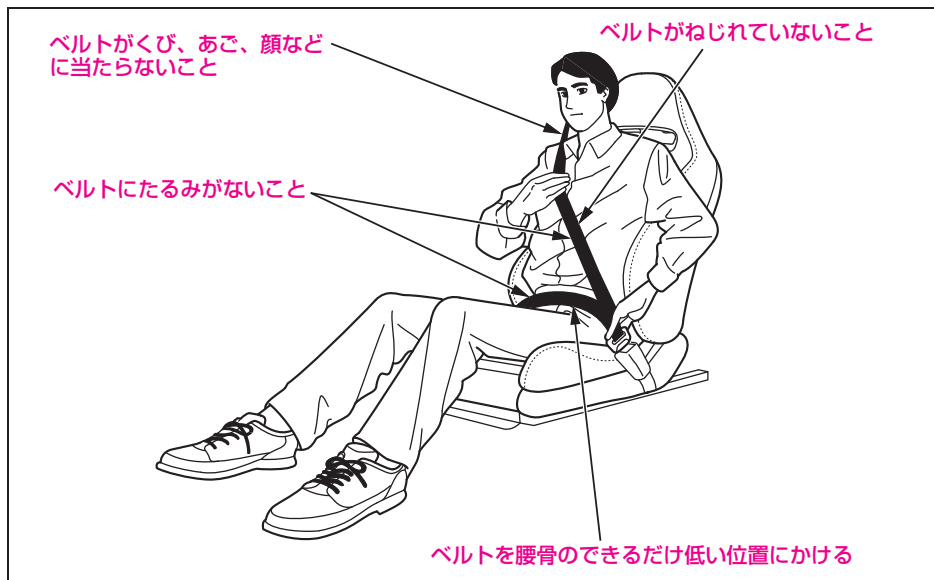
リヤデフロスター →142ページ

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。“ON”のままであっても、外気温に応じて約20分～40分経過後自動的に“OFF”になります。また、エンジンの回転が低いときに長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



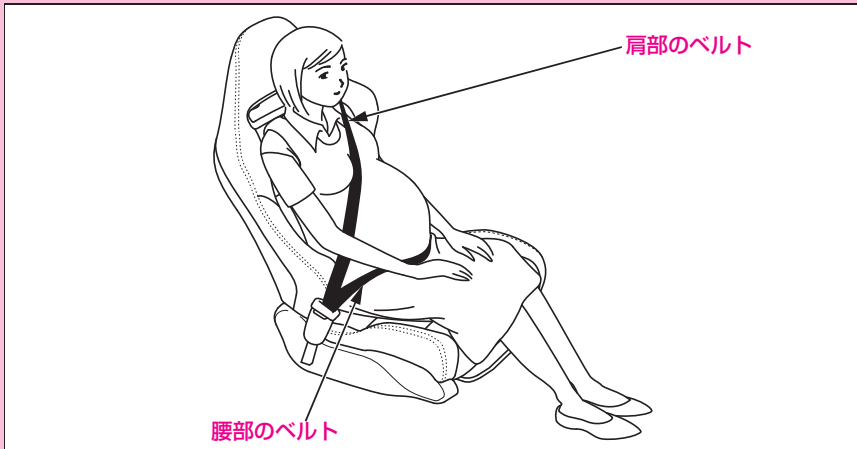
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ベルトはねじれがないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート(前席)	ELR付三点式シートベルト
リヤシート(後席)	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：

通常はELRシートベルトとして機能します。

ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト →76ページ

●三点式シートベルト

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)

→76ページ

知 識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。

このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

解除のしかた →77ページ

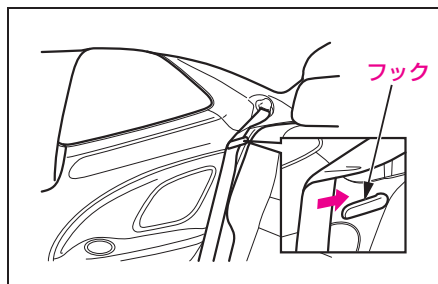


シートベルトプリテンショナー (前席のみ)

→164ページ

シートベルトフック

後席のシートベルトを使わないときは、シートベルトをフックにかけておきます。



●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

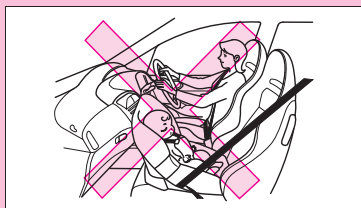
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは後ろ向きのチャイルドシートを使用してください。

お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠ 警告

- 助手席には後ろ向きのチャイルドシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。また、やむをえず前向きにチャイルドシートを取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





知識

- チャイルドシートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。
- シートベルトで固定するチャイルドシートは、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 汎用型ISOFIXチャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。トップテザーアンカレッジにトップテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。
前向きのチャイルドシートを取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。
後ろ向きのチャイルドシートを取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。
- Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

知識

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

シートベルトで固定するチャイルドシート

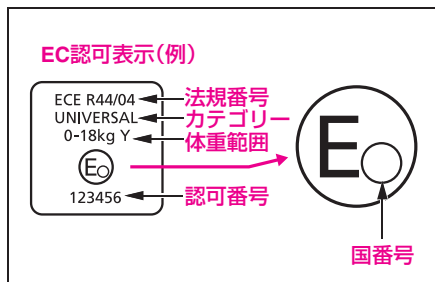
重量区分	座席位置	
	前席(助手席)	後席
グループ0 ～10kg	×	U
グループ0+ ～13kg	×	U
グループI 9kg～18kg	L	U
グループII 15kg～25kg	×	U
グループIII 22kg～36kg	×	U

U：汎用型チャイルドシートが取り付け可能です。

L：Honda Kids ISOFIXチャイルドシートが前向きに取り付け可能です。

×：チャイルドシートを取り付けできません。

- チャイルドシートに関する国連の安全基準であるECE R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。
- チャイルドシートをご購入する際には、重量グループに一致したものをお選びください。
- Uのチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書にUNIVERSAL(汎用)と案内されているものもあります。





知識

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

汎用型ISOFIXチャイルドシート

重量区分	サイズ 等級	固定具	ISOFIX位置	
			前席(助手席)	後席
キャリコット	F	ISO/L1	—	×
	G	ISO/L2	—	
グループ0 ～10kg	E	ISO/R1	—	IL
グループ0+ ～13kg	E	ISO/R1	—	IL
	D	ISO/R2	—	×
	C	ISO/R3	—	
グループI 9kg～18kg	D	ISO/R2	—	×
	C	ISO/R3	—	
	B	ISO/F2	—	IUF
	B1	ISO/F2X	—	
	A	ISO/F3	—	
グループII 15kg～25kg	—	—	—	×
グループIII 22kg～36kg	—	—	—	×

IL：国連の安全基準ECE R44に適合している準汎用型ISOFIXチャイルドシートのみが取り付け可能です。

IUF：国連の安全基準ECE R44に適合している汎用型ISOFIXチャイルドシートのみが前向きに取り付け可能です。

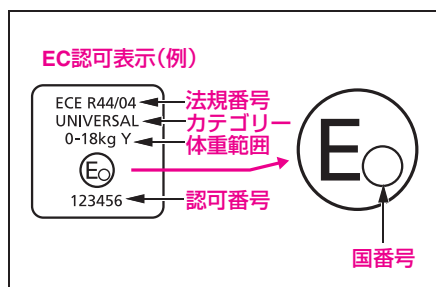
×：ISOFIXチャイルドシートを取り付けできません。

知 識

- チャイルドシートを購入する際は、ISOFIXサイズ等級に一致したものをお選びください。

固定具	お子さまの 大きさ	使用の向き	形状、 大きさ
ISO/L1	乳児	左	寝台式
ISO/L2		右	寝台式
ISO/R1		後ろ	
ISO/R2	幼児	後ろ	小型
ISO/R3		後ろ	大型
ISO/F2		前	低型
ISO/F2X		前	低型
ISO/F3		前	全高

- ILはECE R44に適合した、Honda純正Honda Baby ISOFIXのみ取り付けことができます。
- IUFのチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書にUNIVERSAL ISOFIXと案内があります。





●シートベルトの取り扱い、手入れ

●次のような場合はベルト一式を交換してください。

- ベルトを着用した状態で事故にあったとき。
- シートベルトプリテンショナーが作動したとき。

シートベルトプリテンショナー

→164ページ

- ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたとき。
- シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたして拭き取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

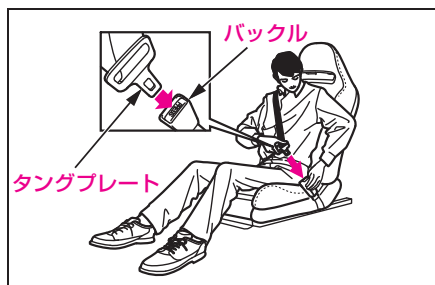
①正しい運転姿勢でシートにすわりま
す。

(→54ページ)

②タングプレートをつかみ、ゆっくり
引き出します。



③ベルトにねじれがないようにし、タ
ングプレートをバックルの中へ“カチ
リ”と音がするまで差し込みます。

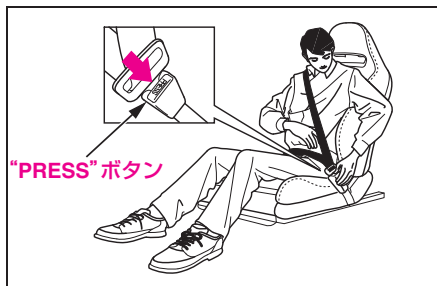


④ベルトがねじれたり、引っかかった
りしていないかを確認します。

- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させます。



- ⑥外すときはバックルのPRESSボタンを押します。
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。

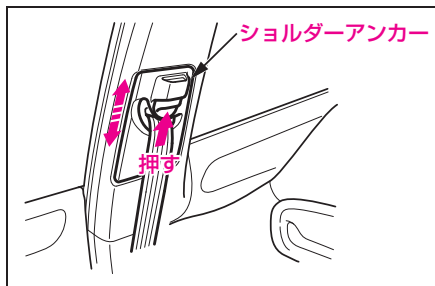


ショルダーアンカーの高さ調節 (前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。



通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。



⚠ 注意

- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

1.車を運転する前に

シートベルト



チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト(後席)

後席の三点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かさないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。

取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

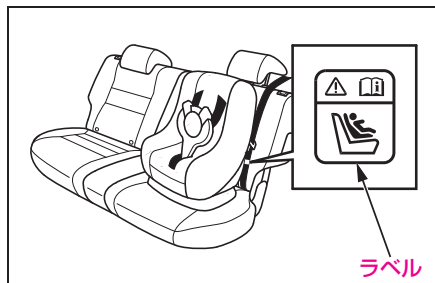
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一ベルトをゆるめることができなかった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

📖 知識

- 汎用型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるとき
汎用型ISOFIX取付装置 →78ページ

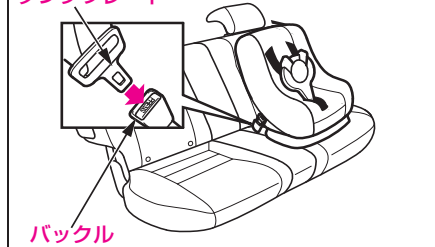
●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。

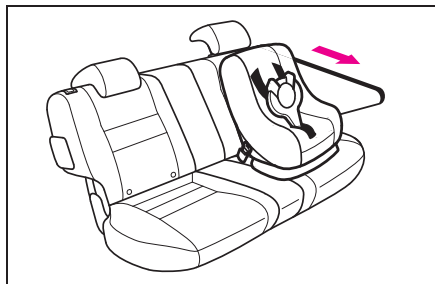


- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。

タングプレート



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





- ④ベルトを少し巻き取らせます。その後、ベルトをゆっくりと引き、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。

⚠ 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

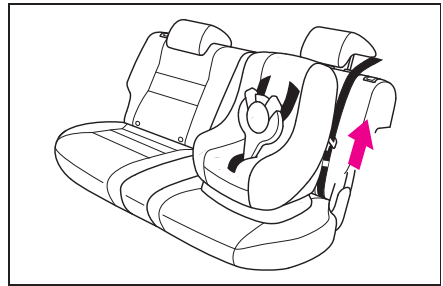


⚠ 注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●解除のしかた

- ①チャイルドシートからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



汎用型ISOFIX取付装置 (後席)

後席には、汎用型ISOFIXチャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。

チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。

ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

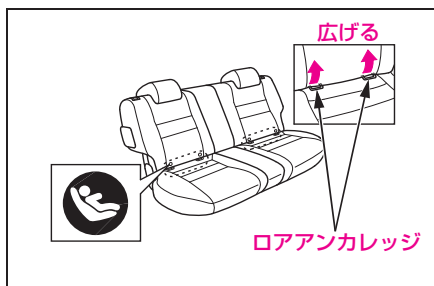
知識

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトを使って取り付けるとき

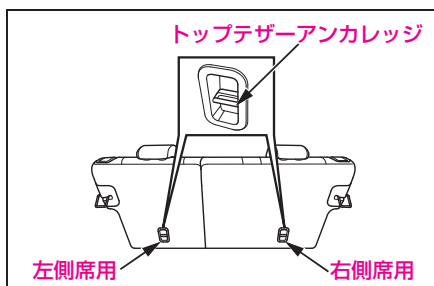
→76ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、ロアアンカレッジの位置を確認します。

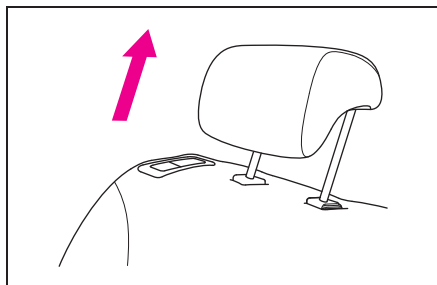


- ②背もたれの後側にあるトップテザーアンカレッジの位置を確認します。

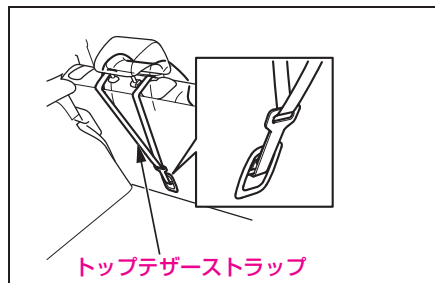




- ③リヤシートのヘッドレストを持ち上げて固定します。



- ④トップテザーストラップをヘッドレストの外側に通します。



- ⑤付属の取扱説明書にしたがってトップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っ掛け、ストラップを締めます。

注意

- チャイルドシートを取り付けるときは、ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。

異物やシートベルトなどのかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。

2

車を運転するときに

●メーター……………82

イルミネーション コントロール……………	85
-------------------------	----

●マルチインフォメーション

ディスプレイ……………	88
表示について……………	89
警告表示について……………	95
カスタマイズ機能について……………	100
タイヤ空気圧警報システム 初期化設定のしかた……………	113
工場出荷時設定のしかた……………	115

●表示灯……………116

●警告灯……………	120
セーフティインジケーター……………	129
エンジンオイルレベル 警告表示……………	129
後席シートベルト非着用 警告表示……………	130
警告灯の電球切れの点検……………	131

●スイッチの使いかた

エンジンスイッチ……………	132
エンジンスタートスイッチ……………	134
ライトスイッチ……………	135
フォグライトスイッチ……………	138
方向指示器(ウィンカー) スイッチ……………	138
ワイパー/ウォッシャー スイッチ……………	139
リヤデフロスタースイッチ……………	142
非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ……………	143
ホーンスイッチ……………	143

●運転のしかた

エンジンのかけかた……………	144
パーキングブレーキ……………	146
チェンジレバーの操作……………	148

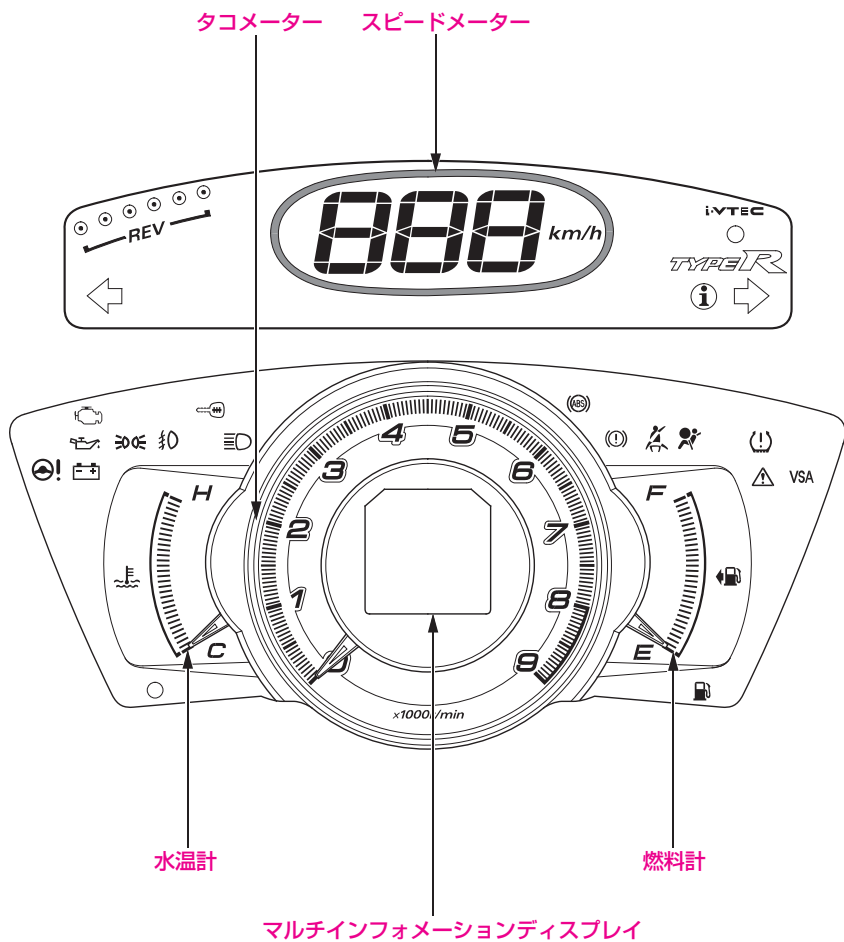
●コーナーセンサー／

バックソナー……………	150
-------------	-----

●リミテッドスリップデフ(LSD)

LSDのしくみ……………	154
取り扱いについて……………	154

メーター





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

知識

- 車速があらかじめ設定しておいた速度に達したときに、警報ブザーと警告表示で注意を運転者にうながすことができます。

速度警報設定のカスタマイズ
→106ページ

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数…………… 8,000 rpm

- 停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が4,700 rpmになると燃料供給が停止されます。

燃料計

エンジンスイッチが“II”のとき、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料の補給 →44ページ

水温計

エンジンスイッチが“II”のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は“H”の目盛より下側をさすのが正常です。



アドバイス

- 針が“H”の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

オーバーヒートしたとき

→266ページ



イルミネーション コントロール

ノブを押すと飛び出します。左右に回すと、メーター表示の明るさが車幅灯点灯時と消灯時にそれぞれ別々に調節できます。



エンジンスイッチが「II」のときノブを回して明るさを調節します。

明るくするとき…

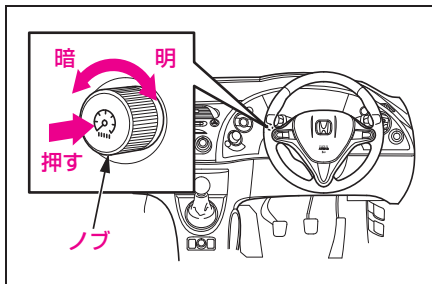
ノブを右に回します。明るさが最大になると“ピッ”という電子音が鳴ります。

暗くするとき…

ノブを左に回します。明るさが最小になると“ピッ”という電子音が鳴ります。

車外の明るさに応じてお好みで調節してください。

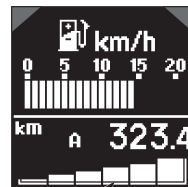
調節後は、ノブを押し込みます。



明るさ調節表示

ノブを回して明るさを調節すると、マルチインフォメーションディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。

☞ が右に増えて行くほど、メーターが明るく表示されます。



明るさ調節表示

知 識

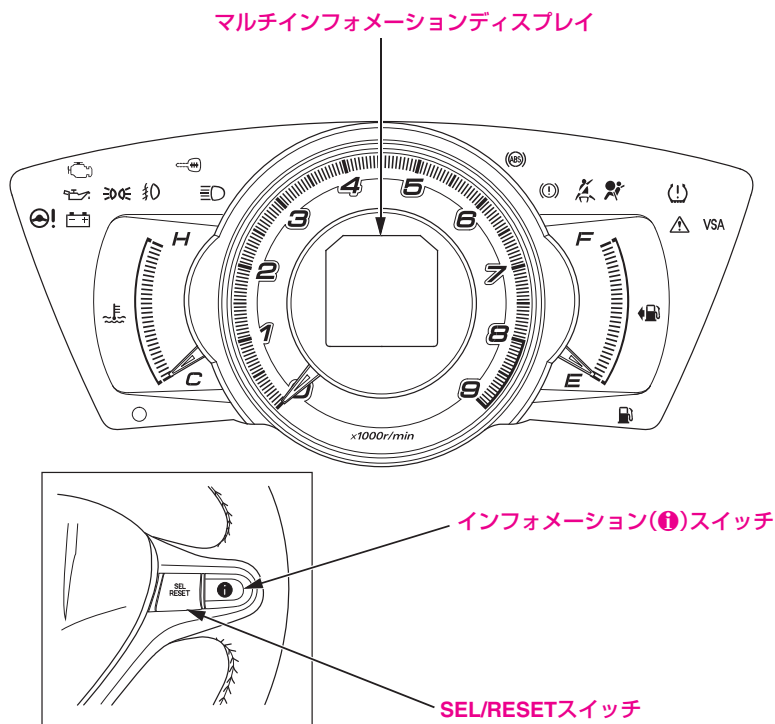
- 調節後5秒すぎたときは、元の表示に切り換わります。
- 車幅灯点灯時に、ノブを右にいっぱい(明るさ最大)まで回すと、車幅灯点灯時の減光が解除されます。このときにも、“ピッ”という電子音が鳴ります。
- 運転席ドアを開けるとメーターが点灯します。
(ウェルカムメーター照明)

知 識

- 次のようなとき、メーターの照明は消灯します。
 - ・運転席ドアを開けてから、何もせずに約3分経過したとき。
 - ・運転席ドアを閉めてから、何もせずに約30秒経過したとき。
 - ・エンジンスイッチにキーを差し込んだまま、約10秒経過したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”に回してから、約5秒経過したとき。
- エンジンスイッチからキーを抜いたときは、メーターの照明はすぐに消灯します。



マルチインフォメーション ディスプレイ





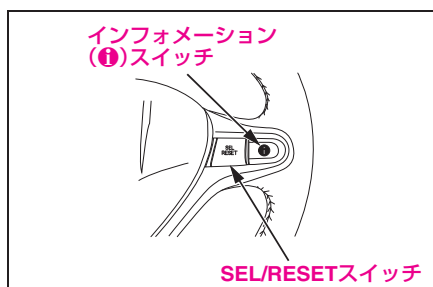
表示について

異常を検知すると、警告表示が割り込み表示され、約5秒後に通常表示に戻ります。また、スピードメーターの右部に**ⓘ**マークが点灯します。

警告表示について →95ページ

表示の切り換え

インフォメーション(**ⓘ**)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとに、マルチインフォメーションディスプレイの画面表示が切り換わります。

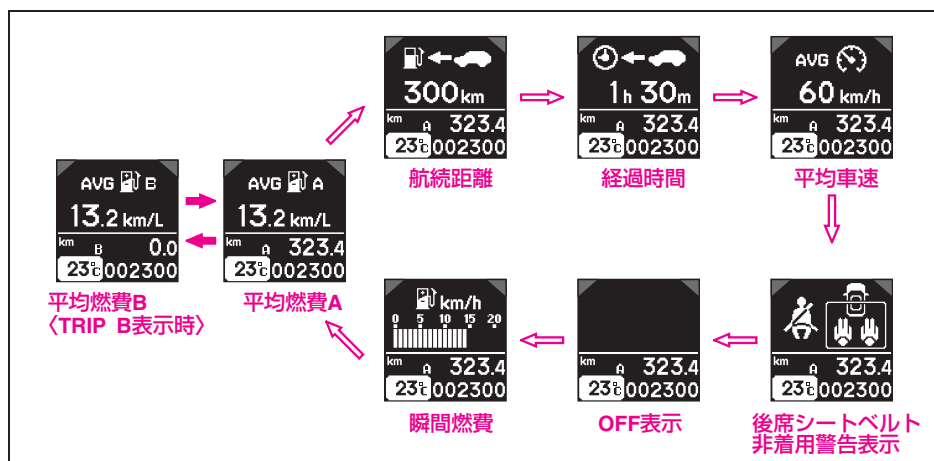


スイッチを押すごとに画面表示が次のように切り換わります。

“平均燃費B”を表示させるには、SEL/RESETスイッチで“TRIP B”を表示させてください。

“TRIP A”または“TRIP B”を表示中にSEL/RESETスイッチを約2秒以上押し続けると、トリップメーターとそれぞれの平均燃費がリセットされます。

→ SEL/RESETスイッチを押す。 → インフォメーション(ℹ)スイッチを押す。





●瞬間燃費表示

エンジンスイッチが“II”のとき、瞬間燃費をバーグラフにkm/Lで表示します。

●平均燃費表示

トリップメーター(“TRIP A”、“TRIP B”)と連動し、それぞれの平均燃費を約10秒間ごとに更新して、km/Lで表示します。

・リセット

“TRIP A”または“TRIP B”がリセットされると、それぞれの平均燃費もリセットされます。

トリップメーター →93ページ

知 識

- 停車時または低速走行中にリセットしたときは、走行を始めてから燃費の計算を開始します。
- 表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。
- “TRIP A”、“平均燃費A”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

カスタマイズ機能について

→100ページ

●航続距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離をkmで表示します。



知識

- 表示される航続距離は実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

●経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。



知識

- エンジンを停止すると経過時間表示はリセットされます。
- 経過時間表示のリセット条件を“TRIP A”または“TRIP B”をリセットしたときに変更することができます。
 - ・エンジン停止中は計算されません。

カスタマイズ機能について
→100ページ
- ・リセットするまでの経過時間を表示します。

トリップメーターのリセット
→89ページ
- 経過時間表示は99時間59分まで表示できます。



●平均車速表示

“TRIP A”をリセットしてからの平均車速をkm/hで表示します。

トリップメーターのリセット
→89ページ



知 識

- エンジン停止中は計算されていません。

●オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

●トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“TRIP A”と“TRIP B”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

表示の切り換え →89ページ



知 識

- 走行距離が9999.9 kmを超えると0 kmに戻ります。
- “TRIP A”、“平均燃費A”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。同時に平均車速もリセットされます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

カスタマイズ機能について

→100ページ

- “TRIP A”または“TRIP B”をリセットすると、それぞれの平均燃費もリセットされます。

平均燃費表示 →91ページ

- “TRIP A”をリセットすると平均車速もリセットされます。
- “TRIP A”または“TRIP B”と連動して経過時間表示をリセットさせることができます。

カスタマイズ機能について

→100ページ

●外気温表示

外気温を測定し表示します。エンジンスイッチを“II”にしたときはそのときの外気温を表示し、走行(車速約30 km/h以上)するまでその表示を続けます。

外気温が下がってきて3℃以下になったとき、下記の外気温低下の表示がマルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示します。



🎓 知 識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など(車速約30 km/h以下)は正しい外気温を表示しないことがあります。
- マルチインフォメーションディスプレイの割り込み表示は、エンジンスイッチを“II”にしてから最初に3℃以下に下がったときにのみ作動します。

外気温補正の設定

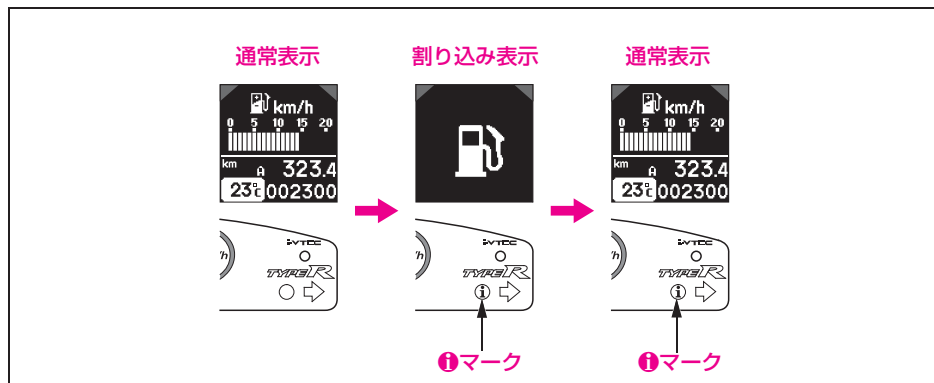
マルチインフォメーションディスプレイを使って、外気温表示の表示温度に補正をかけることができます。+3℃から-3℃の間で設定できます。

カスタマイズ機能について →100ページ



警告表示について

異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が割り込まれます。このとき同時に警告音も鳴ります。



警告表示がマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

iマークが点灯しているときにインフォメーション(**i**)スイッチを押すと、警告表示を再表示させる事ができます。

●表示一覧

マルチインフォメーションディスプレイに表示される警告表示の一覧です。
表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

表示について

表示は、車の異常を検知すると表示されます。

また、通常表示に戻ったあとも、インフォメーション(ℹ)スイッチを押すと表示されます。



知 識

- 警告表示のメッセージ表示や言語の設定を変更することができます。

カスタマイズ機能について →100ページ

表示	表示内容、処置(参照先)
	ブレーキ液量低下 ブレーキ警告灯 →121ページ
	パーキングブレーキを解除してください パーキングブレーキが完全に解除されていないときに表示されます。パーキングブレーキを完全に解除してください。 パーキングブレーキ戻し忘れ警告灯 →147ページ
	ブレーキシステム点検 ブレーキ警告灯 →121ページ
	エンジン油圧異常 油圧警告灯 →122ページ



表示	表示内容、処置(参照先)
	充電システム点検 充電警告灯 →123ページ
	エンジンシステム点検 PGM-FI警告灯 →122ページ
	エンジンのシステムに異常があります。 Honda販売店で点検を受けてください。
	運転席シートベルトを着用してください 前席シートベルト非着用警告灯 →124ページ
	助手席シートベルトを着用してください 前席シートベルト非着用警告灯 →124ページ
	後席シートベルトを着用してください 後席シートベルト非着用警告表示 →130ページ
	エンジンオイルレベル点検 エンジンオイルレベル警告表示 →129ページ
	エンジンオイルレベルセンサー点検 エンジンオイルレベル警告表示 →129ページ

表示	表示内容、処置(参照先)
	障害物検知 コーナーセンサー／バックソナー →150ページ
	コーナーセンサー／バックソナーシステム点検 コーナーセンサー／バックソナーシステム異常 →150ページ
	給油してください。 燃料残量警告灯 →124ページ
	アンチロックブレーキ点検 アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯 →125ページ
	VSA：車両挙動安定化制御システム点検 ビークルスタビリティアシスト(VSA)警告灯 →125ページ
	タイヤ空気圧点検 タイヤ空気圧警報システム警告灯 →126ページ
	タイヤ空気圧警報システム点検 タイヤ空気圧警報システム警告灯 →126ページ
	ドアやテールゲートが閉まっていないときに表示されます。ドアやテールゲートを完全に閉めてください。 セーフティインジケーター →129ページ



表示	表示内容、処置(参照先)
	パワーステアリングシステム点検 エレクトリックパワーステアリング(EPS)警告灯 →128ページ
	外気温低下表示 外気温表示 →94ページ
	速度警報 速度警報設定のカスタマイズ →106ページ
	キーが差し込まれています キー抜き忘れ警告 →134ページ
	ライトが点灯しています ライト消し忘れ警告 →136ページ
	エアバッグシステム点検 SRSエアバッグシステム警告灯 →125ページ

カスタマイズ機能について

一覧にある機能の設定を、お好みに合わせてカスタマイズ(設定変更)することができます。

マルチインフォメーションディスプレイを使って、各機能のカスタマイズが行えます。

カスタマイズのしかた →105ページ

●カスタマイズグループ

速度警報設定

[] : 工場出荷時の設定		
カスタマイズメニュー	設定	設定の内容
速度警報1作動設定 (停車時／走行時) →106ページ	作動	速度警報1の設定速度に達すると警報ブザーと警告表示で注意をうながします。
	停止	速度警報1を停止させます。
速度警報1速度設定 (停車時) →106ページ	50 km/h	速度警報1の設定速度を5 km/h刻みで増減できます。
	5 km/h～ 5 km/h刻み	
速度警報2 作動設定 (停車時/走行時) →106ページ	作動	速度警報2の設定速度に達すると警報ブザーと警告表示で注意をうながします。
	停止	速度警報2を停止させます。
速度警報2速度設定 (停車時) →106ページ	80 km/h	速度警報2の設定速度を5 km/h刻みで増減できます。
	5 km/h～ 5 km/h刻み	



メーター設定

 : 工場出荷時の設定

カスタマイズ メニュー	設定	設定の内容
警告表示のメッセージ 設定 →109ページ	ON	警告表示のメッセージを表示します。
	OFF	警告表示のメッセージを非表示にします。
外気温表示補正 →94ページ	±0°C	外気温表示が+3°C〜-3°Cの範囲で 1°Cごとに補正できます。
	+3°C〜 -3°C	
トリップAの給油連動 リセット →93ページ	ON	“TRIP A”および“平均燃費A”が給油時に自動的にリセットします。同時に平均車速もリセットされます。
	OFF	“TRIP A”および“平均燃費A”は給油時に自動的にリセットしません。
経過時間のリセット条件 切り換え →92ページ	IGN OFF	エンジン停止したときに経過時間表示がリセットされます。
	TRIP A	経過時間表示が“TRIP A”リセット時にリセットされます。
	TRIP B	経過時間表示が“TRIP B”リセット時にリセットされます。
REVインジケータ 表示設定 →118ページ	ON	REVインジケータを表示します。
	OFF	REVインジケータを非表示にします。
i-VTECインジケータ 表示設定 →118ページ	ON	i-VTECインジケータを表示します。
	OFF	i-VTECインジケータを非表示にします。

言語設定

: 工場出荷時の設定

カスタマイズ メニュー	設定	設定の内容
表示言語の切り換え →112ページ	EN	言語は英語で表示されます。
	FR	言語はフランス語で表示されます。
	DE	言語はドイツ語で表示されます。
	ES	言語はスペイン語で表示されます。
	IT	言語はイタリア語で表示されます。
	PT	言語はポルトガル語で表示されます。



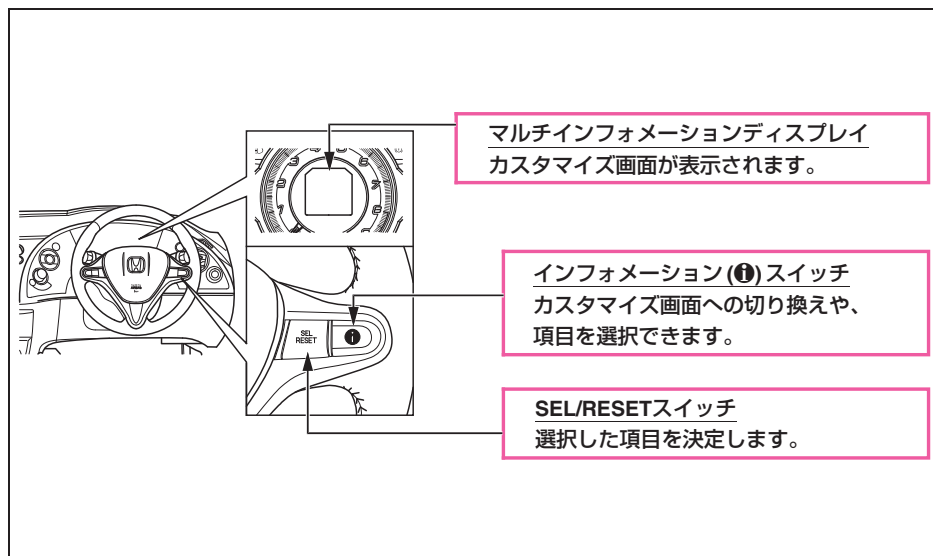
知 識

- カスタマイズしたすべての設定を初期化し、一度に工場出荷時の設定に戻すことができます。

設定をリセットする →115ページ

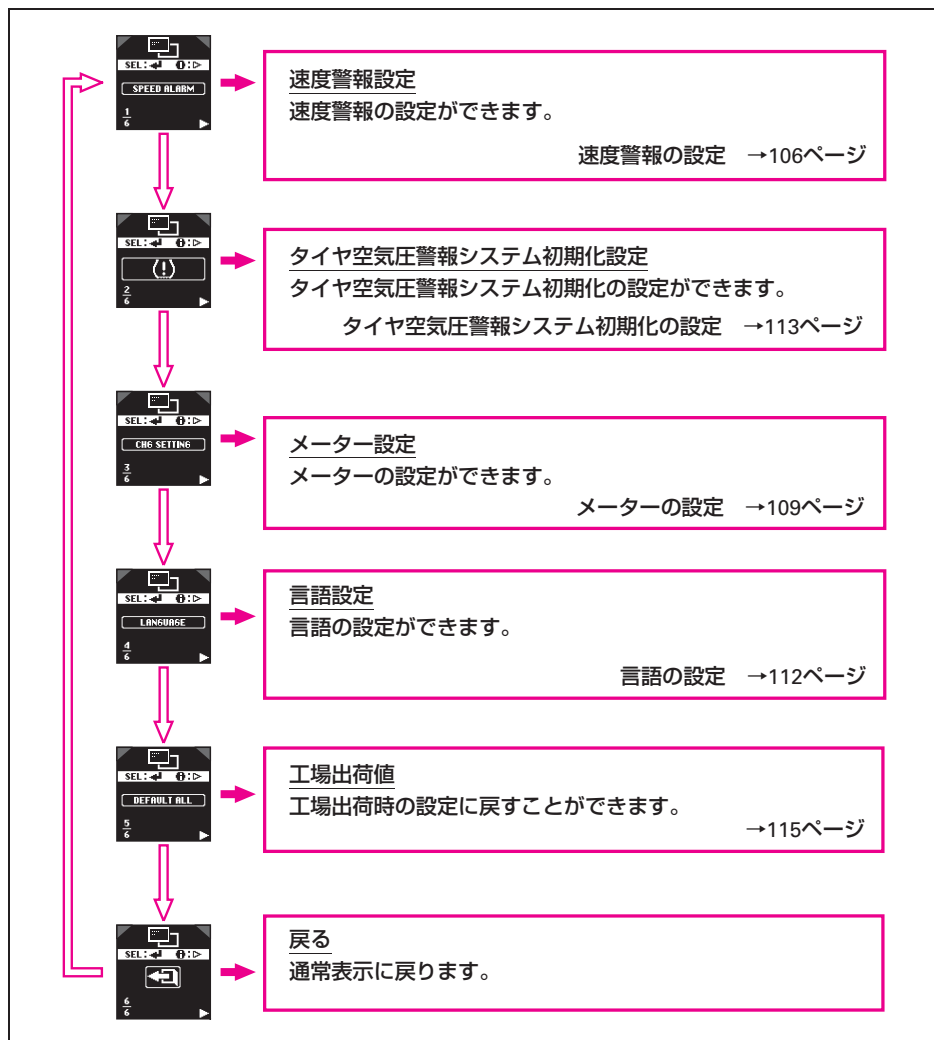


●スイッチの使いかたとカスタマイズ画面の見かた



カスタマイズグループ画面

→ インフォメーション(❗)スイッチを押す。(選択) → SEL/RESETスイッチを押す。(決定)





●カスタマイズのしかた

エンジンスイッチが“II”で、パーキングブレーキがかかっているときにカスタマイズ操作を行うことができます。

知識

- カスタマイズ操作の途中で、エンジンスイッチを“I”または“0”にしたり、パーキングブレーキを解除したときは、通常表示に戻ります。このとき、変更途中の設定は変更されず元の設定のままになります。
- 速度警報作動設定の切り換えは走行中でも操作を行うことができます。

走行時の速度警報設定

→106ページ

- 初回の言語設定が完了していないときは、言語設定画面に切り換わります。

言語設定のカスタマイズ

→112ページ

- ①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押すと、マルチインフォメーションディスプレイがカスタマイズグループ画面に切り換わります。



速度警報設定のカスタマイズ

車速があらかじめ設定しておいた速度に達したときに、警報ブザーと警告表示で注意を運転者にうながします。

2種類の速度を設定することができます。

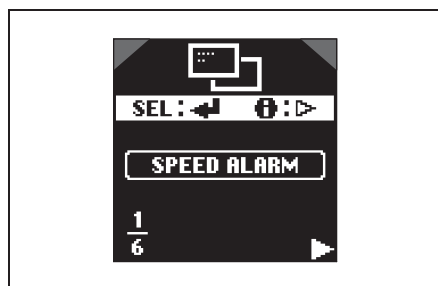
・停車時の速度警報設定

- ①カスタマイズグループ画面を表示させます。

カスタマイズのしかた

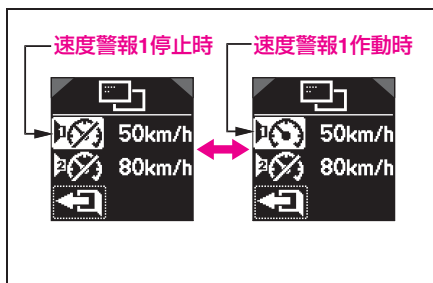
→105ページ

- ②カスタマイズグループ画面から“SPEED ALARM”を選択し、決定すると速度警報設定画面に切り換わります。

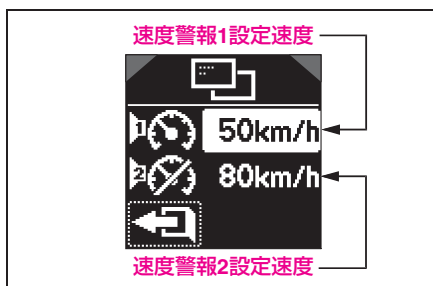


インフォメーションスイッチ(I)を押すごとに速度警報1→速度警報1設定速度→速度警報2→速度警報2設定速度の順に切り換わります。

- ③速度警報1または速度警報2を選択し、SEL/RESETスイッチを押すと作動／停止が切り換わります。

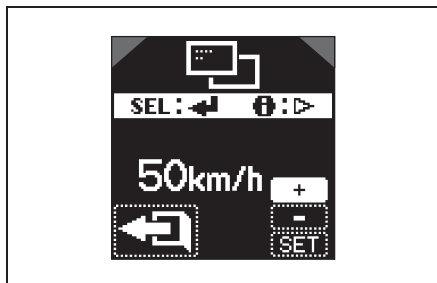


- ④速度警報1または速度警報2の設定速度を選択し、決定すると速度設定画面に切り換わります。





- ⑤ “+” または “-” を選択し、決定すると
5 km/h ずつ速度設定が変更されます。

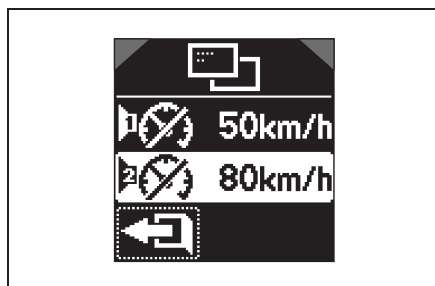


- ⑥ 速度設定が終了したら “SET” を選択し、
決定します。

・走行時の速度警報設定

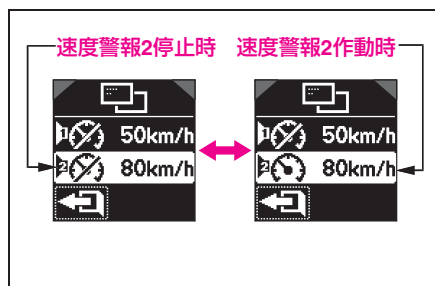
速度警報1または速度警報2の作動／停止を切り換えることができます。

- ① インフォメーションスイッチ (I) を
押し、速度警報設定画面に切り換
わります。

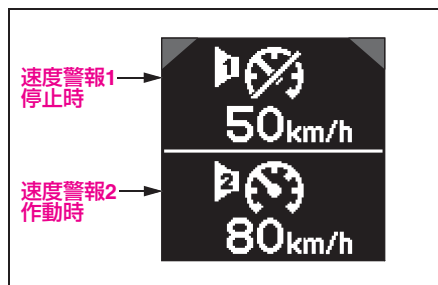


- ② インフォメーションスイッチ (I) を
押しごとに速度警報1→速度警報2の
順に切り換わります。

選択後、決定すると作動／停止が切
り換わります。



- ③ “”を選択し、決定すると各設定速度が表示された後、通常表示画面に戻ります。





メーター設定のカスタマイズ

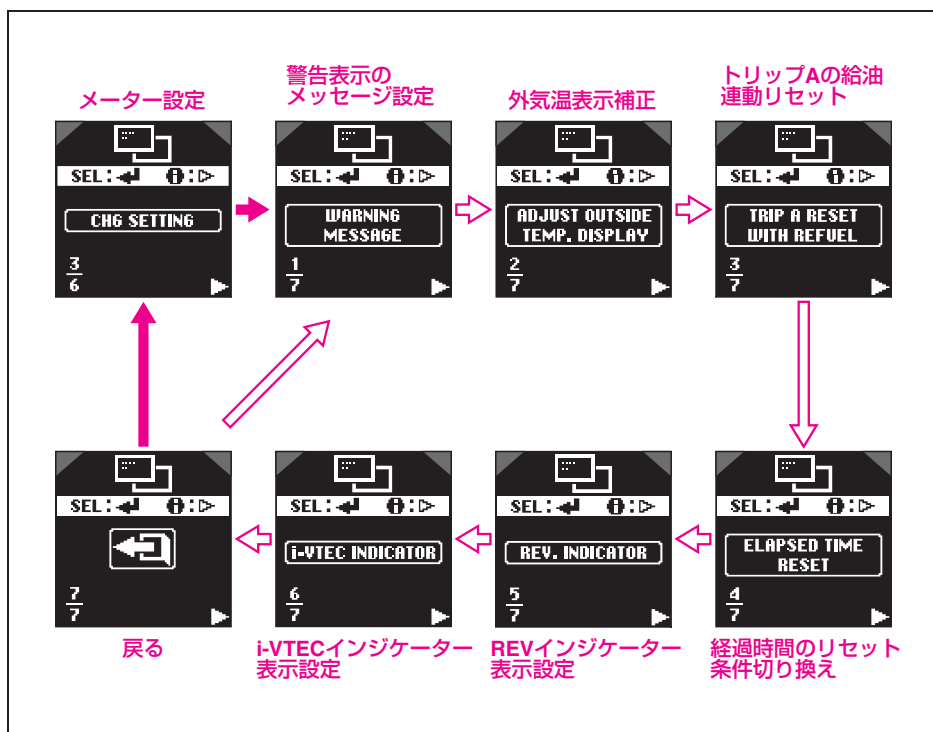
①カスタマイズグループ画面を表示させます。

カスタマイズのしかた →105ページ

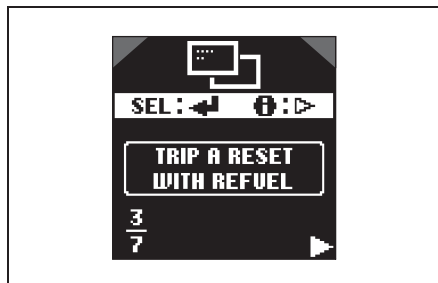
②カスタマイズグループ画面から“CHG SETTING”を選択し、決定するとカスタマイズメニュー画面に切り換ります。

③カスタマイズしたい機能のカスタマイズメニューを選択し、決定します。インフォメーション(❶)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

→ SEL/RESETスイッチを押す。(決定) → インフォメーション(❶)スイッチを押す。(選択)



- ④例えば、トリップAの給油連動リセットを連動に設定する場合、“TRIP A RESET WITH REFUEL”を選択し、決定すると設定画面に切り換わります。



- ⑤インフォメーション(i)スイッチを押して“ON”を選択しSEL/RESETスイッチを押して決定します。

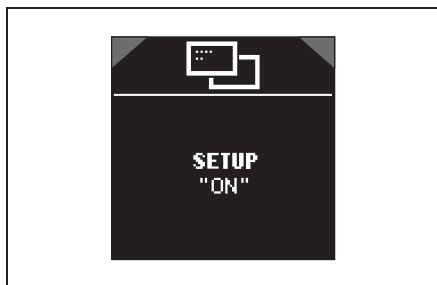


知識

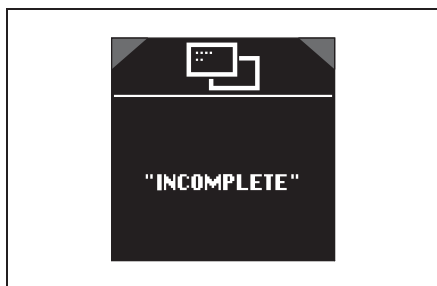
- “”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。



⑥ “SETUP ON” が約2秒間表示された後、カスタマイズグループ画面に戻ります。



“INCOMPLETE” が約2秒間表示されたときは、設定が完了していないため手順④～⑤を繰り返し行います。



⑦インフォメーション(ℹ)スイッチを押して“”を選択し、SEL/RESETスイッチを押して決定すると通常表示画面に戻ります。



知識

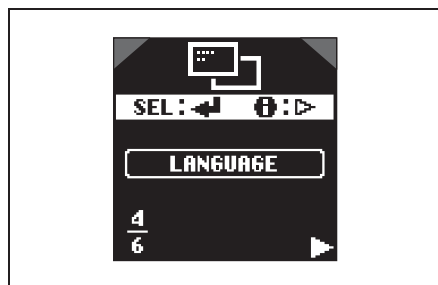
- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“”を選択せずに手順①～⑤を繰り返し行います。

言語設定のカスタマイズ

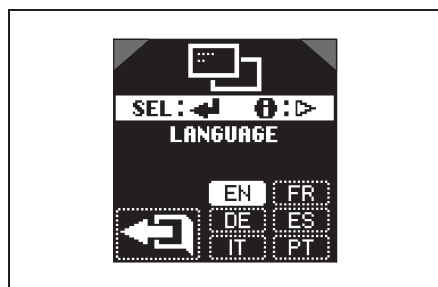
①カスタマイズグループ画面を表示させます。

カスタマイズのしかた
→105ページ

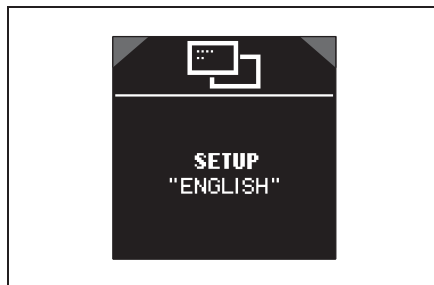
②カスタマイズグループ画面から“LANGUAGE”を選択し、決定すると言語設定画面に切り換わります。



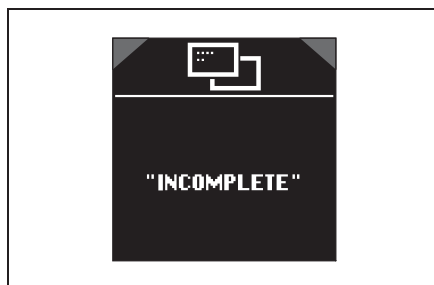
③言語を選択し、決定します。



④“SET UP”と設定した言語が表示された後、言語設定画面に戻ります。



“INCOMPLETE”が約2秒間表示されたときは、設定が完了していないため手順③～④を繰り返し行います。



⑤インフォメーション(❶)スイッチを押して“←”を選択し、SEL/RESETスイッチを押して決定すると通常表示画面に戻ります。



タイヤ空気圧警報システム 初期化設定のしかた

次の場合、タイヤ空気圧警報システムの初期化を行ってください。

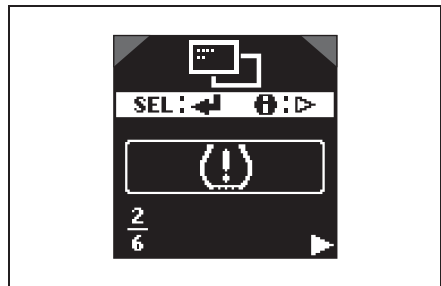
- タイヤを指定空気圧に調整したとき。
- タイヤを交換したとき。
- タイヤの位置交換をしたとき。
- タイヤパンク応急修理キットを使用したとき。

知 識

- タイヤチェーンを装着しているときは、初期化を行わないでください。
- タイヤ空気圧警報システムの初期化を行うと、メーター内のタイヤ空気圧警報システム警告灯とマルチインフォメーションディスプレイの警告表示が消灯します。

エンジンスイッチが“II”で、パーキングブレーキがかかっているときにタイヤ空気圧警報システムの初期化を行うことができます。

- ①インフォメーション(❶)スイッチを約3秒以上押すと、マルチインフォメーションディスプレイがカスタマイズグループ画面に切り換わります。
- ②“(!)”を選択し、決定すると、“INITIALISATION”画面に切り換わります。



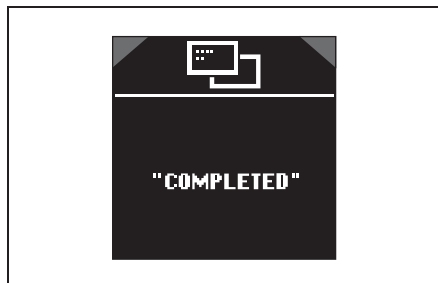
- ③“OK”を選択し決定します。



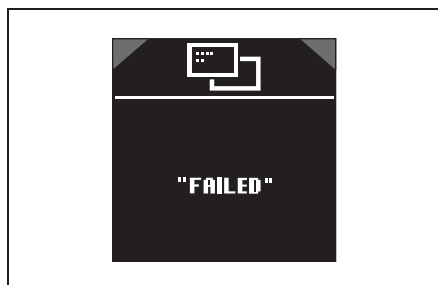
知 識

- “CANCEL”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

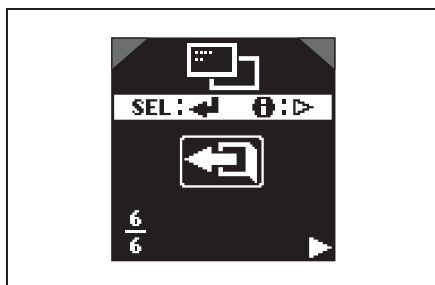
- ④ “COMPLETED” が数秒表示された後、カスタマイズ画面に戻ります。



“FAILED” が数秒表示されたときは、タイヤ空気圧警報システムが初期化されていないため、手順③、④を繰り返します。



- ⑤ 下記の表示画面でSEL/RESETスイッチを押して決定すると、通常表示画面に戻ります。



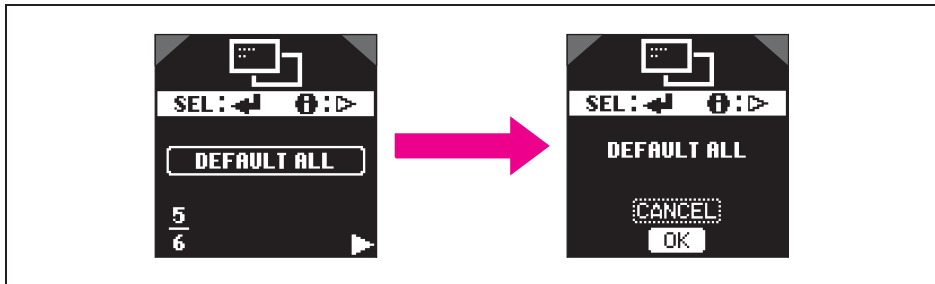


工場出荷時設定のしかた

マルチインフォメーションディスプレイを使って、カスタマイズしたすべての設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻すことができます。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すとき

- ①インフォメーション(❶)スイッチを約3秒以上押し続けて、カスタマイズグループ画面を表示させます。
- ②“DEFAULT ALL”を選択し、決定すると、“DEFAULT ALL”画面に切り換わります。
スイッチの使いかたとカスタマイズ画面の見かた →103ページ



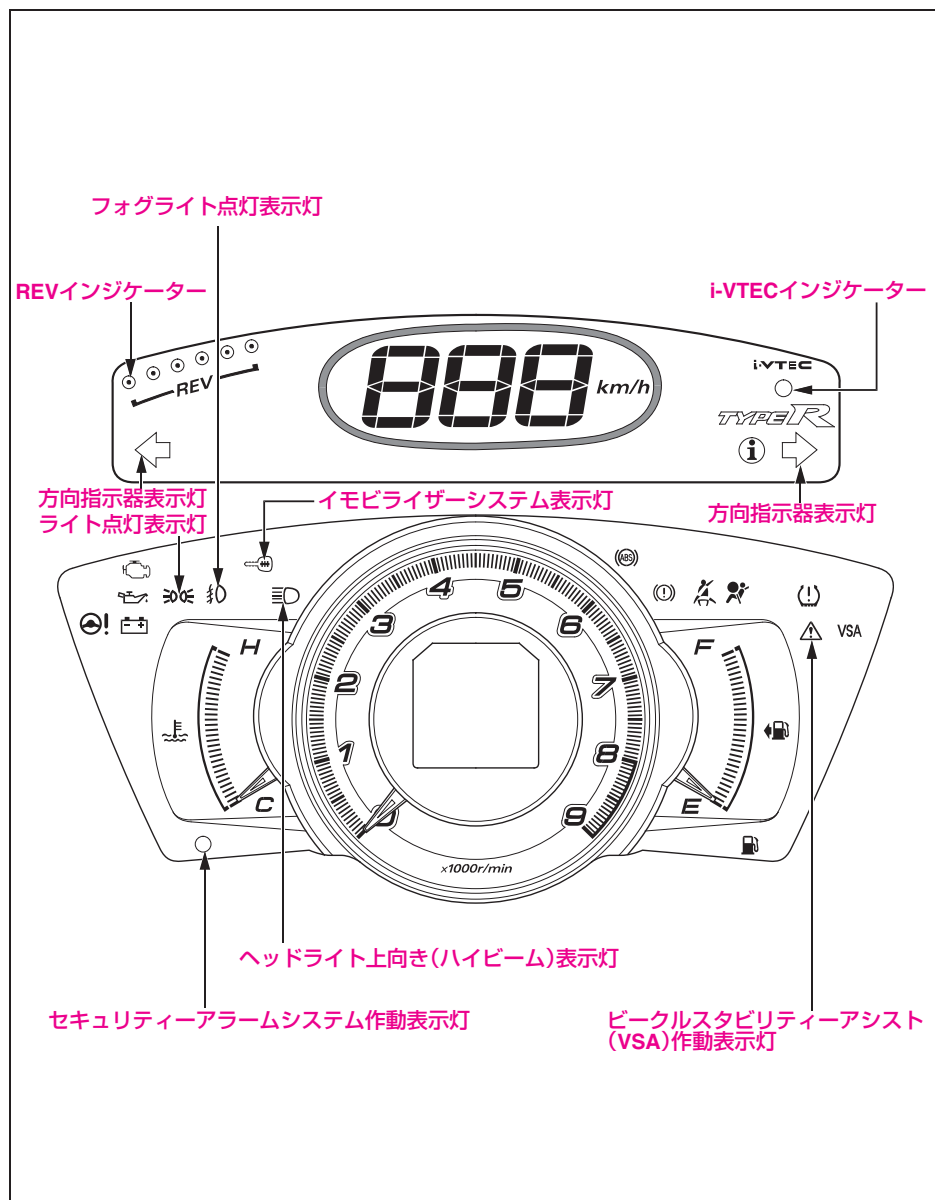
- ③“OK”を選択し、決定すると、“COMPLETED”が約2秒間表示され、“LANGUAGE”画面に切り換わります。
“CANCEL”を選択し、決定すると通常画面に戻ります。
- ④カスタマイズグループ画面で“< >”を選択し、決定しても通常画面に戻ります。

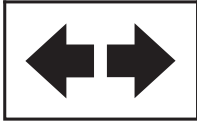
知識

- 工場出荷時の設定に戻すと、カスタマイズした設定は消去されます。カスタマイズしていた設定に戻すには、再度カスタマイズを行ってください。
カスタマイズ機能について →100ページ
- 工場出荷時の設定に戻したときは、言語設定をすると再度カスタマイズできるようになります。

言語設定のカスタマイズ →112ページ

表示灯





方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違った物を使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→275ページ

電球(バルブ)のワット数

→327ページ



ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



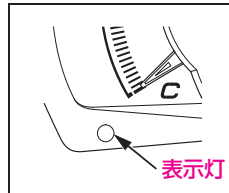
フォグライト点灯表示灯

フォグライトが点灯しているときに点灯します。



ライト点灯表示灯

ライトスイッチが“OFF”以外のときに点灯します。



セキュリティーアラームシステム作動表示灯

セキュリティーアラームシステムがセットされているときに点滅します。

セキュリティーアラームシステムについて

→51ページ



i-VTECインジケータース

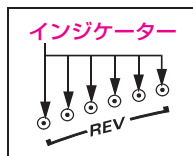
低速用カムから高速用カムに切り換わったときに点灯します。

知 識

- 工場出荷時は、非点灯に設定されています。
カスタマイズすることで点灯に変更することができます。

カスタマイズ機能について

→100ページ



REVインジケータース

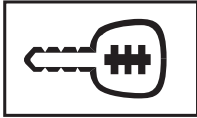
エンジン回転数と連動して左側から順次点灯していきます。

知 識

- 走行状況によりタコメーターとインジケータースに差が生じることがあります。
- REVインジケータースの点灯する・しないを変更することができます。

カスタマイズ機能について

→100ページ



イモビライザーシステム表示灯

システムがキーの信号を認識していないときに点滅します。

点滅したときは

エンジンを始動することはできません。そのときは、エンジンスイッチを“0”へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み“II”にしてください。



アドバイス

- 頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。



ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)作動表示灯

VSAが作動中に点滅します。

VSAを“OFF”にしたときと、VSAに異常があるときに点灯します。

→168ページ

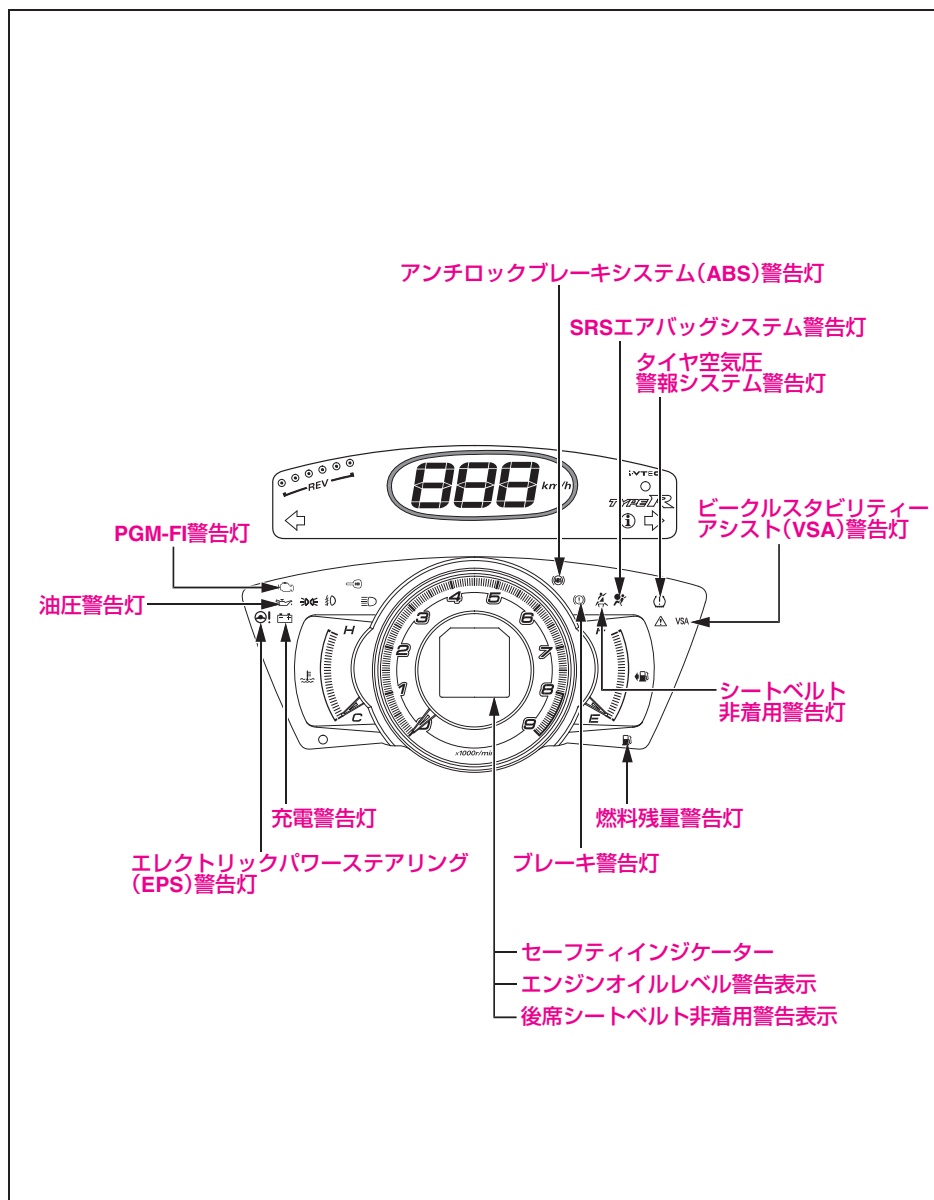


知識

- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

VSA警告灯 →125ページ

警告灯





ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に解除されていないときに点灯します。この状態で走行するとブザーが鳴ります。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー

→147ページ

ブレーキ液量がいちじるしく減少しているときにも点灯します。また、ABSが異常のときABS警告灯と同時に点灯することがあります。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにHonda販売店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ブレーキ液量が正常で、アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯と同時に点灯したときは、アンチロックブレーキシステム(ABS)の異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯 →167ページ



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



点灯したときは

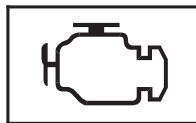
エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにHonda販売店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



点灯したときは

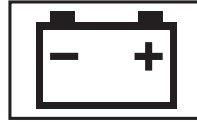
運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

点滅したときは

- ①走行中に点滅した場合は、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分間以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。
- ②エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50 km/h以下の速度で、最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

**アドバイス**

- 警告灯が点滅した状態で運転は続けしないでください。
触媒装置を焼損することがあります。

**充電警告灯**

充電系統が異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。

**点灯したときは**

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



シートベルト非着用警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席および助手席シートベルトを着用するまで前席シートベルトリマインダー(非着用警報装置)が作動し、点灯し続けます。

また、エンジンスイッチを“II”にしたときや走行したときは、運転席および助手席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。

(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

知識

- シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも一定回数を超えると、ブザーは止まります。

助手席側

シートベルトリマインダーは乗車したときに作動します。

知識

助手席側

次の場合、シートベルトリマインダーが正常に作動しないことがあります。

- ・お子さまや小柄な方を乗せているとき。
- ・重い荷物などを置いているとき。
- ・クッションを使用したり、正しい姿勢で乗車していないとき。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が7 L前後になったときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

燃料の補給 →44ページ

燃料計に異常があるときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

ガソリンの量を正しく表示できませんので、走行距離に注意して、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。

→167ページ



SRSエアバッグシステム警告灯(エ アバッグシステムとシートベルトプ リテンショナー警告灯兼用)

次のシステムの異常を検出すると点灯し
ます。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。

SRSエアバッグシステム →156ページ

シートベルトプリテンショナー

→164ページ



ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システ ム)警告灯

VSAが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。

→168ページ

知 識

- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。
- ブレーキアシストの装置に異常があるとVSA警告灯が点灯します。
ブレーキアシスト →172ページ
- VSA警告灯が点灯したときはブレーキアシストは作動しません。



タイヤ空気圧警報システム警告灯

走行中、(車速約25 km/h以上)四輪いずれかのタイヤの空気圧が低下すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

知識

- タイヤ空気圧警報システムは、タイヤの空気圧を直接測定するシステムではありません。回転数センサーが各タイヤの回転数を監視することで四輪いずれかのタイヤ空気圧の低下によるタイヤ回転速度差を検知し、運転者にタイヤの空気圧が低下していることを警告するシステムです。

タイヤ空気圧警報システムの作動について

アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、タイヤ空気圧警報システムが正常に機能しなくなることがあります。

次のような場合、タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しないことがあります。

- タイヤ空気圧警報システムが初期化されていないとき。
- 複数のタイヤの空気圧が同時に低下しているとき。
- タイヤチェーンを装着しているとき。
- 四輪への荷重が著しく偏っているとき。
- 急激に空気圧が低下しているとき。



誤作動防止のため、次のような場合には、タイヤ空気圧警報システムは作動しません。

- 停止中、低速(25 km/h以下)またはサーキット走行などの高速走行しているとき。
- ブレーキを踏んでいるとき。
- 急加速、急減速や急ハンドルをしたとき。
- 悪路、砂利道、雪道などの滑りやすい路面を走行しているとき。
- ABSまたはVSAが作動しているとき。
- 四輪のタイヤ空気圧が均等に低下したとき。

点灯したときは

- ①ただちに安全な場所に停車して、すべてのタイヤを点検し、指定空気圧に調整してください。

タイヤの空気圧 →330ページ
タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットを使用し修理します。

タイヤパンク応急修理キット
→256ページ

- ②空気圧調整後、タイヤ空気圧警報システムの初期化を行います。

タイヤ空気圧警報システムの
初期化のしかた →113ページ
空気圧調整後、初期化をしても警告灯が消灯しないときは、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

点滅したときは

システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

ABS警告灯、VSA警告灯またはVSA作動表示灯と同時に点灯したときは

ABSまたはVSAの異常が考えられます。すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



エレクトリックパワーステアリング (EPS) 警告灯

EPSが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。



点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後走行中に消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

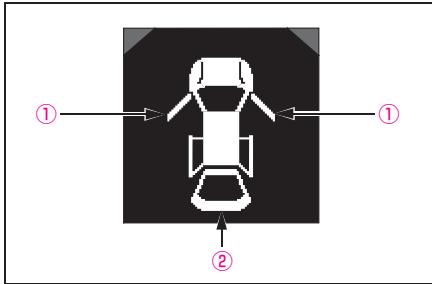
知 識

- 警告灯が点灯しているときは、ハンドル操作が重くなる場合もあります。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと、警告灯が点灯しハンドル操作が重くなる場合があります。このときは、エンジンを再始動すると警告灯が消灯します。
- 停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰します。
システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。



セーフティインジケーター

マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が表示されます。



① ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。

② テールゲート開閉警告灯

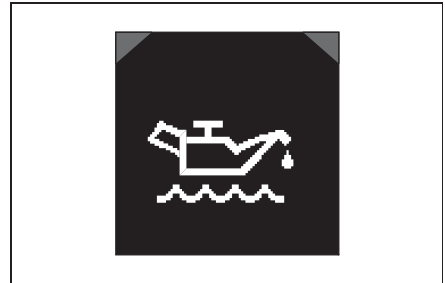
テールゲートが完全に閉まっていないときに点灯します。



テールゲートを完全に閉めてください。

エンジンオイルレベル警告表示

エンジン回転中に、エンジンオイルレベルが低いとマルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示します。



エンジン回転中に表示した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに表示しているときや、エンジンオイルを補給しても表示するときは、ただちにHonda販売店へご連絡ください。

エンジンオイル量の点検に関しては、別冊のメンテナンスノートをご覧ください。

⚠️ アドバイス

- 表示したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

エンジンオイルレベルセンサーが異常のとき、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示します。



エンジン回転中に表示した場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

後席シートベルト非着用 警告表示

次の場合にエンジンスイッチを“II”にすると、マルチインフォメーションディスプレイに後席シートベルト着用状況が表示されます。

- ウォークイン機構を使用してからドアを閉めたとき。
- 後席のシートベルトの着用状態が変化したとき。

後席右側着用時



後席シートベルト着用状況が検知できないときは、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。





警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、Honda販売店へご連絡ください。

- **ブレーキ警告灯**

(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)

(パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)

- **油圧警告灯**

(エンジン始動後消灯)

- **PGM-FI警告灯**

(エンジン始動後消灯)

(エンジンを始動していないときは約20秒後消灯)

- **充電警告灯**

(エンジン始動後消灯)

- **アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯**

(数秒後消灯)

- **SRSエアバッグシステム警告灯**

(約6秒後消灯)

- **ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯**

(数秒後消灯)

- **タイヤ空気圧警報システム警告灯**

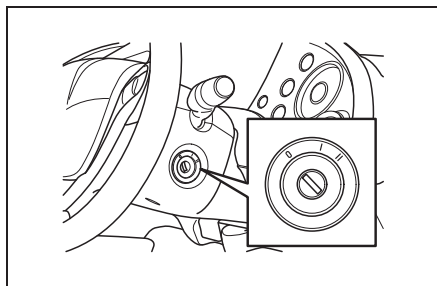
(数秒後消灯)

- **エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯**

(エンジン始動後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

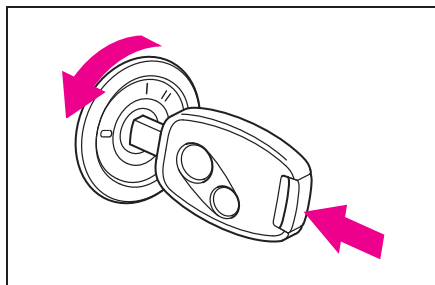
エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

運転するときの位置です。
(エンジンスタートスイッチでエンジンを始動するときの位置です。)

キーを抜くとき

- "I"でキーを押し込んで"0"まで回してキーを抜きます。





知識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。

“0”から“I”にキーが回らないとき (ハンドルロックの解除)

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。
エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。



知識

- エンジンスイッチを“0”にするときは、途中の位置で止めずに“0”まで回してください。
- エンジンを止めた状態で“I”または“II”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

●キー抜き忘れ警告

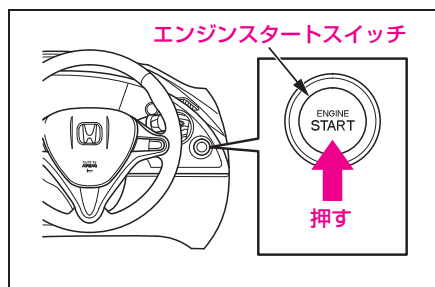
エンジンスイッチが“I”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

マルチインフォメーションディスプレイに、次のように表示されます。



エンジンスタートスイッチ

エンジンスイッチが“II”のときに、クラッチペダルをいっぱいに踏み込み、スイッチを押している間、スターターモーターが回転しエンジンを始動させます。



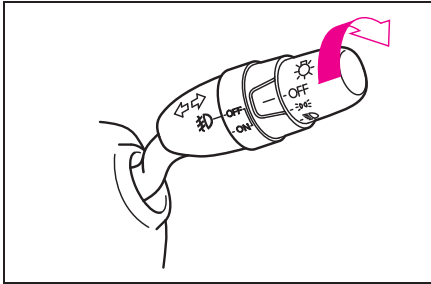
エンジンのかけかた →144ページ



ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	☀	☀
ヘッドライト	—	点灯
車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

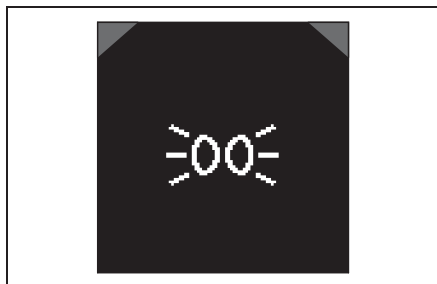
ライト点灯表示灯 →117ページ

🎓 知 識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。
- ディスチャージヘッドライトのバルブは、点灯・消灯を繰り返すとバルブの寿命が短くなる特性があります。

●ライト消し忘れ警告

ライトを点灯したままエンジンスイッチからキーを抜いて、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)に、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

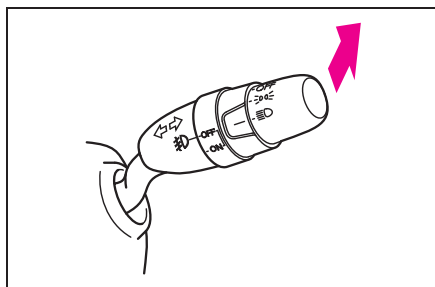


●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

レバーを前方へ押すと上向きになります。戻すと下向きになります。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライト上向き(ハイビーム)
表示灯 →117ページ



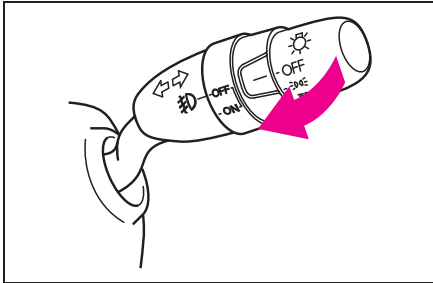
🎓 知 識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。



●追越合図(パッシング)

レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。



●オートレベリング機能

ヘッドライトには、積載時などの車両の姿勢の変化に応じて光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベリング機能が装備されています。



アドバイス

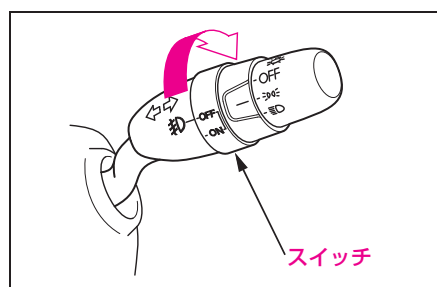
- ヘッドライト光軸の上下方向に異常を感じたときはHonda販売店で点検を受けてください。

フォグライトスイッチ

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチをON(“”)にするとフォグライトが点灯します。

同時にメーター内の表示灯が点灯します。

フォグライト点灯表示灯 →117ページ

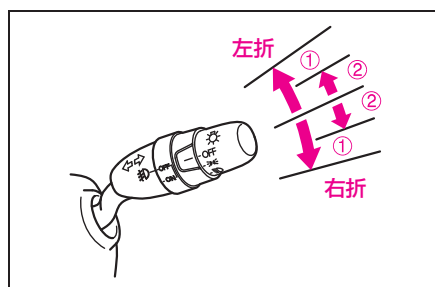


方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。

この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。

車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。





ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- から拭きをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでデフロスターでフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →184ページ

🎓 知識

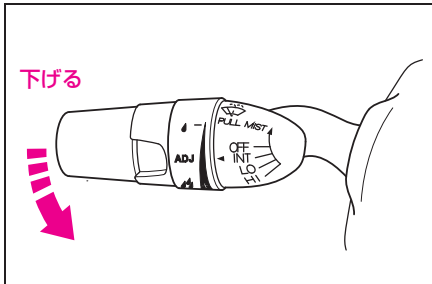
- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。
- ワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてください。
また、倒すときは、助手席側を先に倒してください。

ワイパーアームの起こしかた

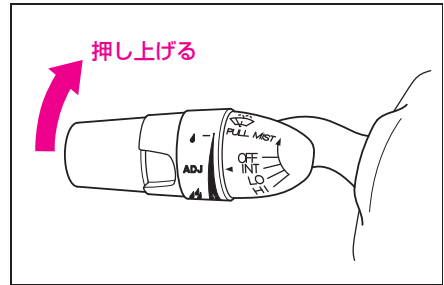
→317ページ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●ワイパースイッチ



- OFF…………… 停止
INT(間欠) …… 雨量の少ないとき
LO(低速) …… 普通雨量のとき
HI(高速)……… 雨量の多いとき



MIST ……………

レバーを押し上げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときなどに使うと便利です。

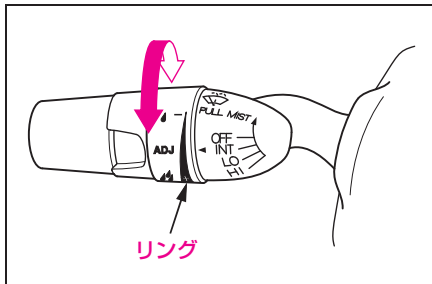


間欠時間の調節

ワイパーの間欠作動の間隔を調節できます。



間隔のセットはリングを回して行います。



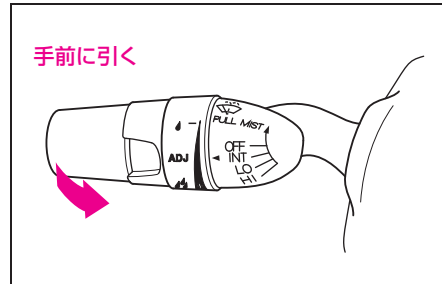
位置	間隔
	長い
	短い

知 識

- 間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より約4秒短くなります。
- また、発進時にワイパーが1回作動します。
- リングを間欠時間の短い方へいっぱい回しているときに、車速が速くなるとワイパーが間欠から低速作動になります。

●ウォッシャースイッチ

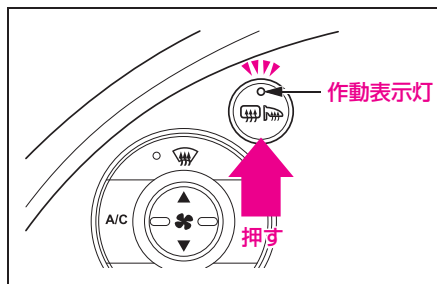
レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離した後さらに2～3回作動します。



リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

▼
エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



知 識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。
“ON”のままであっても、外気温に応じて約20分～40分経過後自動的に“OFF”になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布で拭いてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。
- リヤデフロスタースイッチを押すと、ドアミラーの曇り取りも同時に機能します。

ヒータードアミラー

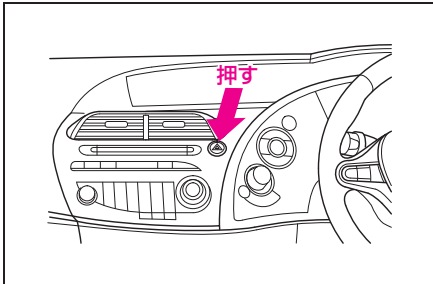
→63ページ



非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するときに使います。

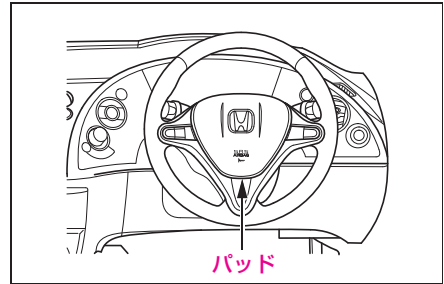


知 識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも
約2時間以上使うとバッテリー容量
が低下し、エンジンの始動ができ
なくなります。

ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

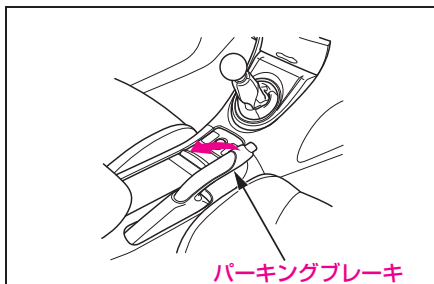
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずHonda販売店で点検を受けてください。

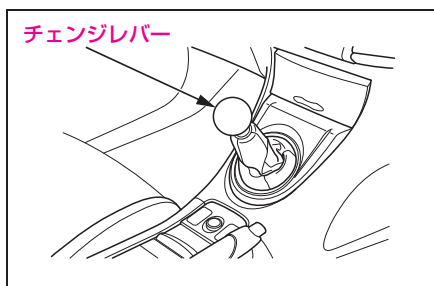
- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作
→146ページ



- ② チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

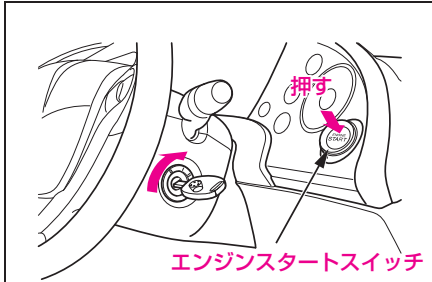
チェンジレバーの操作 →148ページ



- ③ ブレーキペダルをしっかりと踏み、クラッチペダルもいっばいに踏み込みます。



- ④アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを“II”まで回し、エンジンが始動するまでエンジンスタートスイッチを押してください。



・クラッチ・スタートシステム

思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとスターターが回らないようになっています。

知 識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度エンジンスイッチを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。

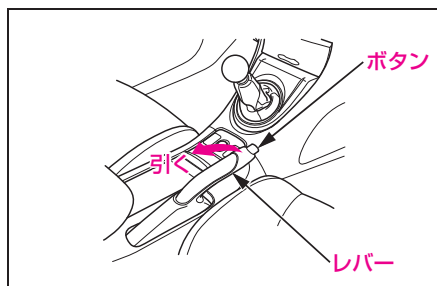
知 識

- 周囲の電波状態などによりエンジンが始動できないことがあります。
イモビライザーシステム
→50ページ
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

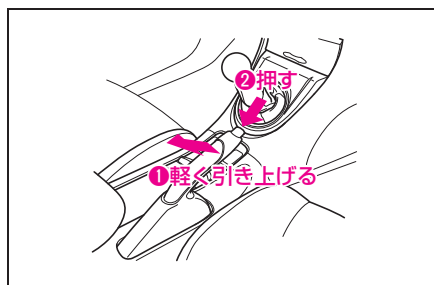
ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



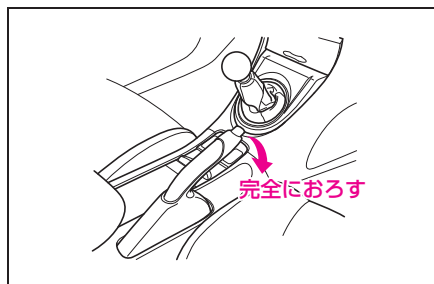
後輪ブレーキが効きます。

解除するとき

①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



②ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。





⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

🎓 知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの
取り扱い →312ページ

パーキングブレーキ戻し忘れ警告

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行(車速約7 km/h以上)するとブザーが鳴り、パーキングブレーキの戻し忘れを知らせます。パーキングブレーキを完全に解除するとブザーは止まります。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

ブレーキ警告灯 →121ページ



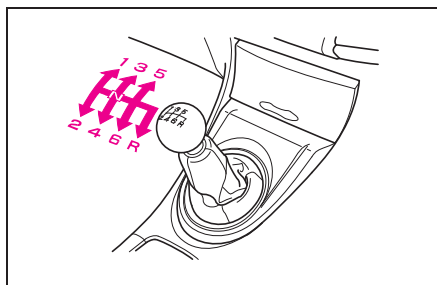
パーキングブレーキを解除するときは、一旦停車してから操作してください。

🎓 知識

- 停車(車速約3 km/h以下)するとブザーによる警告は一旦止まります。

チェンジレバーの操作

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

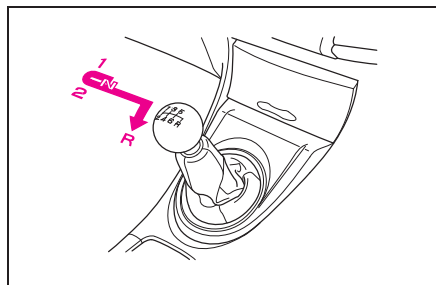
知識

- 炎天下に長時間駐車すると、シフトノブが熱くなることがあります。

Rに入らないとき

誤操作を防ぐため、Rへは一定車速以上では入らないようになっています。

停車してもRに入らないときは、チェンジレバーを一度Nへ戻し、1、2側に倒してからRに入れてください。



上記の操作をしてもRに入らないときは

- ①パーキングブレーキをかけてエンジンスイッチを“I”または“O”にします。
- ②クラッチペダルを踏んで、チェンジレバーをRに入れます。
- ③クラッチペダルを踏んだまま、エンジンを始動します。

アドバイス

- 停車してもRに入らない場合は、故障が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～56 km/h
2	15～86 km/h
3	25～121 km/h
4	35～160 km/h
5	40 km/h～
6	50 km/h～

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

🚗 アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数…………… 8,000 rpm

🎓 知識

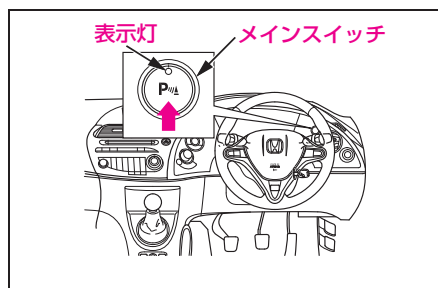
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000 km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

コーナーセンサー／バックソナー

車両の後部と障害物のおおよその間隔を運転者に表示灯とブザーで知らせる装置で、車庫入れや縦列駐車などのときに便利です。

●使いかた

エンジンスイッチが“II”のときメインスイッチを押すとシステムが“ON”になり、同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと“OFF”になり、表示灯は消灯します。



🎓 知識

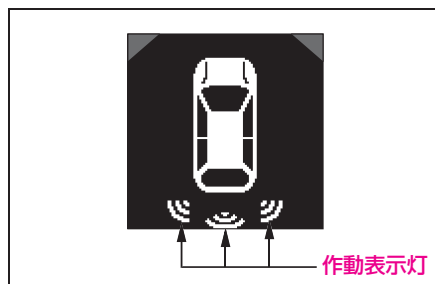
- 障害物によっては、正確に感知しないことがあります。必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。

システムを“ON”にすると、作動確認のため一度ブザーが鳴ります。

システムが“ON”のとき、次の条件を満たしているとコーナーセンサーおよびバックソナーが作動します。

- チェンジレバーがRに入っている。
- パーキングブレーキが解除されている。
- 車速が8 km/h以下である。

作動中に障害物を感知すると、次の画面がマルチインフォメーションディスプレイに表示され作動表示灯が点灯し、同時にブザーが鳴ります。





●作動表示灯とブザーの作動のしかた

障害物を感知すると次のように作動表示灯が点灯し、同時にブザーが鳴ります。

コーナーセンサー

(例)車の左側後方に障害物がある場合

車両と障害物 との位置関係		約60～45 cm		約45～35 cm		約35 cm以内
作動表示灯	 左下の 表示灯 が点灯					
ブザーの間隔	長		短		連続音	

バックソナー

車両と障害物 との位置関係				
作動表示灯	 点灯			
ブザーの間隔	長	中	短	連続音

知 識

- システムに異常を感知すると、作動表示灯が点灯し、同時にブザーが鳴ります。表示灯やブザーが消えないときは、**Honda**販売店で点検を受けてください。（システムが正常になれば自動的に消えます。）





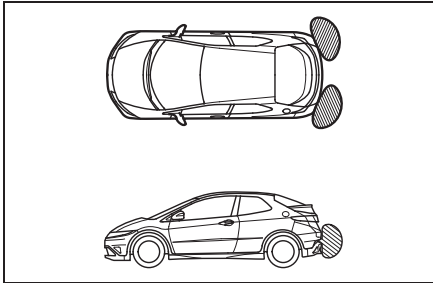
●障害物を感知できる範囲

感知できる範囲は下図の範囲に限られています。

必ず、安全を確認しながら、ゆっくりと車を動かしてください。

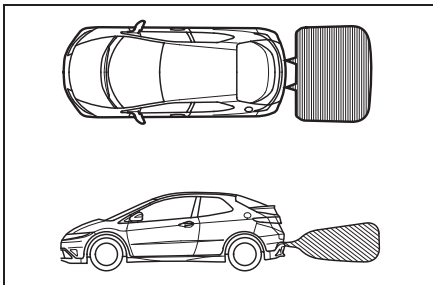
コーナセンサー

各センサーから約60 cm以内



バックソナー

車両後方約1.1 m以内



知 識

- 感知範囲にはアクセサリなどを取り付けないでください。
- 次の場合、装置が正常に作動しないことがあります。
 - ・センサーに氷、雪、泥などが付着したとき
 - ・炎天下や寒冷時に長時間駐車したとき
 - ・でこぼこ道、砂利道、坂道、草むらなどを走行しているとき
 - ・他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音などの超音波を発生するものが近づいたとき
 - ・どしゃぶりの雨や水がかかったとき
 - ・無線用アンテナを車につけたとき
- 次のようなものには感知しないことがあります。
 - ・針金、ロープなど細いもの
 - ・綿、スポンジ、雪など音波を吸収しやすいもの
 - ・背の低い物体
- バンパーの真下付近は感知しません。このため、背の低い物体や細い杭などは一度表示しても接近すると突然表示しなくなります。

リミテッドスリップデフ(LSD)

LSDのしくみ

LSDは駆動力を左右輪に最適配分し、有効に伝達するための装置です。

このLSDは、ヘリカルギヤを使ったトルク感応型となっています。

トルク感応型のLSDの特性として、旋回時に振動を感じることがあります。

取り扱いについて



アドバイス

- 前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとLSDに悪影響をあたえます。

3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

しくみ…………… 156

作動するとき…………… 158

作動しないとき…………… 159

SRSエアバッグシステムの

効果を十分に発揮させる

ために…………… 160

お子さまを乗せるときは…………… 161

取り扱いについて…………… 162

●シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーの

しくみ…………… 164

取り扱いについて…………… 165

●アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ…………… 166

運転のしかた…………… 166

取り扱いについて…………… 167

●ビークルスタビリティ アシスト(VSA)

VSAのしくみ…………… 168

運転のしかた…………… 169

取り扱いについて…………… 170

●ブレーキアシスト

ブレーキアシストのしくみ…………… 172

取り扱いについて…………… 172

●その他の安全装備…………… 173

SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

**SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。**

⚠ 警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠ 注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知識

- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界を妨げません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
Honda販売店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



作動後



助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



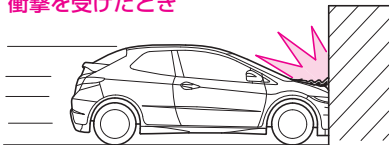
作動後



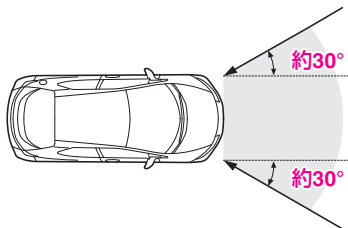
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30 km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

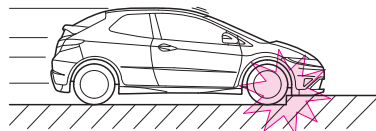


知識

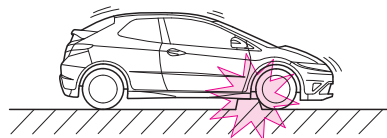
- 衝撃を吸収できる物(車やガードレールのように変形する物)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

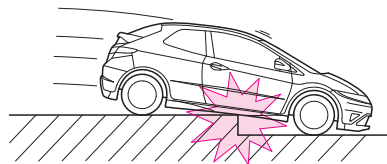
縁石などに衝突したとき



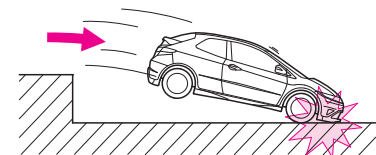
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



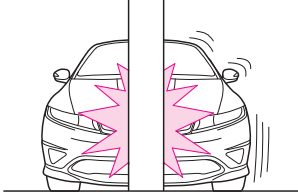
高いところから落ちたとき



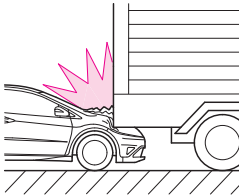


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

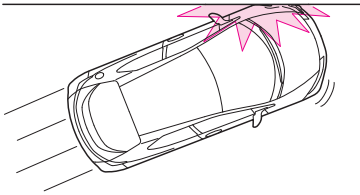
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



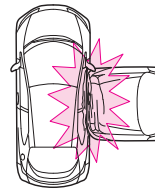
知識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

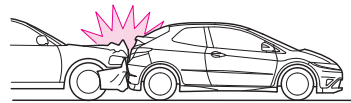
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

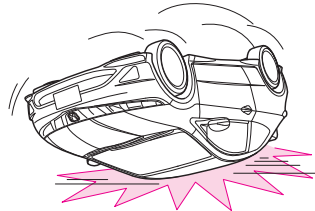
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

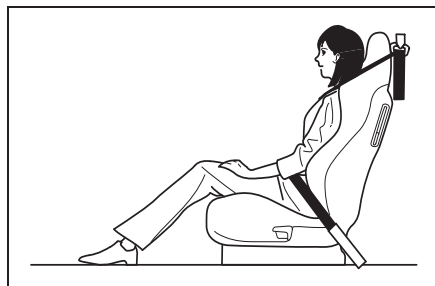


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



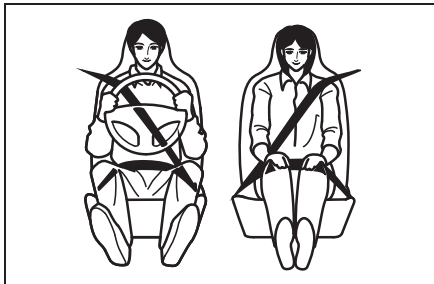
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。
必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

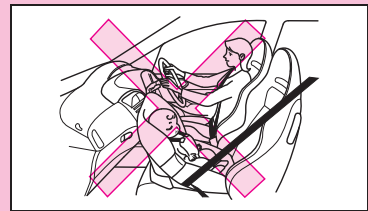
お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

●チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 警告

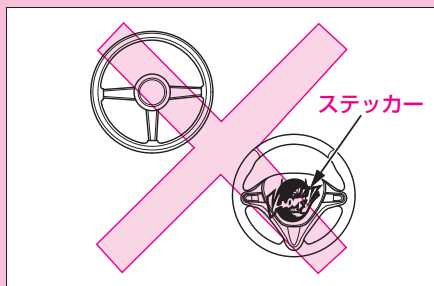
- 助手席には後ろ向きチャイルドシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。また、やむをえず前向きにチャイルドシートを取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



取り扱いについて

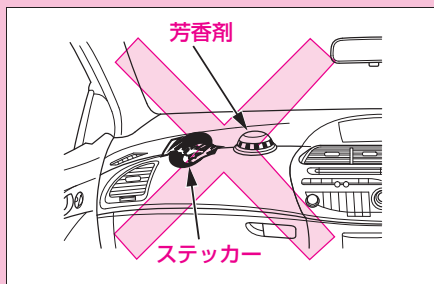
⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。





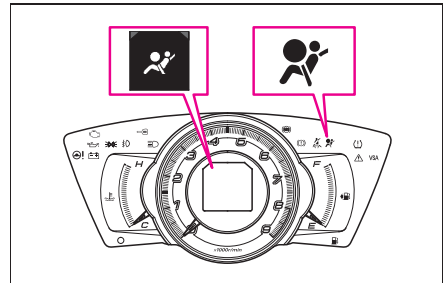
知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき。
- 必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

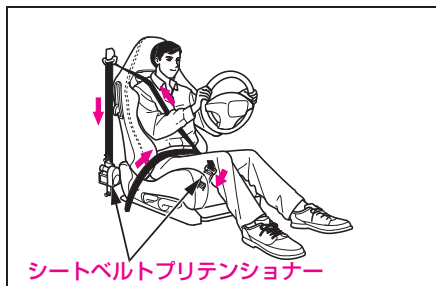
シートベルトプリテンショナーのしくみ

●シートベルト プリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠注意

●シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。

- シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト →64ページ

- 正しい運転(乗車)姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 →54ページ

🎓知識

- シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。衝突したときは、Honda販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

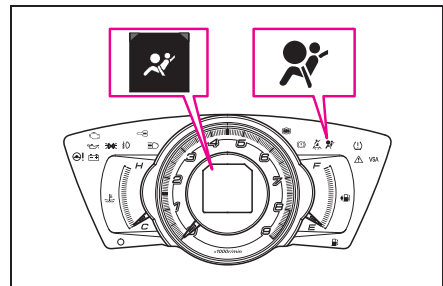
🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

●SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステム警告灯とシートベルトプリテンショナー警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき。
 必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- 低速(車速約10 km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

🏠 知識

- エンジン始動後、最初の発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

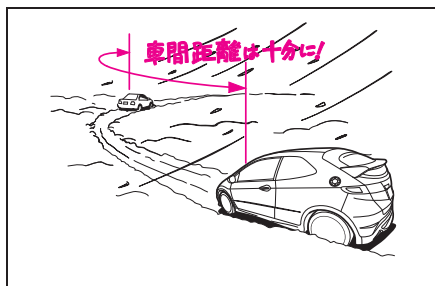
運転のしかた

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。

このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





取り扱いについて



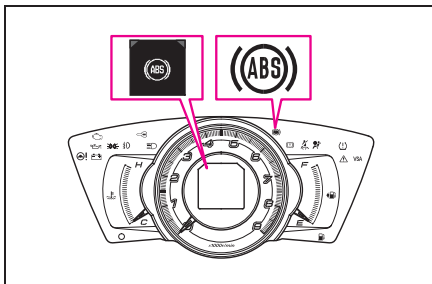
知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。



アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

- ・運転中に点灯したとき。
- ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき。

なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ビークルスタビリティアシスト(VSA) (車両挙動安定化制御システム)

VSAのしくみ

●VSAとは

ABS機能、TCS機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

ABS(アンチロックブレーキシステム)機能

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする機能です。

TCS(トラクションコントロールシステム)機能

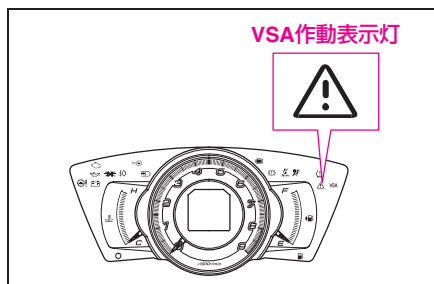
滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする機能です。

横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

●作動について

TCS機能と横滑り抑制機能は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。TCS機能または横滑り抑制機能が作動中は、メーター内のVSA作動表示灯が点滅します。



VSA作動表示灯は、エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。



運転のしかた

 アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - 運転中にVSA警告灯と同時に点灯したとき。
 - エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき。
- なお、この場合でも通常走行には支障はありません。

 知識

- 発進時等にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。
- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- カーブの手前では十分に速度を落とししてください。
- 雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。



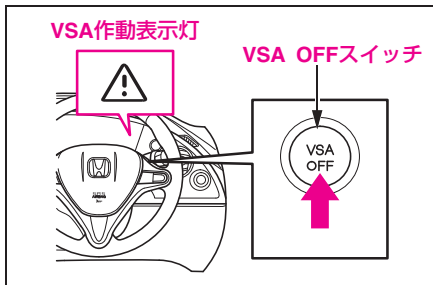
取り扱いについて

VSAを作動させたくないとき

新雪やぬかるみから脱出したいときにVSA OFFスイッチでVSAを“OFF”にすると、エンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が回転しやすくなるので効果的な場合があります。

この際、TCS機能と横滑り抑制機能が“OFF”になるため、走行には十分気をつけてください。

VSAが“OFF”のときは、メーター内のVSA作動表示灯が点灯します。



VSAを使用しないときは、OFFスイッチをブザー(ピッ)が鳴るまで押します。

VSAを使用するときは、再度OFFスイッチをブザー(ピッ)が鳴るまで押します。

知 識

- TCS機能または横滑り抑制機能が作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。

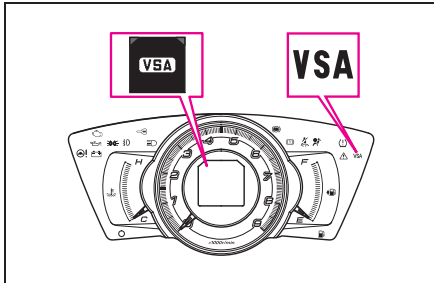
アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなることがあります。



●ビークルスタビリティアシスト (VSA) 警告灯

メーター内に組み込まれており、VSAが異常のときに点灯します。マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき。
- なお、この場合でも通常走行には支障はありません。

🎓 知識

- けん引されたときやけん引したときは、警告灯が点灯することがあります。この場合はエンジンを再始動させて警告灯が消灯すればVSAは正常です。
- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。
- ブレーキアシストの装置に異常があると、VSA警告灯が点灯します。
ブレーキアシスト →172ページ

ブレーキアシスト

ブレーキアシスト のしくみ

●ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きい制動力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。
- ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり作動音が聞こえることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。
そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

VSAについて →168ページ

取り扱いについて

知 識

- VSA警告灯が点灯しているときは、ブレーキアシストは作動しません。
なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。



その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。

(→66ページ)

●シートベルトリマインダー (非着用警報装置)

シートベルトの未着用をランプとブザーで知らせ、ベルトの着用を促します。

(→124ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。



4

ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節	177
エアコンインデックス	179
オートエアコン	180
エアクリーンフィルター	189

●オーディオ

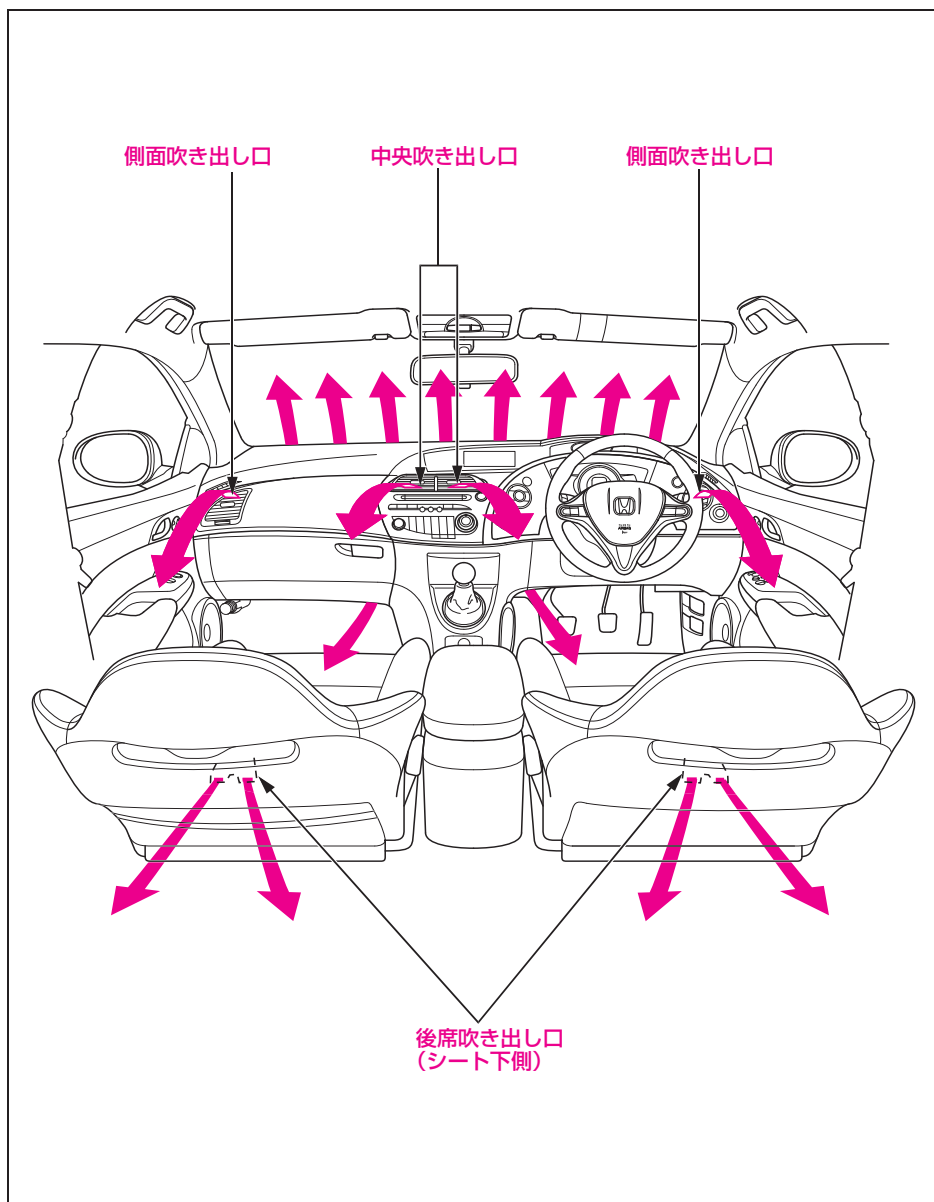
上手な使いかた	192
アンテナ	195
オーディオインデックス	196
AM/FMラジオ一体式	
CDステレオ	197
オーディオリモート	
コントロールスイッチ	227

●室内装備品

前席室内灯	228
後席室内灯	229
マップランプ	230
フットランプ	230
エンジンスイッチ照明灯	231
カーゴスペース照明灯	232

シガレットライター	232
灰皿	233
サンバイザー	234
チケットホルダー	235
リヤシェルフ	235
小物入れ	236
クールボックス	238
カップホルダー	239
カーゴフック	240
グラブレール	240
コートフック	241
アクセサリースOCKET	241
USB接続端子	242

エアコン

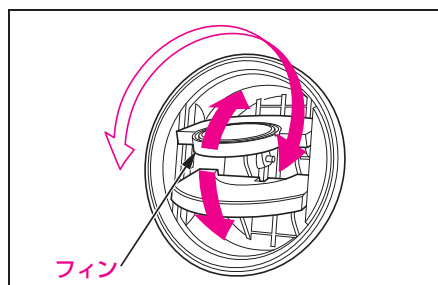




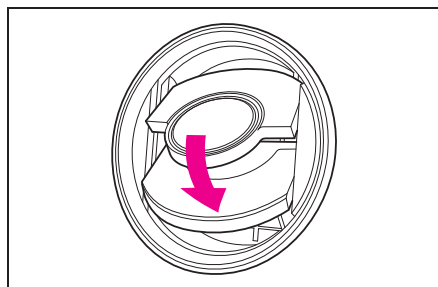
吹き出し風の調節

フィンを上下に動かしたり左右に回したりして、吹き出し風の向きを調節します。

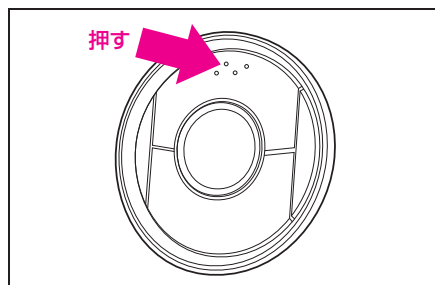
・側面吹き出し口(運転席側)



吹き出し口を開めるときは、フィンを閉じます。

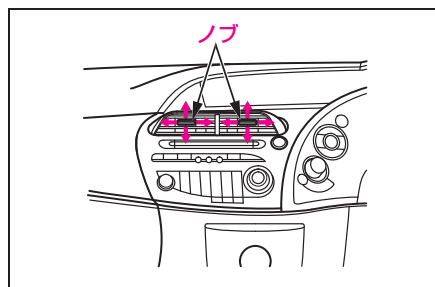


吹き出し口を開けるときは、フィンを押します。



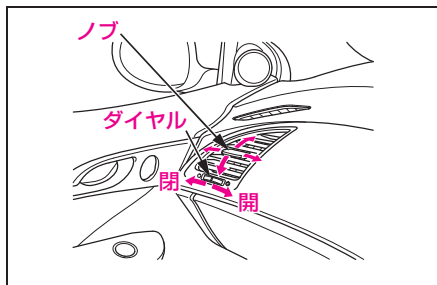
ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

・中央吹き出し口



・側面吹き出し口(助手席側)

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。



◎……………吹き出し口が開きます。

○……………吹き出し口が閉じます。

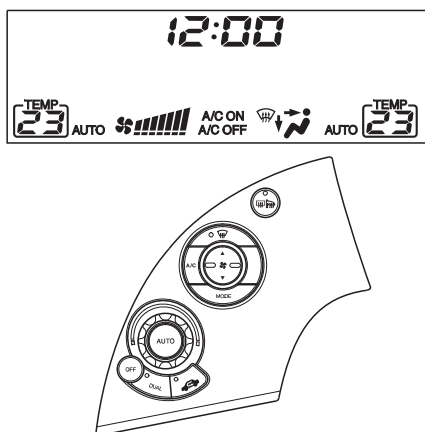
 知 識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。



エアコンインデックス

オートエアコン



- オートエアコンを使うとき 180
- マニュアルで使うとき 182
- MODEスイッチ 183
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) 184
- 設定温度を運転席側と助手席側で
別々に調節するとき 186
- エアコンを常用しないとき 188
- 温度感知装置 188

オートエアコン

●オートエアコンを使うとき

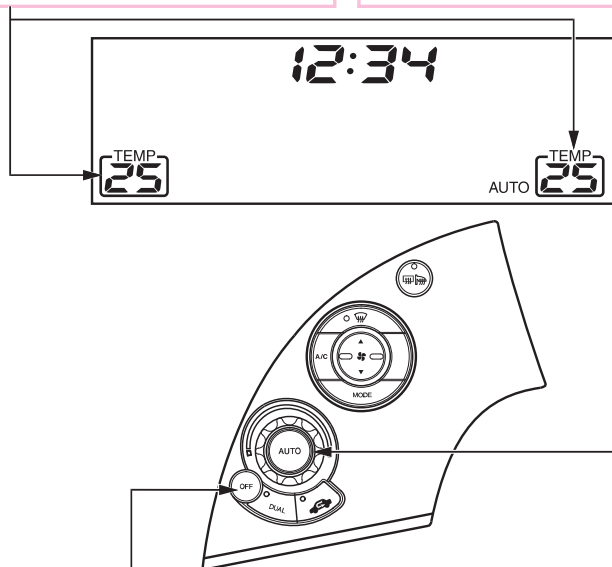
エンジンをかけた状態で使います。

温度表示

運転席側および助手席側の設定温度を表示します。
表示温度は室温設定時の目安となります。

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。（“AUTO”が点灯）
風量、吹き出し口の切り換えなどが自動制御されます。



OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を調節します。



通常の使いかた

- ①AUTOスイッチを押します。
- ②温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。

停止するときはOFFスイッチを押します。



知 識

- 設定温度表示で“Lo”は最大冷房を“Hi”は最大暖房を示します。
- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 連動モードのときに助手席側温度調節スイッチを押すか、DUALスイッチを押すと独立作動モード(表示灯点灯)になり、設定温度を運転席側と助手席側で別々に調節することができます。

別々に調節するとき →186ページ

- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出ししながら、冷房を開始してください。

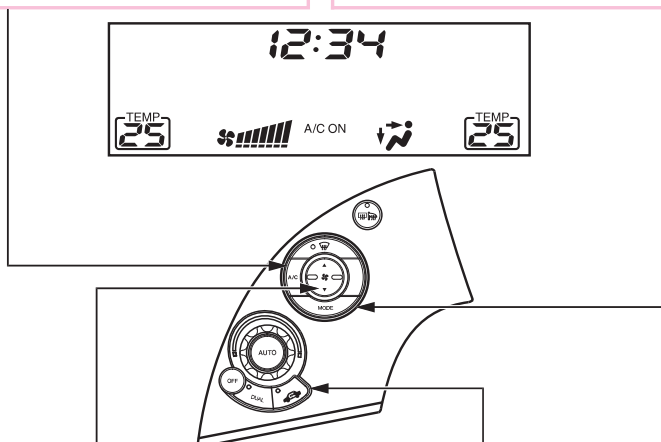
●マニュアルで使うとき

エアコンスイッチ

スイッチを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”が切り換わります。表示部に、“A/C ON”“A/C OFF”が表示されます。冷房や除湿暖房をするときは“ON”にします。

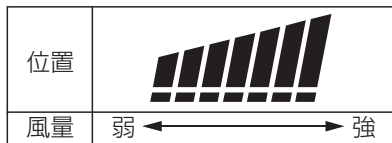
MODEスイッチ

スイッチを押すたびに吹き出し口が切り換わり(右ページ参照)ます。表示部に、モードが表示されます。



ファンスピード切り換えスイッチ

スイッチを押して、ファンスピードを切り換えます。



内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

各スイッチ、ダイヤルを組み合わせることで使うことができます。

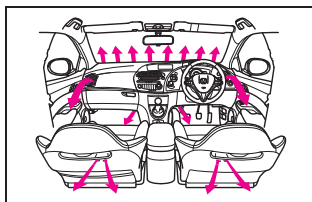
“AUTO”(自動)で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。このとき“AUTO”の表示は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。

“AUTO”(自動)に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

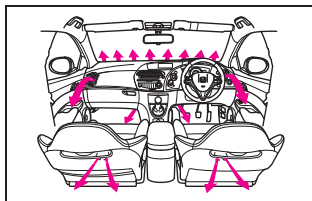


●MODEスイッチ

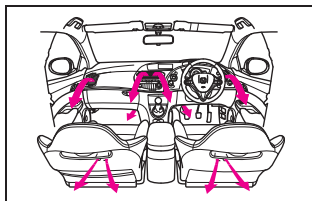
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



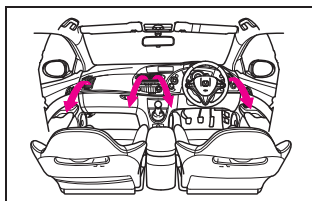
足元に送風したいとき



上半身、足元に送風したいとき



上半身に送風したいとき

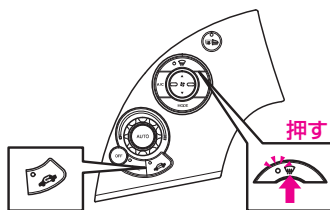
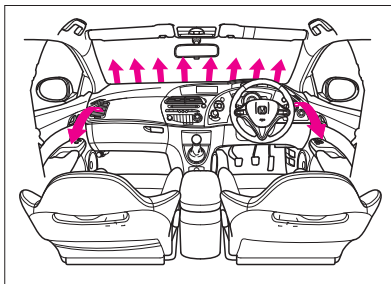


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

デフロスタースイッチを押します。

デフロスタースイッチ

ガラスの曇り取りなどに使用します。
スイッチを押すと自動的にエアコン
が作動し、外気導入に切り換わりま
す。また、吹き出し口が前面および
側面ガラスに切り換わります。



外気導入
(表示灯消灯)

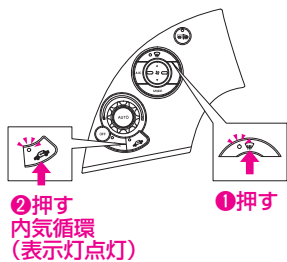
デフロスタースイッチ
(表示灯点灯)

知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界の妨げになります。
- デフロスター作動中はDUALスイッチまたは助手席側温度調節スイッチを押しても独立作動モードにはなりません。



急速に霜を取りたいとき



知 識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

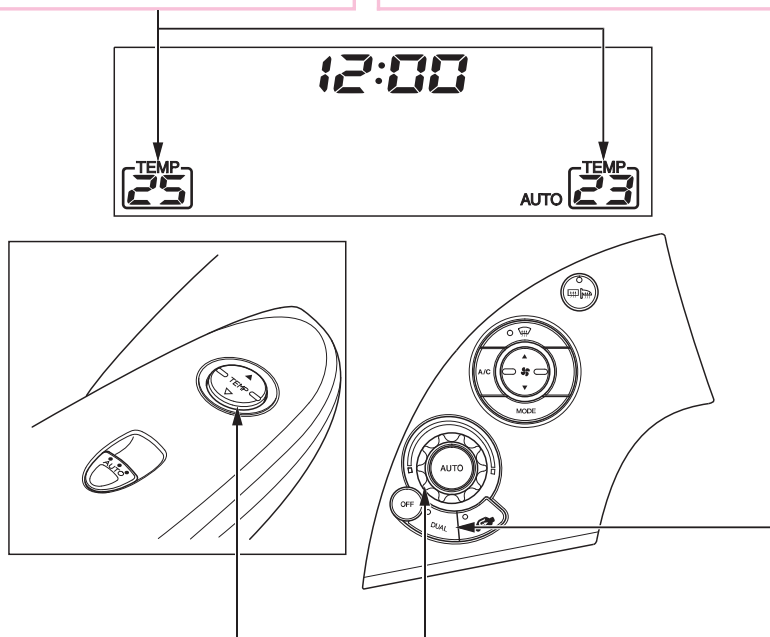
●設定温度を運転席側と助手席側で別々に調節するとき

設定温度表示

運転席側および助手席側の設定温度を表示します。表示温度は室温設定時の目安となります。

DUALスイッチ

スイッチを押すと独立作動モードになります。(表示灯点灯)
運転席側と助手席側の設定温度を別々に調節できます。



温度調節スイッチ(助手席側)

両側が連動で作動しているときにスイッチを押すと、独立作動モードに切り換わり、助手席側の温度が調節されます。

温度調節ダイヤル(運転席側)

独立作動モード時に、ダイヤルを回して運転席側の温度を調節します。



使いかた

- ① DUALスイッチまたは、助手席側の温度調節スイッチを操作して、独立作動モードに切り換えます。(DUALスイッチの表示灯点灯)
- ② 運転席側は温度調節ダイヤルで、助手席側はドアにある温度調節スイッチで温度を調節します。

連動モードに戻すときは、DUALスイッチをもう一度押します。(DUALスイッチの表示灯消灯)



知 識

- デフロスターを作動させると、連動モードに切り換わります。(DUALスイッチの表示灯が消灯します。)
- 助手席側の設定温度が運転席側と異なる状態で連動モードに戻すと、運転席側の設定温度に切り換わります。

●エアコンを常用しないとき

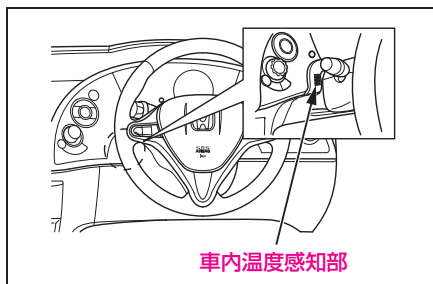
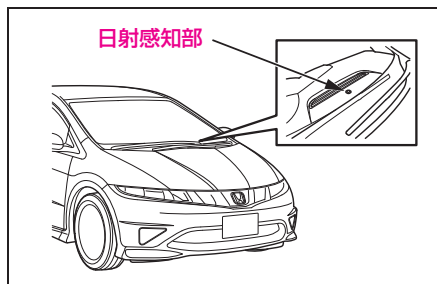
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。





エアークリーンフィルター

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じん等を集じんし、ディーゼル排ガス臭・タバコ臭などに脱臭効果のあるエアークリーンフィルターが取り付けられています。エアークリーンフィルターの交換は、通常1年または15,000 kmごとに行ってください。ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

また、芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなったり、脱臭寿命が短くなることがあります。

- エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

交換のしかた →190ページ

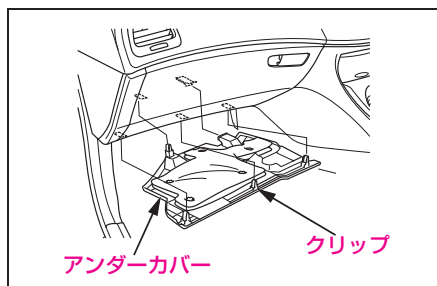


知識

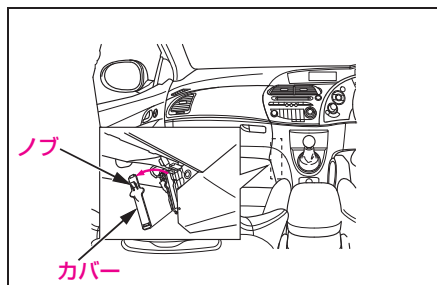
- グローブボックスの内側に交換時期が記載してあります。

●交換のしかた

- ①助手席ドアを開け、接続されているケーブルに気をつけながらクリップを外してグローブボックスのアンダーカバーを外します。

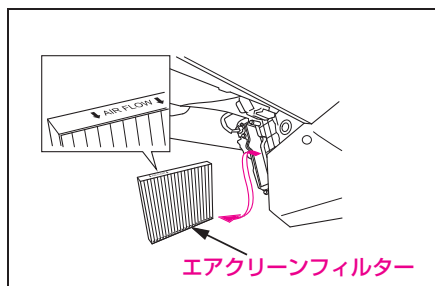


- ②ノブを引いてカバーを外します。



- ③エアクリーンフィルターを引き出し、新品と交換します。

交換するときはフィルターの“**AIR FLOW**”マークの矢印が図のように車両の後方向(室内側)の向きになるように取り付けてください。



📖 知 識

- エアクリーンフィルターを交換するときは、取り付け方向に注意してください。フィルターの取り付け方向を間違えると、フィルターの効果を十分に発揮しません。



オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●CDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。



ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

・オーディオトラック



知 識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

●USBデバイス／iPodについて

再生に対応しているのは次の機器です。

機器名
USBフラッシュメモリー（容量が256 MB～2TB、FATフォーマット）
iPod with video（第5世代）
iPod classic（80GB、160GB）
iPod classic（120GB）
iPod touch（第1世代）
iPod touch（第2世代）
iPod nano（第1世代）
iPod nano（第2世代）
iPod nano（第3世代）
iPod nano（第4世代）

* 「iPod」は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



知 識

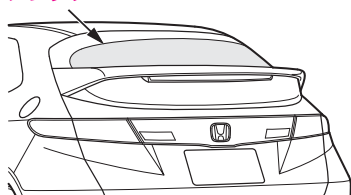
- USBデバイスやiPodを車内に放置しないでください。
- 最新のソフトウェアにしたiPodを使用してください。古いバージョンでは再生できないことがあります。
- CD/DVD/FDドライブ、USBハブには対応していません。
- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- データ破損のおそれがあるため、ファイルのバックアップをおすすめします。
- iPodはエンジンスイッチが“I”または“II”のときに、USB接続ケーブルに接続することで充電が可能です。その場合、充電時間が通常より長くなる場合があります。



アンテナ

リヤガラス内側にアンテナ線があります。

アンテナ

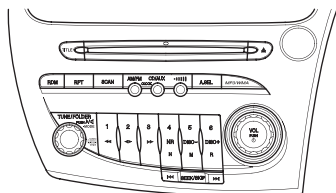
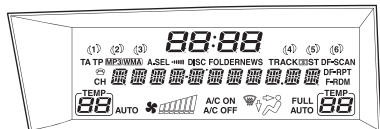


知 識

- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

オーディオインデックス

AM/FMラジオ一体式CDステレオ

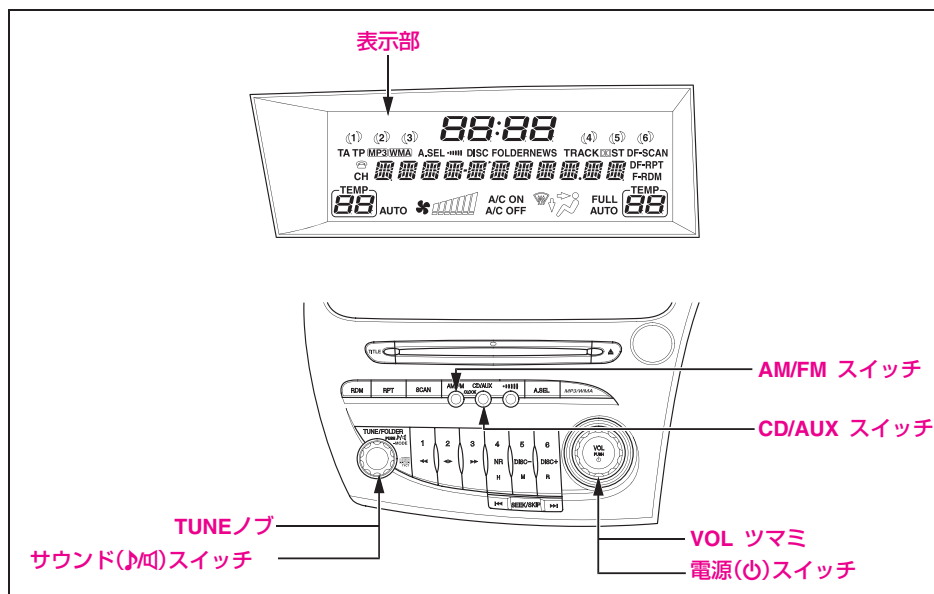


- 電源の入れかた 197
- 音量調節のしかた 197
- 音質、バランス調節、
車速連動音量調節のしかた 198
- モードの切り換え 199
- ラジオの使いかた 200
- CDプレーヤーの使いかた 204
- USBデバイスの使いかた 213
- iPodの使いかた 218
- AUX(オーディオ外部入力)端子の
使いかた 222
- エラーコードについて 223
- 時計 225



AM/FMラジオ一体式CDステレオ

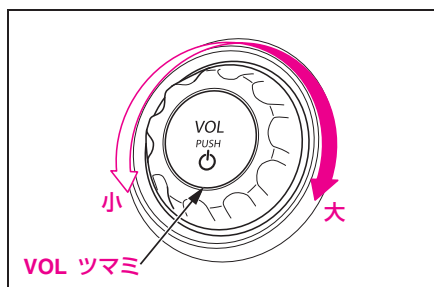
エンジンスイッチが“I”または“II”のときに使えます。



●電源の入れかた

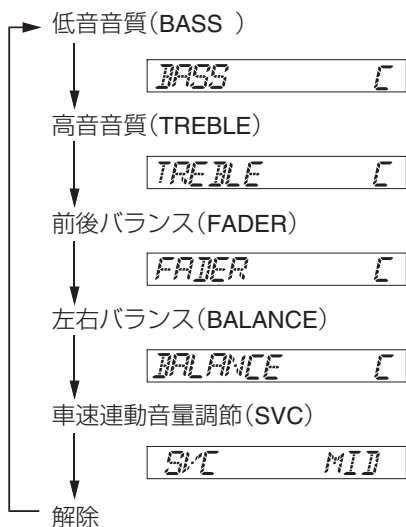
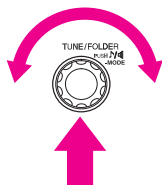
電源(⏻)スイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON” ↔ “OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、CD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

●音量調節のしかた



●音質、バランス調節、 車速連動音量調節のしかた

サウンド(♪/🔊)スイッチを押して切り換え、TUNEツマミを回して調節します。



サウンド(♪/🔊)スイッチを押すたびに切り換わります。

🎓 知識

- 調節後約10秒すぎると自動的に解除されます。
- 音質調節位置が中央のときに表示部に“C”(センター)を表示します。

🎓 知識

- 車速連動音量調節(SVC)は、車の速度に応じて音量を自動的に調節する機能です。車の速度が上がると、自動的に音量が上がります。
 - ・工場出荷時は“MID”に設定されています。
 - ・車速に応じた音量変化を大きくするときは、“HIGH”にします。
 - ・車速に応じた音量変化を小さくするときは、“LOW”にします。
 - ・機能を解除するときには、“OFF”にします。



●モードの切り換え

・AM/FMスイッチ

AM/FM



ラジオに切り換わります。

・CD/AUXスイッチ

CD/AUX



ディスクが入っているときに押すと、CD/MP3/WMA演奏に切り換わります。また、オーディオトラックとMP3/WMAトラック(ファイル)の両方を記録したディスクを演奏しているときに押し続ける(約2秒)とオーディオトラックとMP3/WMAトラックが切り換わります。

AUX端子に市販のポータブルオーディオなどを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

AUX(オーディオ外部入力)端子の
使いかた →222ページ

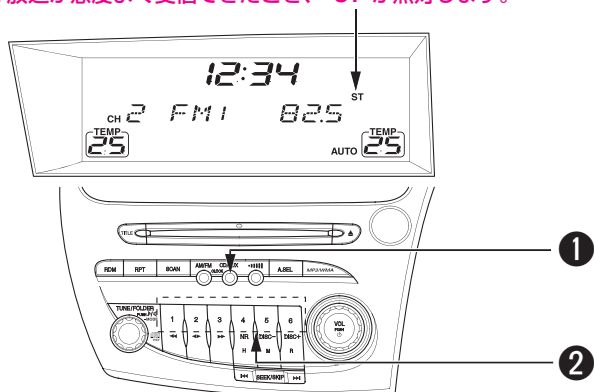
USBデバイスやiPodを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

USBデバイスの使いかた →213ページ
iPodの使いかた →218ページ

●ラジオの使いかた

ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたとき、“ST”が点灯します。



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、FM1/FM2/AMを選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

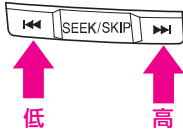
あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、AM6局まで記憶できます。

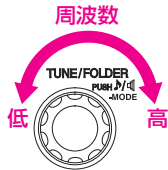


ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①AM/FMスイッチでFM1/FM2/AMを選びます。
- ②SEEK/SKIPスイッチ、TUNEツマミで選局します。



- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。
- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しずつ変わります。



知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手で選局してください。

- ③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

SCANスイッチを押します。("SCAN" が点灯)

SCAN

電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約10秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELスイッチを押します。("A.SEL" が点滅)

A.SEL

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにFM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、AM6局まで自動的に記憶され"A.SEL" が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知 識

- 放送局が12局または6局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が"0"と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



交通情報をきくとき

●●●● スイッチを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。（“●●●●”が点灯）



周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)



…TUNEツマミまたはSEEK/SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

●●●● スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。



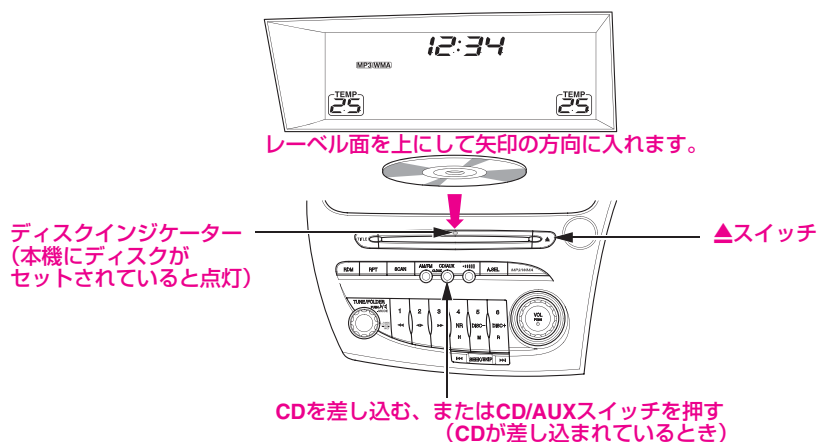
知 識

- スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。
- スイッチを使って交通情報を聞いているときは、ワンタッチ選局スイッチによる選局はできません。

●CDプレーヤーの使いかた

オーディオトラック、MP3/WMAトラック(ファイル)演奏のききかた

音楽CDやCD-R、CD-RWに記録したオーディオトラック、MP3/WMAトラック(ファイル)を再生できます。



🎓 知 識

- このCDプレーヤーは12cm CD専用です。8cm CDは使わないでください。(CDアダプターを付けても使わないでください。)故障の原因になることがあります。
- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約10秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。
- MP3/WMA (ISO*9660のLevel 1、Level 2、Joliet、Romeoで録音されたディスクで、ファイル名の最後に拡張子“mp3”、“wma”が付いているもの)に対応しています。
- オーディオトラックとMP3/WMAトラック(ファイル)の両方を記録したディスクは、オーディオトラック、MP3/WMAトラックの順に再生します。また、CD/AUXスイッチを押して再生するトラックを切り換えることができます。(オーディオトラック⇄MP3/WMAトラック)
- CD-RおよびCD-RWは録音に使用したレコーダーやディスクの状態によって再生できない場合があります。
- セッションの追加が可能なディスクも再生できます。

※：ISO(国際標準化機構)



CDを取り出すとき

▲スイッチを押して、CDを取り出します。



エンジンスイッチを“0”にした場合でも、▲スイッチを押せばディスクを取り出すことができます。

オーディオトラック再生時

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押します。



- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを押します。("SCAN" が点灯し、トラックナンバーが点滅します。)
各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

SCAN

ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。



知 識

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。("RPT" が点灯)

RPT

リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。



ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。 (“RDM” が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

演奏中の曲の情報を表示するとき

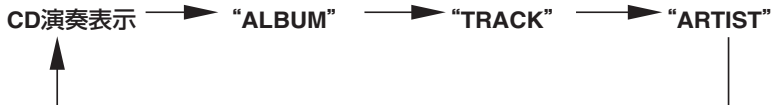


TITLEスイッチを押します。

“ALBUM”、“TRACK”、“ARTIST” 名称が表示されます。

表示する項目を切り換えるとき

TITLEスイッチを押すたびに表示する項目が切り換わります。



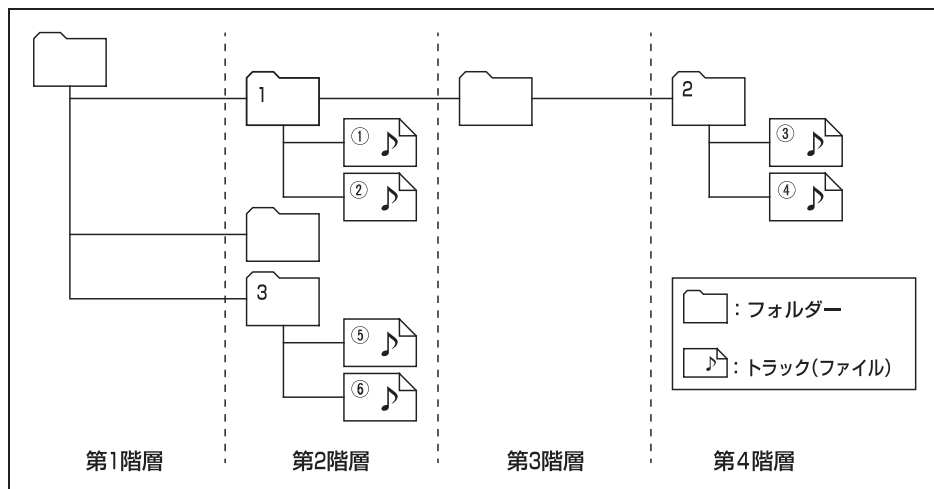
知 識

- CD-TEXTのデータが含まれるCDを再生時、“ALBUM”、“TRACK”、“ARTIST” 名称が表示できます。
- ディスクにトラックなどの名称がない場合は“NO INFO”を表示します。
- 入力されている名称が12文字以上のときは、TITLEスイッチを約1秒以上押すたびに10⇄11文字ずつ表示されます。(最大21文字まで)
- 入力されている名称が全角文字(英、数)、カタカナやひらがな、漢字の場合は“……”で表示されます。

MP3/WMAトラック(ファイル)再生時

MP3/WMAトラック(ファイル)の演奏順序について

フォルダーおよびMP3/WMAトラック(ファイル)の再生順序は図の通りです。



ディスク内のMP3/WMAファイル(トラック)が入っているフォルダーにフォルダー番号を付けます。

図のように、MP3/WMAファイル(トラック)を含まないフォルダーには、フォルダー番号を付けません。

知識

- 同一階層内のフォルダーやトラック(ファイル)はライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。
- 最大8階層、合計255トラック(ファイル)まで再生できます。
- ディスク内に100以上のフォルダーがある場合、トラック(ファイル)の再生はできませんが、表示部にはフォルダー番号の3桁目は表示されません。
- ディスクの構成によっては読み込み時間が長くなることがあります。
- 著作権が保護されたWMAトラック(ファイル)は再生することができません。



早送り／早戻しをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押し続けます。



早戻し

早送り

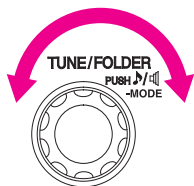
演奏している曲を換えるとき(トラック／フォルダーの切り換え)

SEEK/SKIPスイッチ、FOLDERツマミを操作して切り換えます。



トラック(ファイル)を選ぶ

SEEK/SKIPスイッチを押すとトラック(ファイル)が切り換わります。



フォルダーを選ぶ

FOLDERツマミを回すとフォルダーが切り換わります。

ききたい曲を探すとき(トラックスキャン、フォルダースキャン)

SCANスイッチを押すたびに、演奏の機能が切り換わります。

SCAN

- 短く押すとトラックスキャンになります。 (“SCAN” が点灯し、トラックナンバーが点滅します) 演奏中のフォルダーの、各トラック(ファイル)の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
- もう一度短く押すとフォルダースキャンになります。 (“F-SCAN” が点灯し、フォルダーナンバーが点滅します) 各フォルダーの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲、またはフォルダーのところでスイッチをもう一度長く (“ピッ” という電子音がするまで) 押すか、“SCAN” か “F-SCAN” が消灯するまで短く押すと、トラックスキャンまたはフォルダースキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- すべての曲またはフォルダーをスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲またはフォルダーから通常の演奏になります。



演奏中の曲を繰り返しきくとき(トラックリピート、フォルダーリピート)

RPTスイッチを押すたびに演奏の機能が切り換わります。

RPT

- 短く押すとトラックリピートモードになります。 (“RPT” が点灯)
演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- もう一度短く押すとフォルダーリピートモードになります。 (“F-RPT” が点灯)
演奏中のフォルダー内のトラック(ファイル)を繰り返し演奏します。

機能を解除するには、スイッチをもう一度長く (“ピッ” という電子音がするまで) 押すか、“RPT” か “F-RPT” が消灯するまで短く押します。

曲順をランダムに演奏するとき(トラックランダム、フォルダーランダム)

RDMスイッチを押すたびに演奏の機能が切り換わります。

RDM

- 短く押すと演奏中のフォルダー内のトラック(ファイル)をランダムに演奏します。 (“F-RDM” が点灯)
- もう一度短く押すとディスク内のすべてのトラック(ファイル)をランダムに演奏します。 (“RDM” が点灯)

機能を解除するには、スイッチをもう一度長く (“ピッ” という電子音がするまで) 押すか、“F-RDM” か “RDM” が消灯するまで短く押します。

演奏中の曲の情報を表示するとき

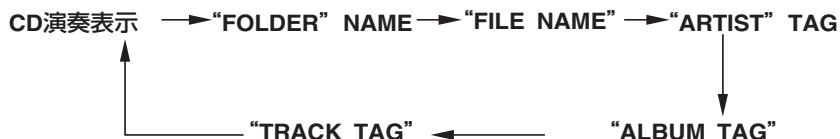


TITLEスイッチを押します。

フォルダーまたはトラック(ファイル)の名称、ID3/WMA TAG(曲の情報)が表示されます。

表示する項目を切り換えるとき

TITLEスイッチを押すたびに表示する項目が切り換わります。

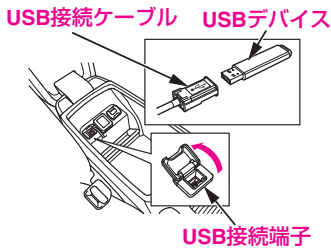


知 識

- ディスクにフォルダーまたはトラック名称が入力されていない場合は“NO INFO”を表示します。
- ディスクにID3/WMA TAG(曲の情報)が入力されていない場合は“NO INFO”を表示します。
- 入力されている名称が12文字以上のときは、TITLEスイッチを約1秒以上押すたびに10⇄11文字ずつ表示されます。(最大21文字まで)
- ファイル名、フォルダー名は最大21文字まで表示されます。
- ID3 TAG(曲の情報)のVer 1.x、2.xに対応しており、最大21文字まで表示できます。
- WMA TAG(曲の情報)は、最大21文字まで表示できます。
- 入力されている名称が全角文字(英、数)、カタカナやひらがな、漢字の場合は“……”で表示されます。



●USBデバイスの使いかた 接続のしかた

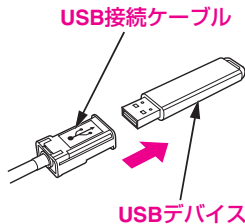


付属のUSB接続ケーブルをコンソールボックス内のUSB接続端子に接続し、USBデバイスを接続します。

USB接続端子 →242ページ

モードの切り換え CD/AUXスイッチを押します。

USBデバイスを外すとき



USBデバイスを取り外します。

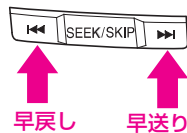


知識

- USBデバイスの取り外しはいつでもできます。詳細はご使用されるUSBデバイス 付属の取扱説明書をご覧ください。
- オーディオ側で操作ができなくなるなど動作が不安定になったときは、一度USB デバイスを取り外してから再度接続してください。

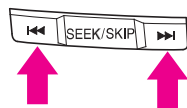
早送り／早戻しをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押し続けます。



演奏している曲を換えるとき(ファイル／フォルダーの切り換え)

SEEK/SKIPスイッチ、FOLDERツマミを操作して切り換えます。

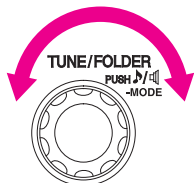


ファイルを選ぶ

SEEK/SKIPスイッチを押すとファイルが切り換わります。

フォルダーを選ぶ

FOLDERツマミを回すとフォルダーが切り換わります。





ききたい曲を探すとき(ファイルスキャン、フォルダースキャン)

SCANスイッチを押すたびに、演奏の機能が切り換わります。

SCAN

- 短く押すとファイルスキャンになります。(“SCAN”が点灯し、ファイルナンバーが点滅します)
演奏中のフォルダーの、各ファイルの始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
- もう一度短く押すとフォルダースキャンになります。
 (“F-SCAN”が点灯し、フォルダーナンバーが点滅します)
 各フォルダーの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲、またはフォルダーのところでスイッチをもう一度長く(“ピッ”という電子音がするまで)押すか、“SCAN”か“F-SCAN”が消灯するまで短く押すと、ファイルスキャンまたはフォルダースキャン演奏の機能は解除されます。



知識

- すべての曲またはフォルダーをスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲またはフォルダーから通常の演奏になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(ファイルリピート、フォルダーリピート)

RPTスイッチを押すたびに演奏の機能が切り換わります。



- 短く押すとファイルリピートモードになります。 (“RPT” が点灯)
演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- もう一度短く押すとフォルダーリピートモードになります。
 (“F-RPT” が点灯)
演奏中のフォルダー内のファイルを繰り返し演奏します。

機能を解除するには、スイッチをもう一度長く (“ピッ” という電子音がするまで) 押すか、“RPT” か “F-RPT” が消灯するまで短く押します。

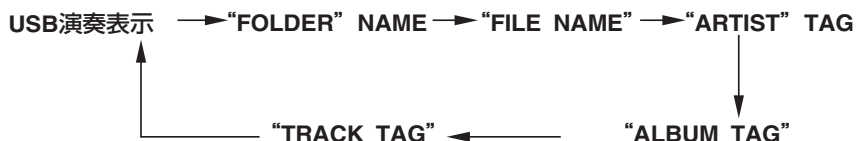
曲順をランダムに演奏するとき(ファイルランダム、フォルダーランダム)

RDMスイッチを押すたびに演奏の機能が切り換わります。



- 短く押すと演奏中のフォルダー内のファイルをランダムに演奏します。 (“F-RDM” が点灯)
- もう一度短く押すとUSBデバイス内のすべてのファイルをランダムに演奏します。 (“RDM” が点灯)

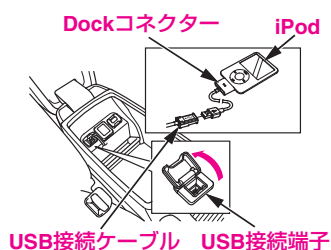
機能を解除するには、スイッチをもう一度長く (“ピッ” という電子音がするまで) 押すか、“F-RDM” か “RDM” が消灯するまで短く押します。



- USBデバイスにフォルダーまたはファイル名称が入力されていない場合は“NO INFO”を表示します。
- USBデバイスにTAG(曲の情報)が入力されていない場合は“NO INFO”を表示します。
- 入力されている名称が12文字以上のときは、TITLEスイッチを約1秒以上押すたびに10⇄11文字ずつ表示されます。(最大21文字まで)
- ファイル名、フォルダー名は最大21文字まで表示されます。
- 入力されている名称が全角文字(英、数)、カタカナやひらがな、漢字の場合は“.....”で表示されます。

●iPodの使いかた

接続のしかた



付属のUSB接続ケーブルをコンソールボックス内のUSB接続端子に接続します。

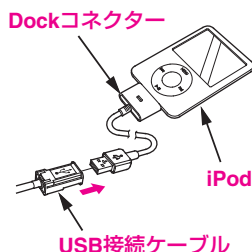
USB接続端子 →242ページ

iPodにDockコネクター(iPodに付属)を接続し、USBケーブルと接続します。

モードの切り換え

CD/AUXスイッチを押します。

iPodを外すとき



iPodまたはDockコネクターを取り外します。



知識

- iPodの取り外しはいつでもできます。詳細はご使用されるiPod付属の取扱説明書をご覧ください。
- オーディオ側で操作ができなくなるなど動作が不安定になったときは、一度iPodを取り外してから再度接続するか、iPodのリセットを行ってください。



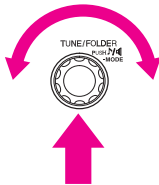
早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押します。



- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(iPodの選択モード)



- サウンドスイッチ(♪/🔊)を押すと、選択モードを変更できます。
- TUNEツマミを回して設定したい選択モードが表示されたら、通常画面に戻るまで待ちます。
- 通常画面に戻り選択モードが変更されたら、TUNEツマミを回して、再生したいリストを選びます。
- 再生したいリストで通常画面に戻るまで待つと、選んだリストが演奏されます。

知識

- iPodの選択モード“ALBUM”、“SONG”、“P-LIST”(PLAY LIST)、“ARTIST”からききたい曲を選ぶことができます。
- “ALBUMS”または“ARTISTS”で“ALL”を選ぶと、iPod内の再生可能な曲がすべて演奏されます。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(トラックリピート)

RPTスイッチを押します。("RPT"が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

曲順をランダムに演奏するとき(シャッフル、アルバムシャッフル)

RDMスイッチを押すたびに演奏の機能が切り換わります。



- 短く押すと再生しているリストをシャッフルで演奏します。("RDM"が点灯)
- もう一度短く押すとアルバムごとにシャッフルで演奏します。("F-RDM"が点灯)

機能を解除するには、スイッチをもう一度長く("ピッ"という電子音がするまで)押すか、"RDM"か"F-RDM"が消灯するまで短く押します。



演奏中の曲の情報を表示するとき

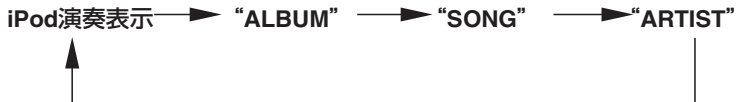


TITLEスイッチを押します。

“ALBUM”、“SONG”、“ARTIST” 名称が表示されます。

表示する項目を切り換えるとき

TITLEスイッチを押すたびに表示する項目が切り換わります。



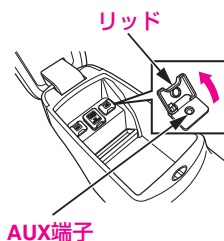
知 識

- 入力されている名称が12文字以上のときは、TITLEスイッチを約1秒以上押すたびに10⇔11文字ずつ表示されます。(最大21文字まで)
- 入力されている名称が全角文字(英、数)、カタカナやひらがな、漢字の場合は“……”で表示されます。

●AUX(オーディオ外部入力)端子の使いかた

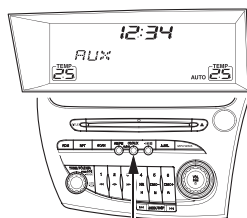
市販のポータブルオーディオなどを、AUX端子に接続してきくことができます。

接続のしかた



ポータブルオーディオなどのヘッドホン端子から、市販の接続コード(抵抗なし)を使ってAUX端子に接続します。AUX端子側はステレオミニプラグを使用してください。

オーディオモードの切り換え



CD/AUX スイッチ

オーディオの電源が“ON”のときに接続コードをAUX端子に差し込むと自動的にAUXに切り換わります。(“AUX”が表示)

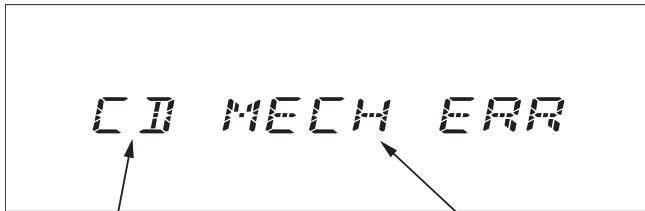
他のモードに切り換えるときは、AM/FMスイッチまたはCD/AUXスイッチを押します。他のモードからCD/AUXスイッチを押すとAUXに切り換わります。

モードの切り換え →199ページ



●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、下表にしたがって点検してください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

CDプレーヤー

エラーコード	原因
CD MECH ERR	ディスクの取り出しができない等、機械的な不具合
CD DISC ERR	ディスクの読み込みができない(露つき、傷、汚れ、ディスクが裏返し、対応していないファイル形式で記録されているなど)
CD FORMAT	WMA 著作権が保護されたトラック(ファイル)再生時

USBデバイス／iPod

エラーコード	原因
USB ERROR	USBシステムの不具合
BAD USB	USBデバイスのエラー
UNPLAYABLE	対応しないファイル再生時
NO SONG	音楽ファイルがない
UNSUPPORTED	USBデバイスのエラーまたは対応しないiPodの接続時
CHECK USB	USBシステムの不具合



●時計

時計は、エンジンスイッチが「I」または「II」のときに表示されます。

表示の合わせかた

①AM/FM(CLOCK)スイッチを時計表示が点滅するまで押します。

AM/FM



②「時」の調節… 4(H)スイッチを押すごとに「時」が1時間ずつ進みます。
「分」の調節… 5(M)スイッチを押すごとに「分」が1分ずつ進みます。



4(H)スイッチ

5(M)スイッチ

③時間を合わせたら、AM/FM(CLOCK)スイッチをもう一度押します。

時報合わせ

①AM/FM(CLOCK)スイッチを時計表示が点滅するまで押します。

②時報と同時に6(R)スイッチを押します。



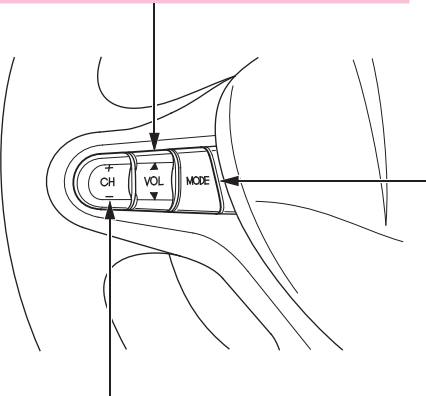
(例) 1 : 01 ~ 1 : 29の場合…1 : 00
1 : 30 ~ 1 : 59の場合…2 : 00



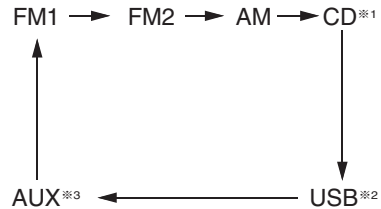
オーディオリモートコントロールスイッチ

音量調節スイッチ

- ▲を押す…音量が大きくなります。
- ▼を押す…音量が小さくなります。



MODEスイッチ



スイッチを押すたびに切り換わります。

CH(チャンネル)スイッチ

ラジオを聞いているとき

- ＋を押す…プリセットされている次の放送局を選局します。
- －を押す…プリセットされている前の放送局を選局します。

CD、USBデバイス、iPodを聞いているとき

- ＋を押す…スキップ(次の曲の頭出し)します。
- －を押す…リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)します。

※1：ディスクがセットされているときに切り換わります。

※2：USB接続端子に市販のUSBデバイスまたはiPodを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

※3：AUX端子に市販のポータブルオーディオなどを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

室内装備品

前席室内灯

“DOOR”

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

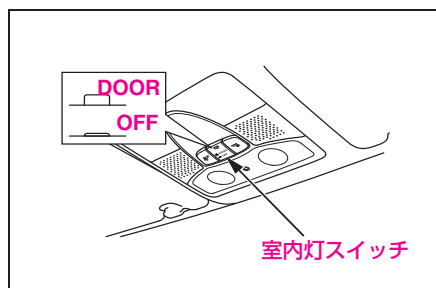
また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- 運転席ドアを解錠したとき。
(ウエルカムランプ機能)
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき。

消灯するときは、徐々に減光してから消えます。

“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



知 識

- 次の操作を行ったときは、室内灯はすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき。
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしたとき。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。
- “DOOR”の位置のときに、エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると約3分後に消灯します。



後席室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

（中間）

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

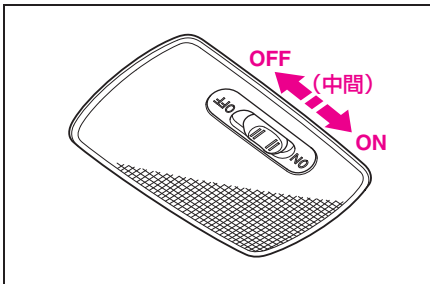
次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- 運転席ドアを解錠したとき。
（ウエルカムランプ機能）
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき。

消灯するときは、徐々に減光してから消えます。

“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



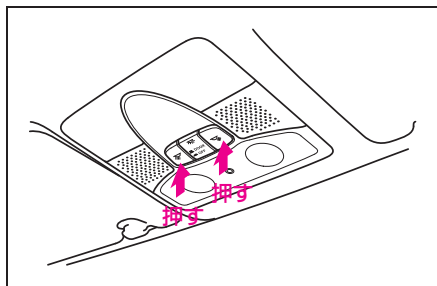
知 識

- 次の操作を行ったときは、室内灯はすぐに消灯します。
 - 運転席ドアを施錠したとき。
 - エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態でドアを閉めたとき。
 - エンジンスイッチを“II”にしたとき。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。
- “中間”の位置のときに、エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると約3分後に消灯します。

マップランプ

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

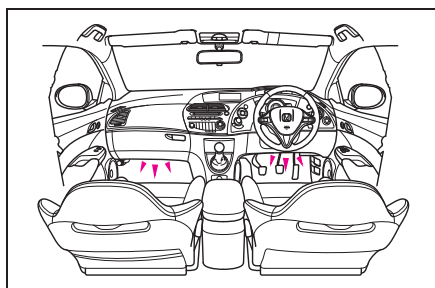
夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



フットランプ

ライトスイッチが“OFF”以外のときフットランプが点灯します。

ライトスイッチ →135ページ



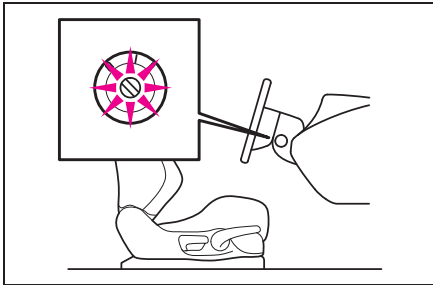


エンジンスイッチ照明灯

ドアを開けると点灯し、閉めると約30秒後に消灯します。

また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- 運転席ドアを施錠したとき。
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき。

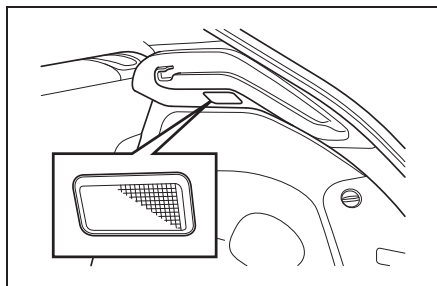


知 識

- 次の操作を行ったときは、エンジンスイッチ照明灯はすぐに消灯します。
 - 運転席ドアを施錠したとき。
 - エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき。
 - エンジンスイッチを“II”にしたとき。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠してもエンジンスイッチ照明灯は点灯しません。
- エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

カーゴスペース照明灯

テールゲートを開いたときのみ点灯します。



知識

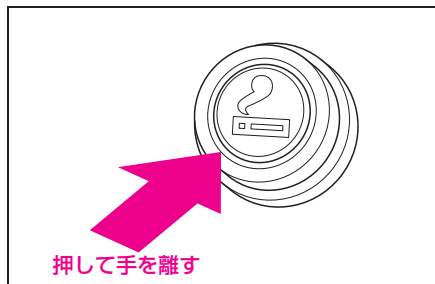
- テールゲートを開いたままにしていると、バッテリー保護のため、約30分後に消灯します。

シガレットライター

エンジンスイッチが“I”または“II”のときに使えます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。
ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

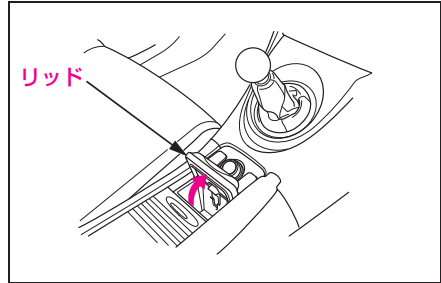


知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターの差し込み口からは、Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、Honda販売店で点検を受けてください。

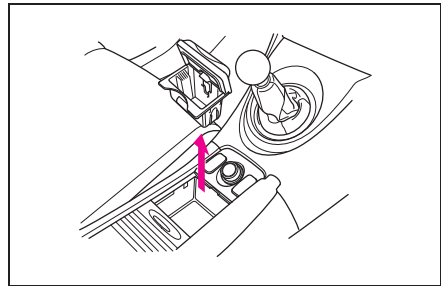
灰皿

リッドを開きます。



●清掃するとき

清掃するときはスライドシャッターのノブを後方にスライドさせて灰皿本体を引き抜くと、取り外すことができます。

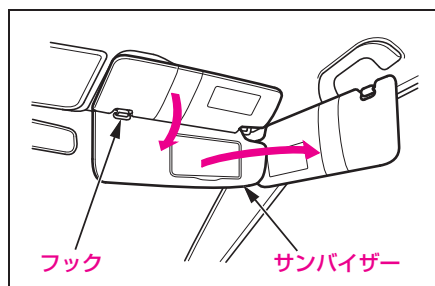


⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすい物を入れないでください。
- タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

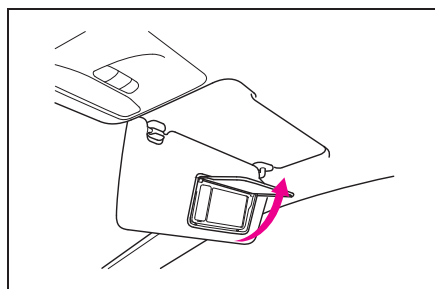
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

サンバイザーに鏡があります。
お化粧のときなどに便利です。



フタを開けると照明灯が点灯します。

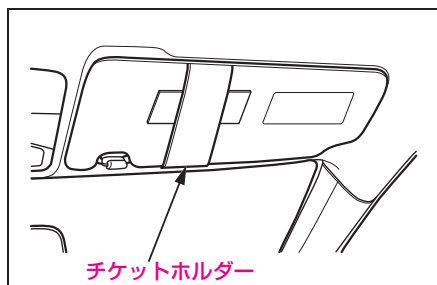
📖 知識

- 使わないときはフタを閉じておいてください。
- バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。



チケットホルダー

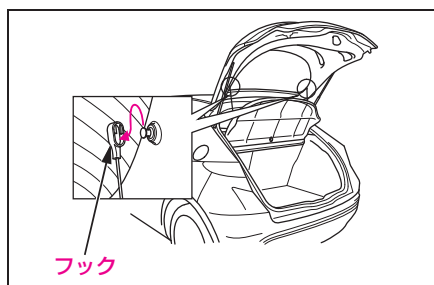
運転席側のサンバイザーにあります。



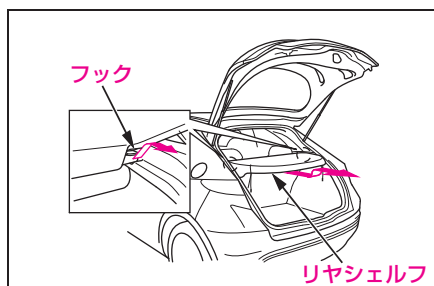
リヤシェルフ

●取り外し

①テールゲート裏側から、フックを外します。



②リヤシェルフをフックから外して取り出します。



取り付けるときは、逆の手順で行います。

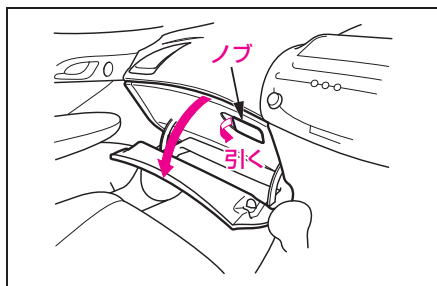
🎓 知 識

- リヤシェルフの上に物を置かないでください。
後方視界をさまたげるばかりでなく、急ブレーキなどのときにとび出すおそれがあります。

小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。



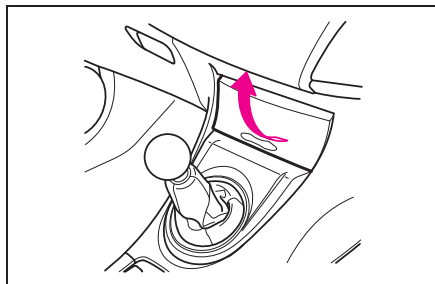
ライトスイッチが“OFF”以外のとき照明灯が点灯します。

⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのフタを必ず閉めてください。
グローブボックスのフタが開いていると、衝突したときなどにフタにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

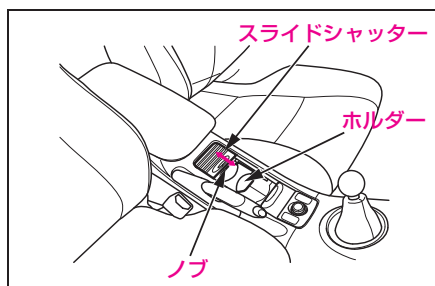
●センターポケット

フタを上げると開きます。



●スライドシャッター付コンソールポケット

スライドシャッターのノブを後方にスライドさせると、小物入れとして使えます。

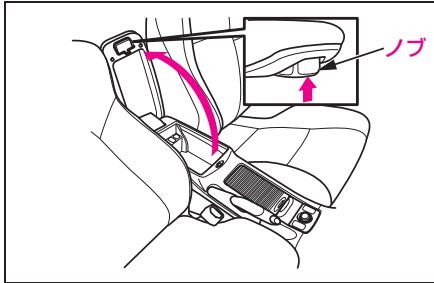


ホルダーを後側にスライドさせることができます。



●コンソールボックス

ノブを引くと開きます。



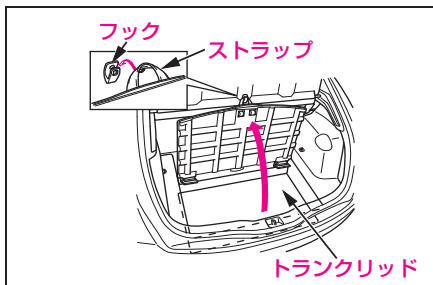
●トランクリッド

用途に応じて、トランクリッドの位置を変えて使います。

トランクリッドの下に収納するとき

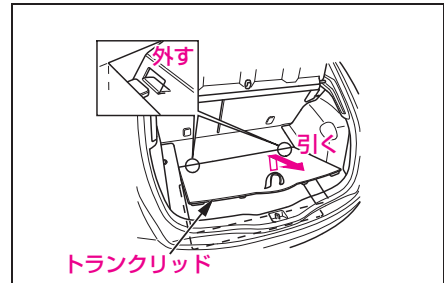
ストラップを引いて、トランクリッドを開けます。

荷物を出し入れするときに、ストラップをフックにかけてトランクリッドを開けておくことができます。

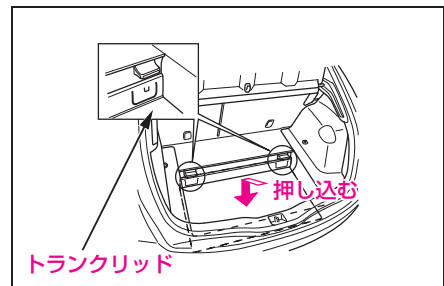


トランクリッドを下段にして使用するとき

①トランクリッドを手前に引いて外します。



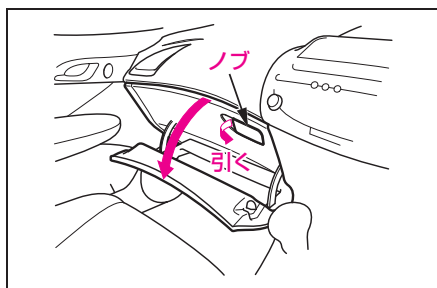
②トランクリッドを収納部の底に押し込みます。



クールボックス

グローブボックスを冷却することができます。

ノブを引くと開きます。



⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのフタを必ず閉めてください。グローブボックスのフタが開いていると、衝突したときなどにフタにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

🎓 知識

- このクールボックスはエアコンの冷風を使って冷やすので、エアコンの能力以上に冷やすことはできません。
- ヒーターを使用しているときは、冷やすことができません。

🎓 知識

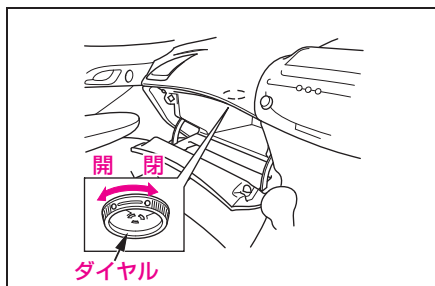
- 飲みかけのペットボトル等はふたを確実に閉めてください。飲み物がこぼれるおそれがあります。
- 飲み物がスイッチ等にかかると、故障の原因となりますので注意してください。
- 電気製品を入れる場合は、必ずダイヤルを“閉”の状態でお使いください。

●冷やし方

エアコンのMODEスイッチを押し“”または“”にして、ダイヤルを開にするとエアコンの風が吹き出します。ペットボトルなど、冷やすときに使います。ダイヤルを開にすると小物入れになります。

エアコンをマニュアルで使うとき

→182ページ





カップホルダー

カップなどを置くときに使います。

⚠ 注意

- オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物などをこぼさないように注意してください。
故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。
万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

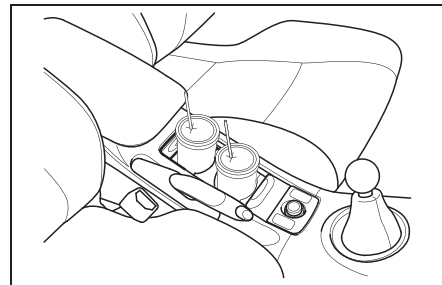
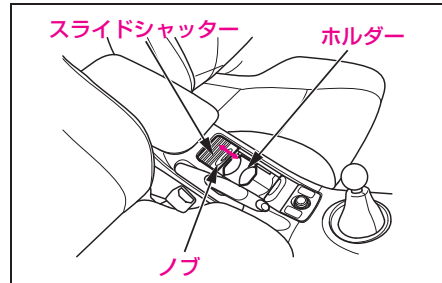
🎓 知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。

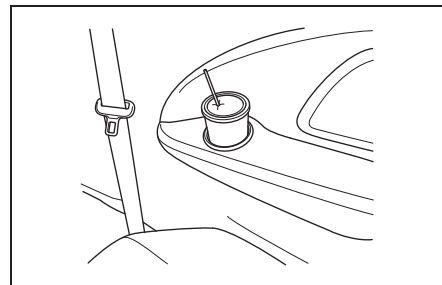
●前席用

スライドシャッターのノブを後方にスライドさせます。

ホルダーを前側にスライドさせます。

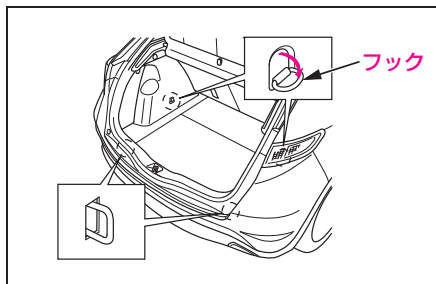


●後席用



カーゴフック

荷物を固定するときに使います。



⚠ 注意

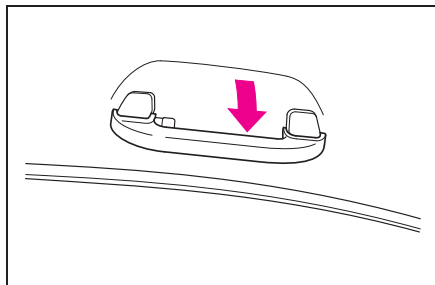
- 走行中は荷物の出し入れはしないでください。
急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- カーゴスペースに荷物を置くときは、リヤシートの背もたれの高さを越えないようにしてください。
後方視界を妨げるばかりでなく、急停止のときなど飛び出すおそれがあります。

グラブレール

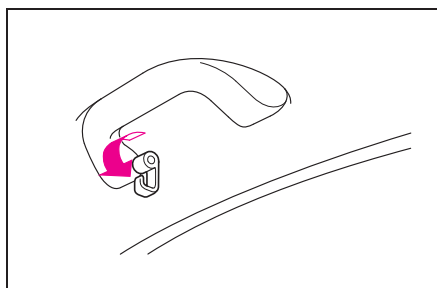
回転させて使います。





コートフック

後席両側のグラブレールにあります。
回転させて使います。
使わないときは格納しておきます。



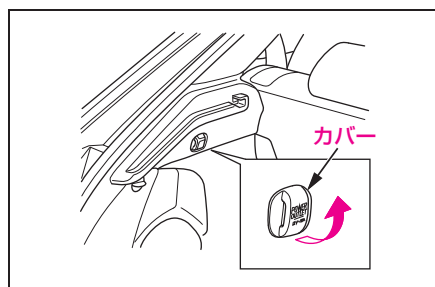
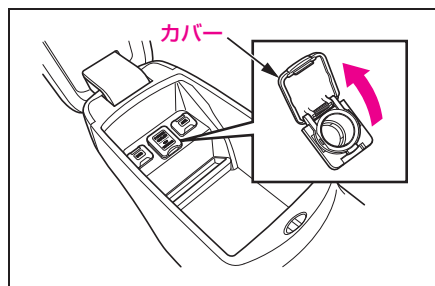
アクセサリースOCKET

エンジンスイッチが“I”または“II”のとき
だけ使えます。

カバーを開けて使用します。

Honda純正の電気製品の電源を取り出す
のに使用します。

(消費電力120W[12ボルト、10アンペ
ア]まで使用できます。)

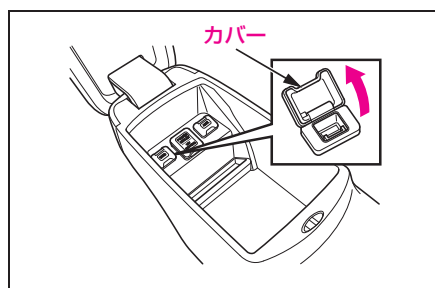


知識

- Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。バッテリーあがりやアクセサリソケットの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリソケットを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

USB接続端子

付属のケーブルを使って、市販のポータブルオーディオなどを、コンソールボックスの中にあるUSB接続端子に接続していただくことができます。
カバーを開けて使用します。



知識

- お買い上げ時、ケーブルはコンソールボックスに入っています。

5

万一のとき

●工具・タイヤパンク応急修理 キット・発炎筒

格納場所	244
工具の種類	246
発炎筒について	247

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	248
高速道路で故障したとき	248
道路で動けなくなったとき	249
故障の修理について	249

●事故が起きたとき

●けん引

けん引されるとき (ロープによるけん引)	252
故障車をけん引するとき	254

●パンクしたとき

タイヤパンク応急修理 キット	256
-------------------	-----

●ジャッキの取り扱い

●オーバーヒートしたとき

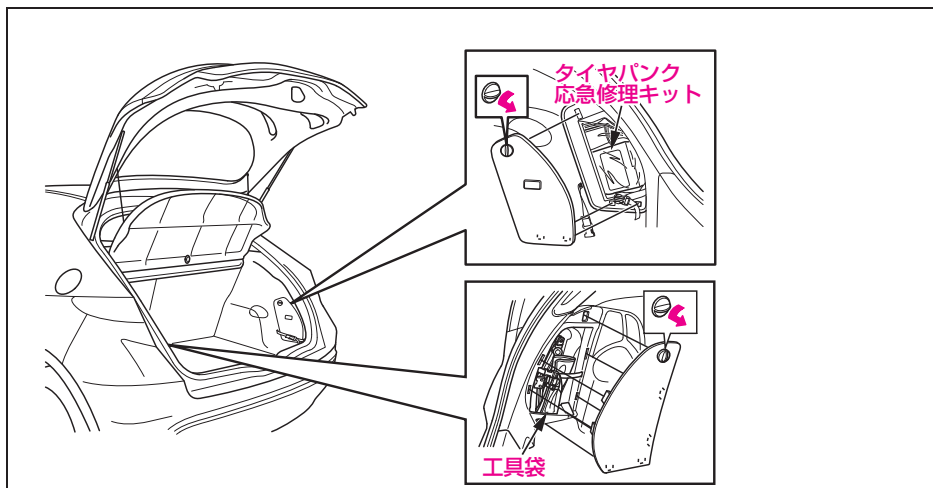
●電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき	268
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	270
テールゲートが開かないとき	284
キーの電池が消耗したとき	285

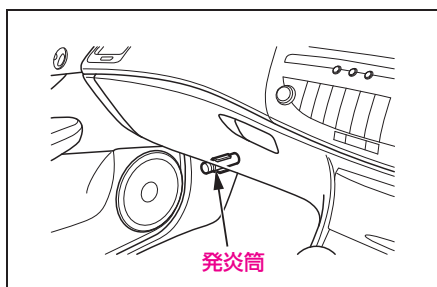
工具・タイヤパンク応急修理キット・ 発炎筒

格納場所

●工具



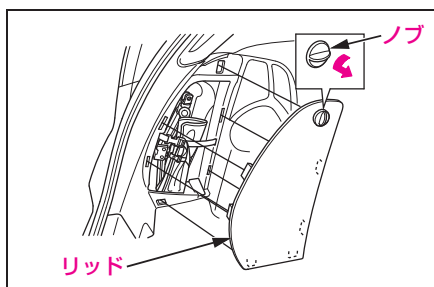
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。

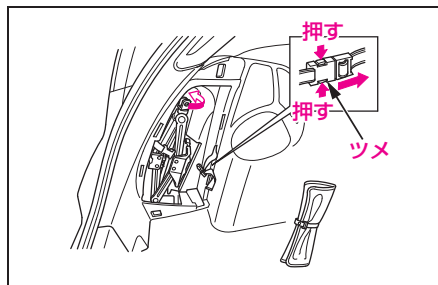
●工具の取り出しかた

①ノブを回してリッドを外します。



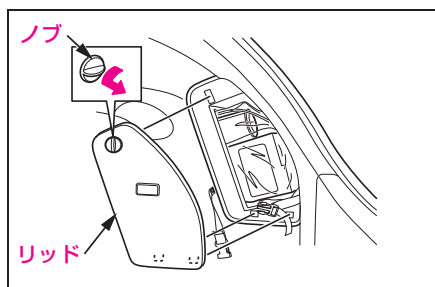


- ②両側のツメを押してストラップを外します。



●タイヤパンク応急修理キットの 取り出しかた

- ①両側のツメを押して、ストラップを外します。
②ノブを回してリッドを外します。



収納のしかた

タイヤ応急修理キットを図のように収納します。

収納するときは逆の手順で行います。

ビニールバッグ
(注入ホース、バルブコア回しなど)



工具の種類

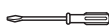
タイヤパンク応急修理キット



ジャッキ



ジャッキ
ハンドルバー



マイナス
ドライバー



ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)



アイボルト



プライヤー

知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- ジャッキ使用後は、走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。



発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

⚠ 警告

- ガソリンなどの燃えやすい物のそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

⚠ 注意

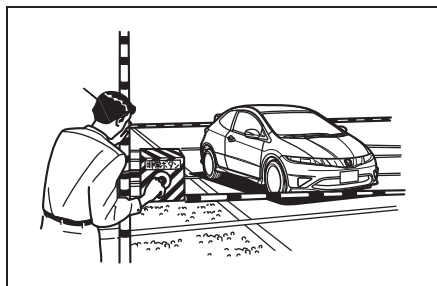
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故やけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔や身体に向けるとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に止め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

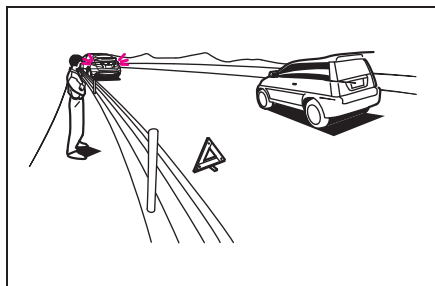
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。

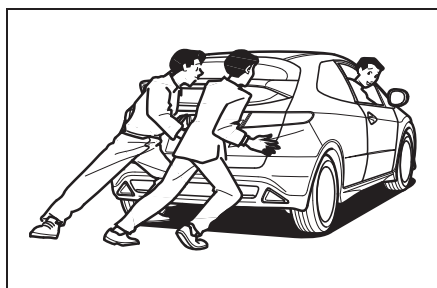


人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



知識

- この車は、スターターを回して車を動かすことはできません。

クラッチ・スタートシステム

→145ページ

故障の修理について

Honda販売店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

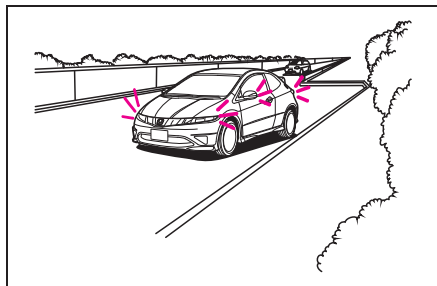
遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



📖 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。



アドバイス

- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

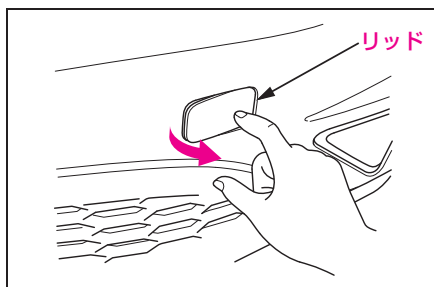
けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

- ①工具袋を取り出します。

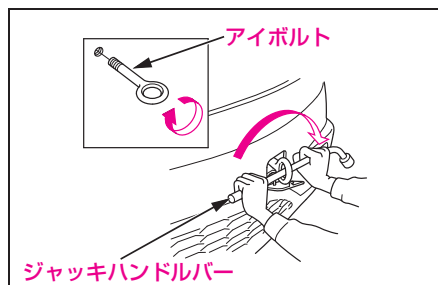
格納場所 →244ページ

- ②工具袋からジャッキハンドルバーとアイボルトを取り出します。
- ③リッドの右端を図のように押して左端を浮かせます。リッドの左端をめくり開きます。

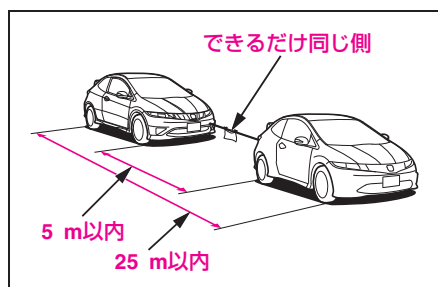




- ④アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーなどをかけて確実に締めつけます。



- ⑤ロープをアイボルトにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3 m平方以上)を付けます。



- ⑥エンジンをかけます。
エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを「I」または「II」にします。
- ⑦チェンジレバーをN(ニュートラル)にします。
- ⑧パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

アドバイス

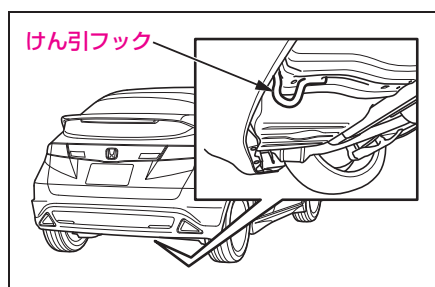
- アイボルトにロープをかけるときは、車体の破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・アイボルトは確実に取り付けてください。
 - ・アイボルト以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にアイボルトに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - ・けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。

🎓 知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキの効きが悪くなります。
 - パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。

故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。



 アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引するときは、車体に当たる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引すると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

パンクしたとき

タイヤパンク応急修理キット

本キットはタイヤの路面接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。

⚠ 注意

- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり、皮膚に付いたりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤に子どもが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理剤で応急修理を行うときは、車を地面が平らで安全な場所に停めてください。

🎓 知識

- タイヤ修理の際は作業をスムーズに行うため、修理キットに付属のクイックリファレンスをよくお読みください。
- 応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 以下のような場合には、応急修理剤を使って修理することができません。

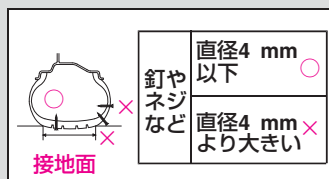
Honda販売店やJAFなどのロードサービスに連絡してください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき。



(アルミ袋が破れている場合、有効期限が通常より最大で2年短くなります)

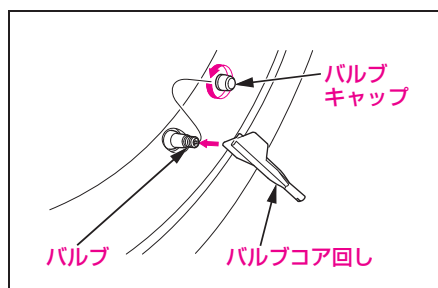
- タイヤが2本以上パンクしているとき。
- 約4 mm以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき。
- 路面接地部以外が損傷を受け、パンクしたとき。



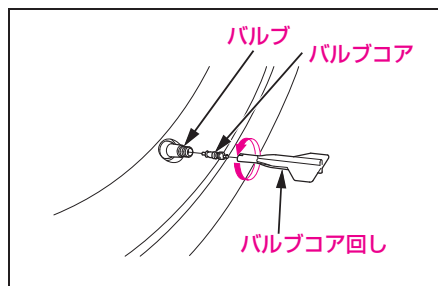
- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき。
- タイヤがホイールから外れているとき。
- ホイールが破損しているとき。



- ①車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。
- ②バルブからバルブキャップを取り外し、バルブコア回しの角部を押しあてて、タイヤの空気を完全に抜きます。



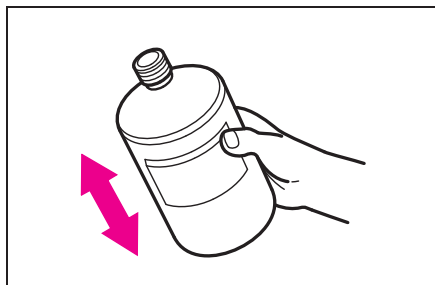
- ③バルブコア回しでバルブコアを左に回して外します。
外したバルブコアは、汚れないようにきれいな所に保管します。



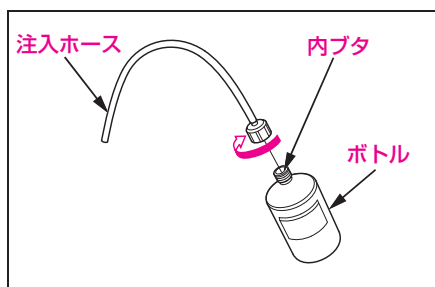
⚠ 注意

- バルブコアを外すときにタイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し傷害を受けるおそれがあります。

- ④アルミ袋を破って応急修理剤のボトルを取り出します。
- ⑤応急修理剤のボトルをよく振ります。



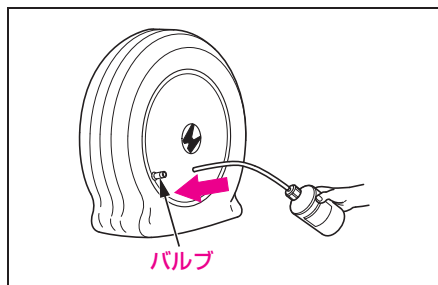
- ⑥応急修理剤の内ブタを外さずに注入ホースを応急修理剤のボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと、内ブタが破れます。



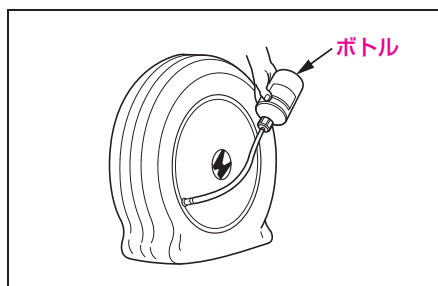
⚠ 注意

- 注入ホースをねじ込んだ後、応急修理剤のボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

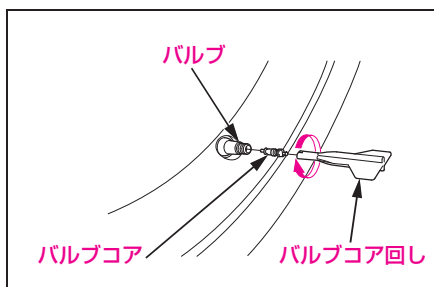
⑦注入ホースをバルブに差し込みます。



⑧応急修理剤のボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを何回も圧迫し、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入します。

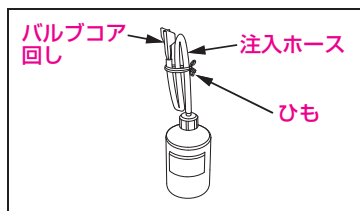


⑨全て注入したら、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで右に回してしっかりとねじ込んでください。



知識

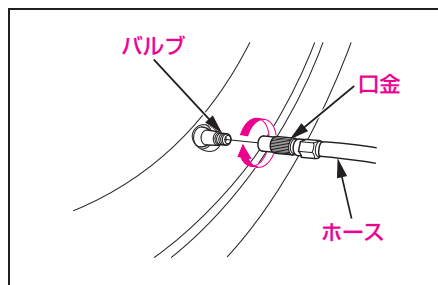
- 空ボトルから修理剤がもれないようにバルブコア回しで注入ホースに栓をして、ひもなどで束ねてください。



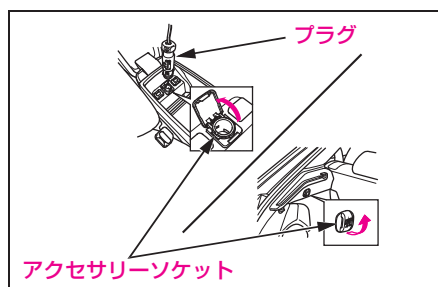
- 空ボトルは、タイヤの修理・交換時に、使用済応急修理剤の回収に使用しますので捨てずにHonda販売店か修理業者までお持ちください。



- ⑩バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付けます。



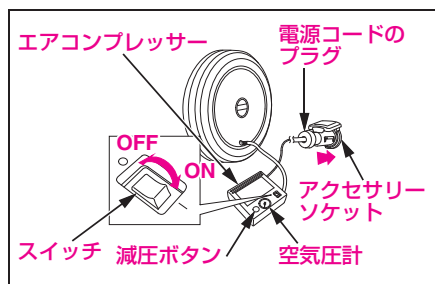
- ⑪空気圧計を上にして、エアコンプレッサーを置きます。
⑫エアコンプレッサーの電源コードのプラグをアクセサリースocketに差し込みます。



- ⑬エンジンスイッチを“I”にします。

- ⑭エアコンプレッサーのスイッチを“ON”にしてタイヤを指定の空気圧まで昇圧します。エアコンプレッサーに付属の空気圧計を使用して、空気圧を点検、調整します。空気を入れ過ぎたときは、減圧ボタンを押して空気を抜きます。

指定空気圧 → 330ページ



知識

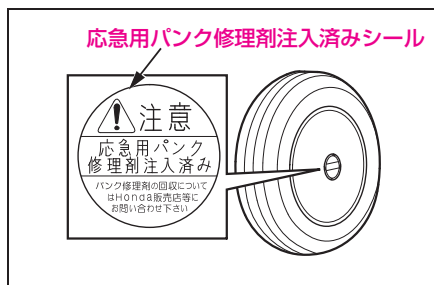
- タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、コンプレッサーのスイッチを“OFF”にしてから確認してください。

- ⑮エアコンプレッサーのスイッチを“OFF”にしてから電源コードプラグをアクセサリースOCKETから抜きます。

知識

- 備え付けのエアコンプレッサーは乗用車タイプの空気充填用です。
- エアコンプレッサーの電源は、自動車用12V専用です。他の電源は接続しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上連続して使用しないでください。再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。
- 10分以内に指定の空気圧にならないときは、応急修理剤を使って応急修理することができません。
Honda販売店やJAFなどのロードサービスに連絡してください。
- 本応急修理キットは、タイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまでは、パンク穴より空気が漏れます。

- ⑯応急修理剤を注入したタイヤのホイールの平坦なところに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼ります。



- ⑰速やかに、エアコンプレッサー、ボトル等を車に搭載してから、タイヤ空気圧警報システムの初期化を行います。

タイヤ空気圧警報システムの
初期化のしかた →113ページ



- ⑱タイヤ空気圧警報システムの初期化を行ったら直ちに走行します。
走行は法定速度を守って、80 km/h以下の速度で注意深く運転してください。

⚠ 注意

- 走行中異常を感じたときは、運転を中止してHonda販売店かJAFなどのロードサービスに連絡してください。
応急修理完了までに空気圧が低下して安定性を損うおそれがあります。



知識

- 80 km/hを超えて走行すると、車体が振動することがあります。

- ⑲10分間または5 km程度走行した後、車を安全な場所に停め、エアコンプレッサーに付属の空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。

⚠ 注意

- 空気圧が最小空気圧より低くなっているときは、応急修理剤での応急修理はできません。
運転を中止してHonda販売店か、JAFなどのロードサービスに連絡してください。

最小空気圧：130 kPa (1.3 kgf/cm²)

- ⑳タイヤの空気圧が指定の空気圧より低下していたら、もう一度指定の空気圧まで昇圧し、法定速度を守って80 km/h以下の速度で注意深く運転します。

10分もしくは5 km程度走行した後にタイヤの空気圧を点検します。

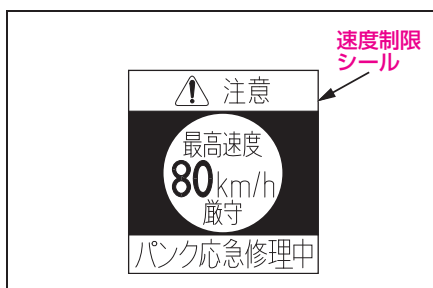
指定空気圧 →330ページ

- ㉑タイヤ空気圧警報システムの初期化を行います。

タイヤ空気圧警報システムの

初期化のしかた →113ページ

- ㉒空気圧の低下が認められなくなった後、応急修理完了です。
速度制限シールを運転者のよく見える位置に貼ります。



⚠ 注意

- ハンドルのパッドにシールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
また、メーターの警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。

- ②③すみやかにHonda販売店または専門修理工場まで慎重に運転し、タイヤの修理、交換を行ってください。



知 識

- このとき、タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止してHonda販売店かJAFなどのロードサービスに連絡してください。
- 応急修理剤の空ボトルは、使用済応急修理剤の回収に使用しますので、Honda販売店か修理業者までお持ちください。

5.万ーのとき

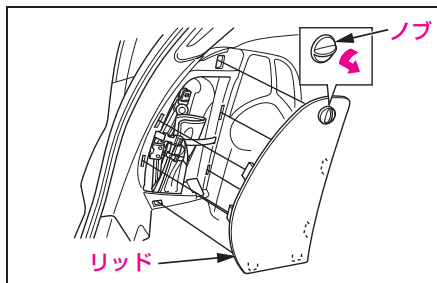
バンクしたとき



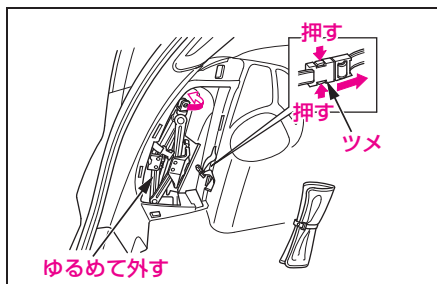
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

①ノブを回してリッドを外します。



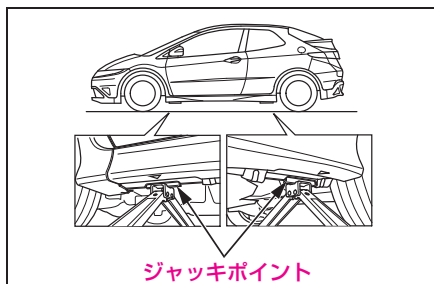
②両側のツメを押してストラップを外し、ジャッキをゆるめて外します。



知 識

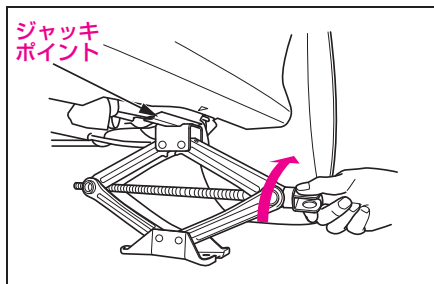
- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。
ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

●ジャッキをかける位置



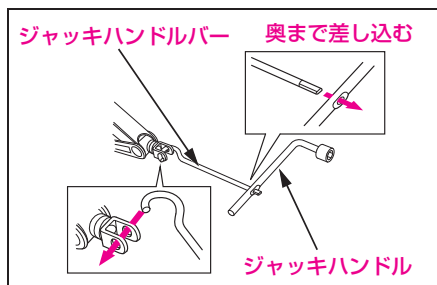
●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。





- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
- 万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - エンジンのかけたままにしない。
 - 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - 指定された位置以外にかけない。
 - 人や荷物をのせたままにしない。
 - ジャッキの上や下に物を入れたりしない。
 - タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓 知識

- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。
- タイヤ交換をした後は、タイヤ空気圧警報システムの初期化を行います。

タイヤ空気圧警報システムの
初期化のしかた →113ページ

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の針が“H”の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

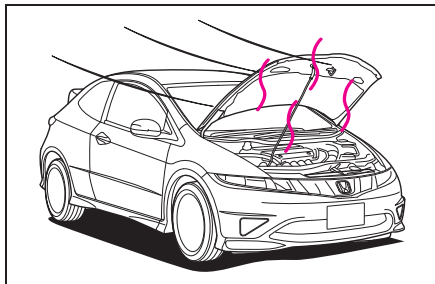
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。

冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 処置のしかた

- ① 車を安全な場所に停めます。
- ② エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。



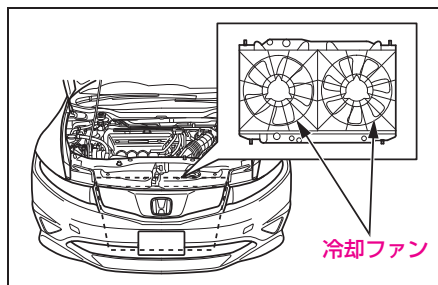
🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。

冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



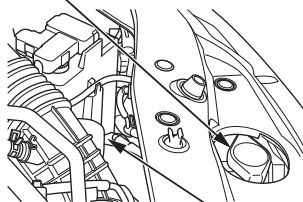
アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、Honda販売店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。

- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

ラジエーターキャップ



リザーブタンク



アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

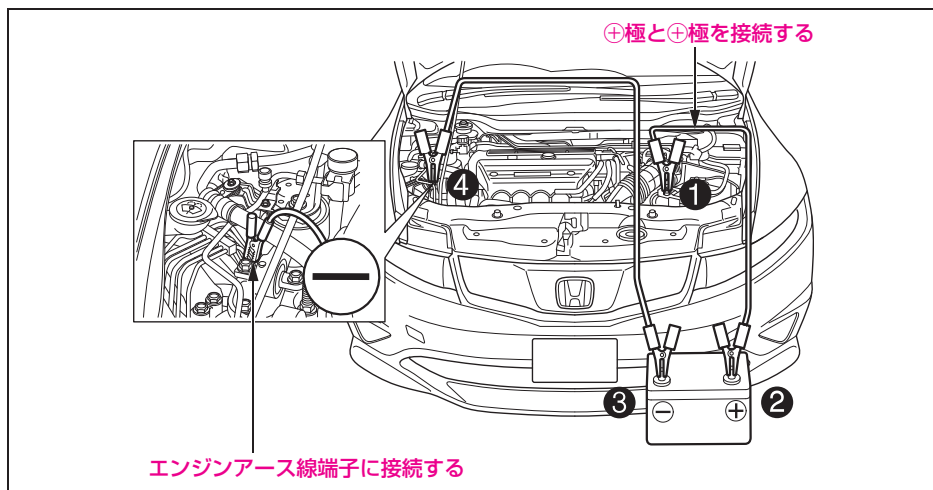
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

2本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した身体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

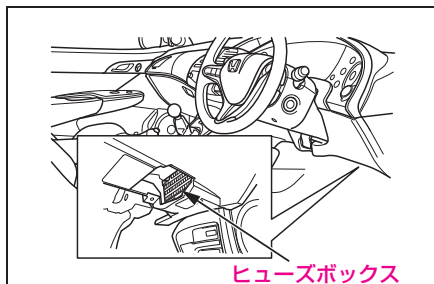
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
 - 故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示と取扱説明書で確認し、点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

●ヒューズの点検、交換

運転席足元のヒューズボックス



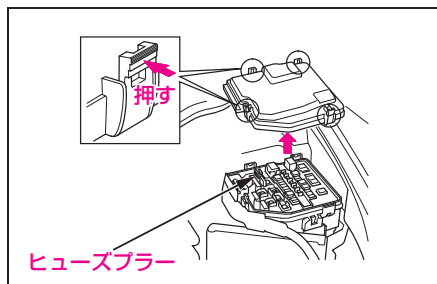


・各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		パワーウィンドー	7.5A
2		フューエルポンプ	15A
3		発電機	10A
4		ABSユニット	7.5A
5		—	—
6		フォグライト	20A
7		—	—
8		エンジンスタート	7.5A
9		乗員検知	7.5A
10		メーター	7.5A
11		SRSエアバッグシステム	10A
12		右側ヘッドライト ハイビーム	10A
13		左側ヘッドライト ハイビーム	10A
14		スモールライト(室内)	7.5A
15		スモールライト (車幅灯／尾灯)	7.5A
16		右側ヘッドライト ロービーム	15A
17		左側ヘッドライト ロービーム	15A
18		ヘッドライトハイビーム メイン	20A
19		スモールライトメイン	15A
20		—	—
21		ヘッドライトロービーム メイン	30A
22		—	—
23		スターターシグナル	7.5A
24		—	—

	表示	装備	容量
25		ドアロック	20A
26		パワーウィンドー 運転席	20A
27	—	—	—
28		アクセサリースOCKET (カーゴスペース)	20A
29		アクセサリ	20A
30		パワーウィンドー 助手席	20A
31		アクセサリースOCKET (コンソールボックス)	20A
32		—	—
33		—	—
34	—	—	—
35		オーディオ	7.5A
36		オプション	10A
37		—	—
38		ワイパー	30A

エンジンルーム内のヒューズボックス (助手席側)



・各ヒューズの装備と容量

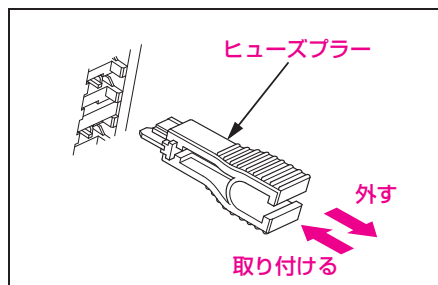
	表示	装備	容量
1		バッテリー	100A
		EPS	70A
2		ヘッドライトメイン	60A
		イグニッションメイン	50A
3		VSA/ABSモーター	40A
		VSA/ABSユニット	20A
4		オプションメイン	80A
5		—	—
6		パワーウィンドーメイン	40A
7		エアコン コンプレッサー MGクラッチ	7.5A

	表示	装備	容量
8		ドライブバイワイヤ	15A
9		IGP	15A
10	—	—	—
11	—	—	—
12		リヤデフロスター	30A
13		LAF	15A
14		イグニッション	15A
15		ファンモーターサブ	20A
16		バックアップ	15A
17		室内灯	7.5A
18		ファンモーターメイン	20A
19		ヒーターモーター	40A
20		IGPS	7.5A
21		ホーン／制動灯	15A
22		非常点滅表示灯	10A
23	—	—	—
24	—	—	—
25	—	—	—
26		—	—
27	—	—	—
28	—	—	—

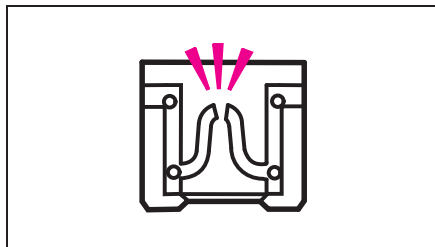


ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

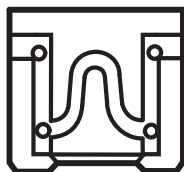
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外の物は絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知 識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。
電球を点検し、切れているときは交換してください。

知 識

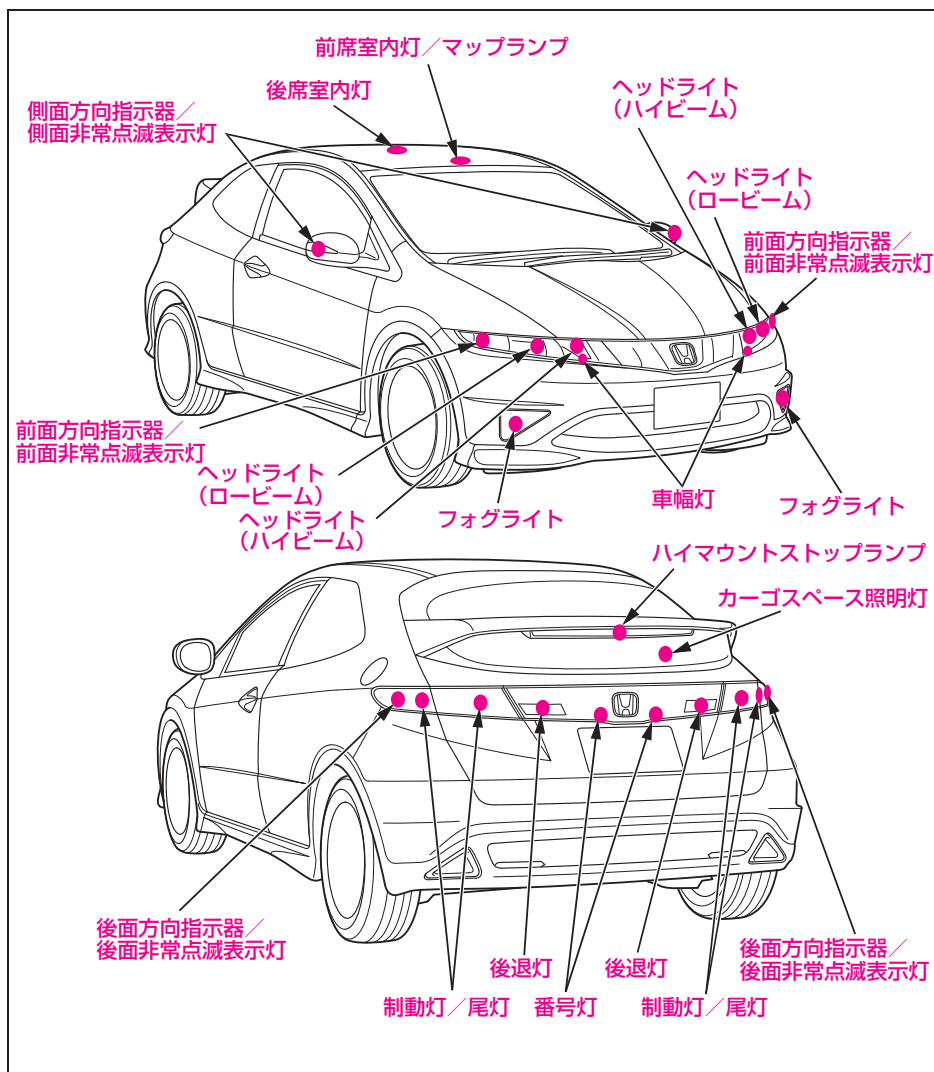
- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。



●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。



知識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違う物を使わないでください。

電球のワット数 →327ページ

- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。

取り扱いには十分に注意してください。

また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。

知識

- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、Honda販売店にご相談ください。

ヘッドライト(ロービーム)について

ヘッドライトの電球切れの点検、交換は必ずHonda販売店で行ってください。

注意

- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

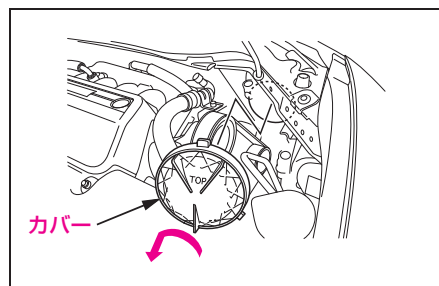


ヘッドライト(ハイビーム)

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

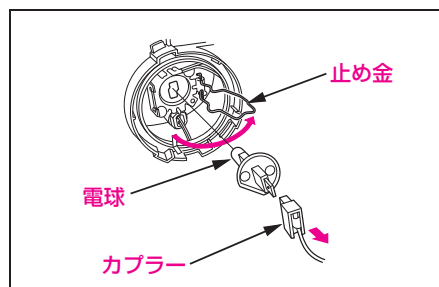
ハロゲンバルブについて →276ページ

- ①カバーを左へ回して外します。



- ②カブラーを抜き取ります。

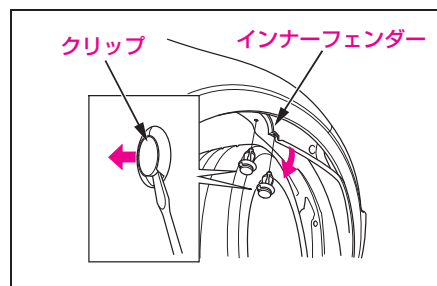
- ③止め金を外し、電球を外します。



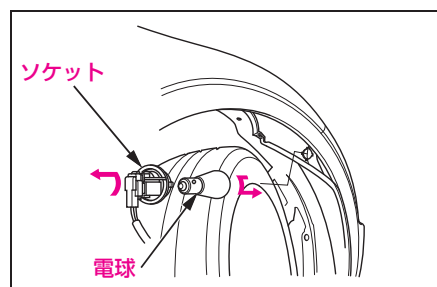
前面方向指示器／前面非常点滅表示灯

- ①交換する側と反対にハンドルをいっばいに切ります。

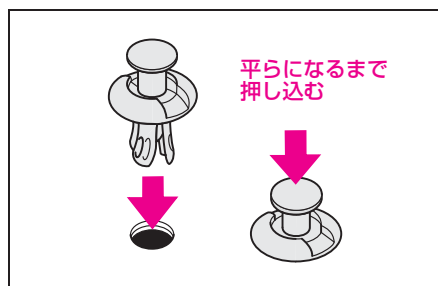
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回して抜き取ります。

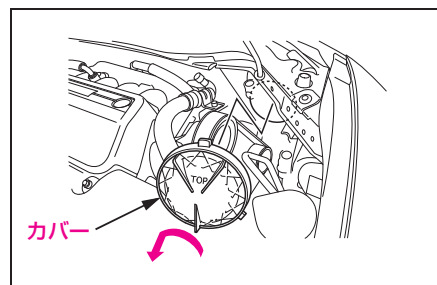


- ④インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

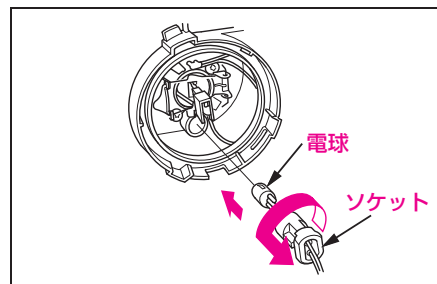


車幅灯

- ①カバーを左へ回して外します。



- ②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。





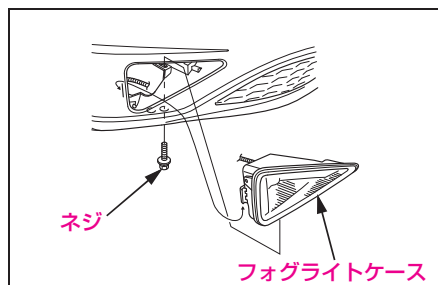
フォグライト

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

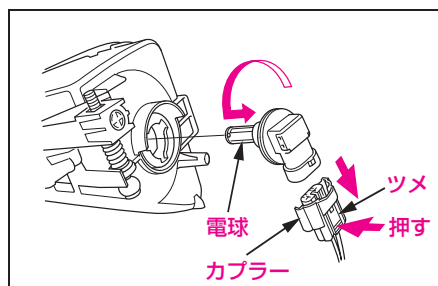
ハロゲンバルブについて →276ページ

右側

- ①ネジを外して、フォグライトケースを取り出します。

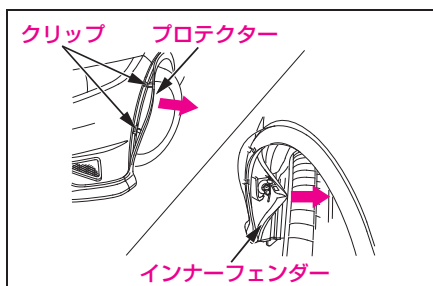


- ②カプラーのツメを押しながらカプラーを外します。
③電球を左へ回して抜き取ります。



左側

- ①ハンドルを右にいっぱいに切ります。
②図のようにプロテクターを引いて2箇所
のクリップを外し、インナーフェン
ダーをめくりします。



- ③カプラーのツメを押しながらカプラーを外します。
④電球を左へ回して抜き取ります。

側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

電球切れの点検、交換は、Honda販売店
にご相談ください。

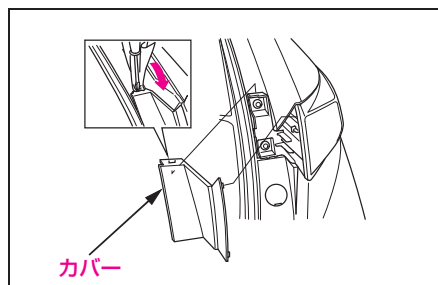
ハイマウントストップランプ

電球切れの点検、交換は、Honda販売店
にご相談ください。

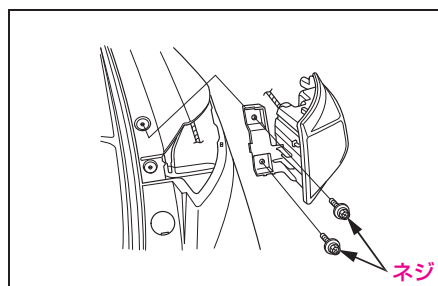


制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯

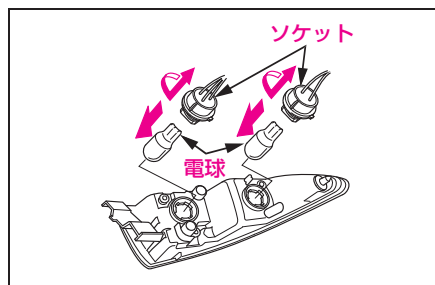
- ①ドライバーの先端に布などを巻き、カバーを外します。



- ②ネジを外してランプ本体を外します。

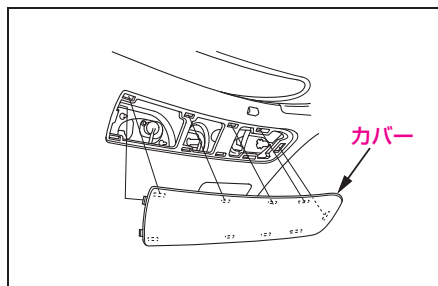
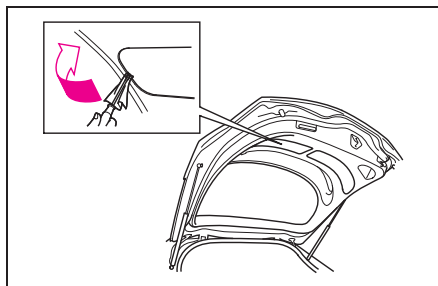


- ③ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

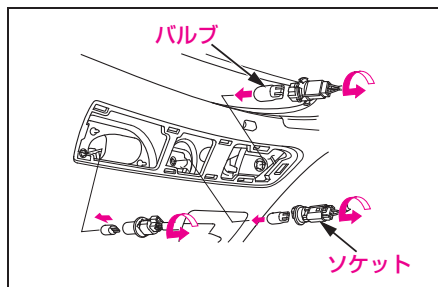


制動灯／尾灯、後退灯、番号灯

- ①ドライバーの先端に布などを巻き、カバーを外します。

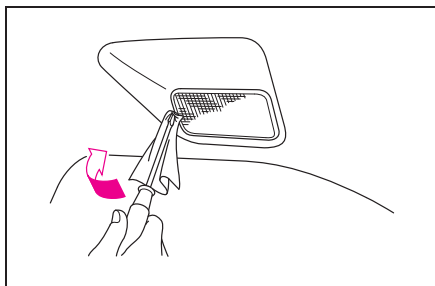


- ②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

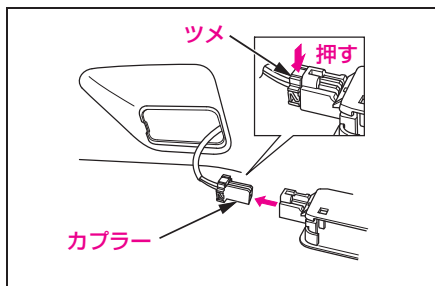


カーゴスペース照明灯

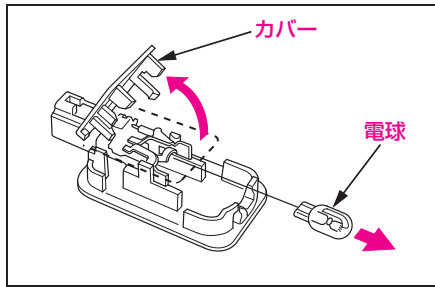
- ①ドライバーの先端に布などを巻き、ランプ本体を外します。



- ②カプラーのツメを押しながらカプラーを外します。



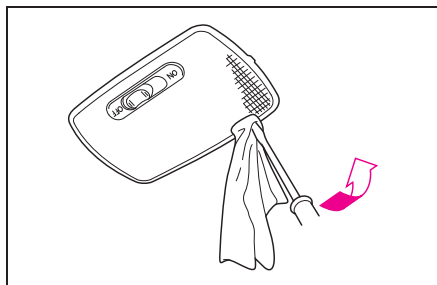
- ③カバーを開け、電球を抜き取ります。



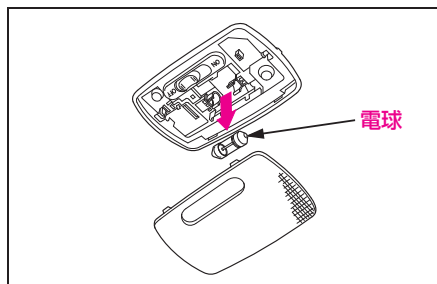


後席室内灯

- ①ドライバーの先端に布などを巻き、レンズを外します。

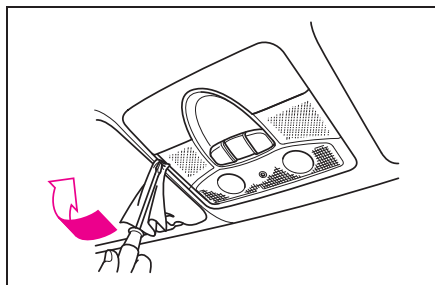


- ②電球を抜き取ります。

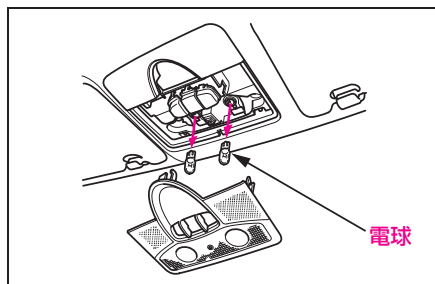


前席室内灯／マップランプ

- ①ドライバーの先端に布などを巻き、カバーを外します。

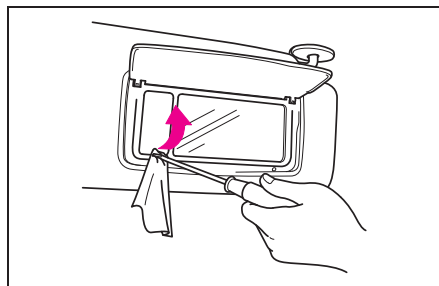


- ②電球を抜き取ります。

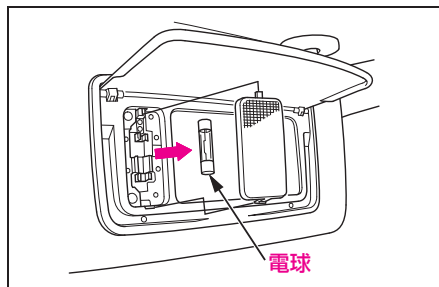


バニティミラー照明灯

- ①ドライバーの先端に布などを巻き、レンズを外します。



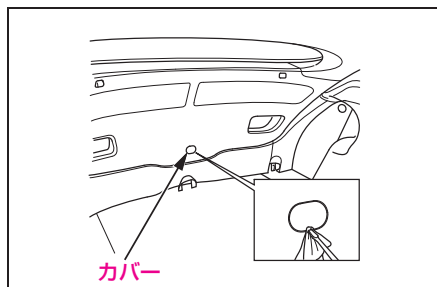
- ②電球を抜き取ります。



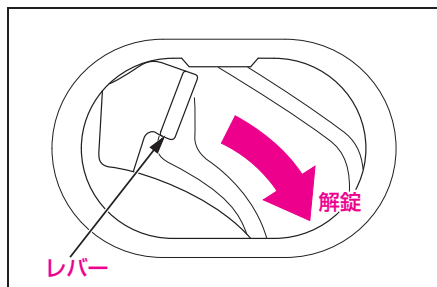
テールゲートが開かないとき

万一、テールゲートを開けることができなくなった場合は、応急処置としてテールゲート解錠レバーを右の方向に動かして開けてください。

- ①テールゲートのカバーにドライバーを図のように差し込んでカバーを外します。



- ②レバーを右の方向に動かした状態で、テールゲートを内側から押して開けます。





⚠ 注意

- テールゲートを内側から開ける時は、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

🎓 知識

- 応急処置後はHonda販売店で点検を受けてください。

キーの電池が消耗したとき

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店での交換をおすすめします。

⚠ 注意

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。
飲み込むと、傷害を受けるおそれがあります。

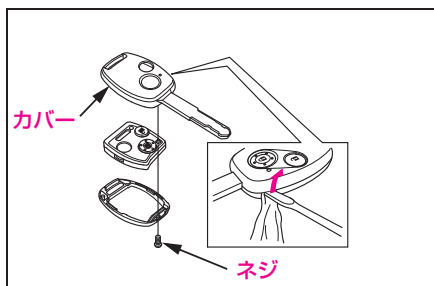
知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池交換の際は、ケースやカバーを確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

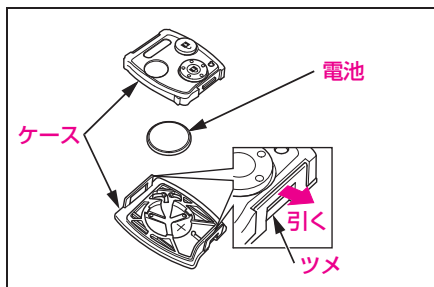
●キーレスエントリー一体キーの電池交換

使用電池…………… ボタン電池CR1616

- ①ネジを外して、カバーに傷を付けないようにマイナスドライバーに布を巻いてカバーを外します。



- ②ツメを引いてケースを外し、電池を交換します。



6

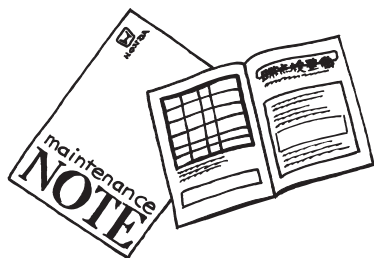
車の手入れ

- 点検・整備について……………288
- 簡単な整備……………290
 - タイヤについて……………290
 - ワイパーブレードラバーの
交換……………293
- 日常の手入れ……………296
 - 外装の手入れ……………297
 - 内装の手入れ……………299
 - アルミホイールについて……………301
- 車にあった部品の使用……………304

点検・整備について

車は走行するにしがいい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



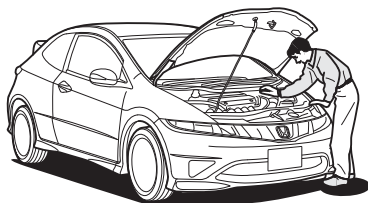
詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

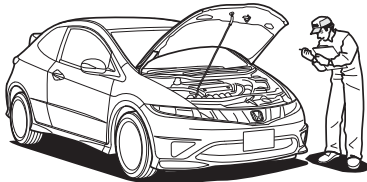
点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





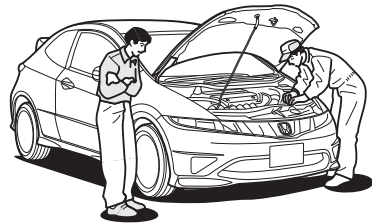
法定定期点検

年間走行距離が10,000 km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



簡単な整備

「簡単な整備」を実施したときは、メンテナンスノート点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。
コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。
 - 摩耗限度を超えたタイヤ。
 - 指定空気圧に調整されていないタイヤ。

タイヤの空気圧
→330ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。
空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。



- 四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとVSAおよびタイヤ空気圧警報システムが正常に機能しなくなることがあります。

空気圧を調整した後にタイヤ空気圧警報システムの初期化を行います。

タイヤ空気圧警報システムの
初期化のしかた →113ページ

摩耗限界表示

(ウェアインジケーター)

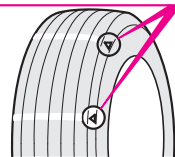
ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6 mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です



ウェアインジケーターが表われたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換



●位置交換 (タイヤローテーション)

5,000 kmごとにタイヤの位置を交換します。

- スペアタイヤが装備されていないため、搭載されているジャッキではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはHonda販売店にご相談ください。
- 同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

●前輪と後輪でタイヤの空気圧が異なるので、位置交換後は必ず空気圧を調整してください。

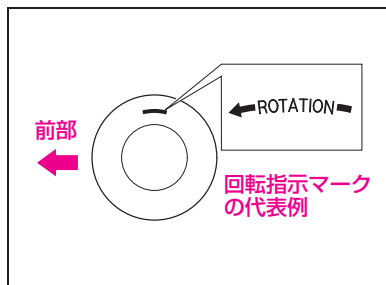
タイヤの空気圧
→330ページ

空気圧を調整した後にタイヤ空気圧警報システムの初期化を行います。

タイヤ空気圧警報システムの
初期化のしかた →113ページ

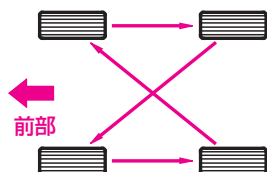
タイヤ回転指示マーク

タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。

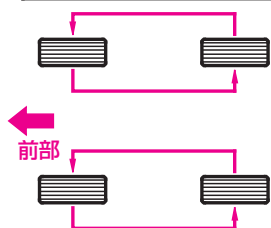




回転指示マークがないタイヤの場合



回転指示マークがあるタイヤの場合

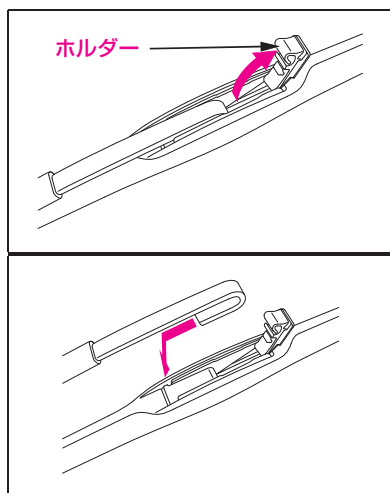


ワイパーブレード ラバーの交換

ラバーが傷んでいると、拭きむらがあるばかりかウィンドーガラスを傷つけることがあります。

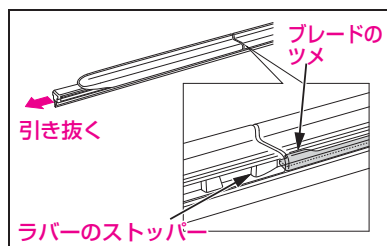
ワイパーブレードを外したときはアームを倒さないでください。また、アームを起しているときはワイパーを作動させないでください。ガラスやボンネットに傷がつくことがあります。

- ①ホルダーを起こして、アームからブレードを外します。



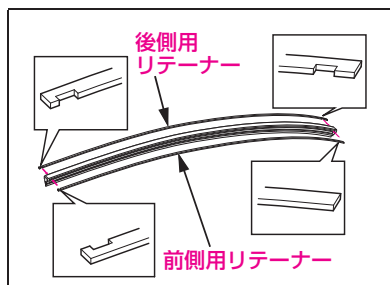
ワイパーアームの起こしかた
→317ページ

- ②ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜きます。





- ③引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーを図のように取り付けます。

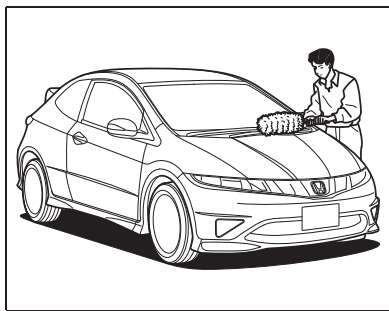


- ④ラバーをストッパーがない側からブレードに沿って差し込みます。ラバーのストッパーにブレードのツメを挿入します。
- ⑤ブレードをアームに取り付け、ホルダーを閉じて固定します。

日常の手入れ

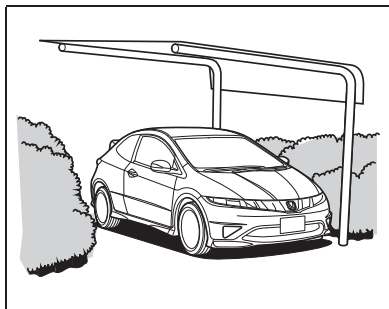
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・コールドスタート、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリッシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリッシングワックスは、Honda 純正ケミカル用品をお使いください。

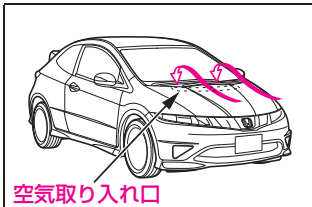


外装の手入れ

●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかい物で洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内に水をかけないでください。
故障の原因になります。



自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納して洗車してください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

高圧洗浄機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。

ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。エンジンルームには水をかけないでください。

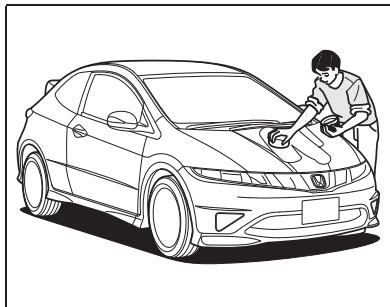
故障の原因になります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。
塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

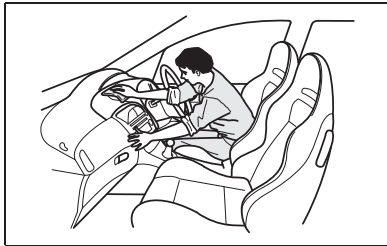
リヤガラスの清掃をするとき

ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。



●室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

●ケミカル類、
液体芳香剤について

取扱方法や成分を確認の上、取り扱いには十分にご注意ください。

⚠注意

- オーディオやスイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。
- 万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。



- ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。

次のことに注意してください。

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。

また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。

- ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

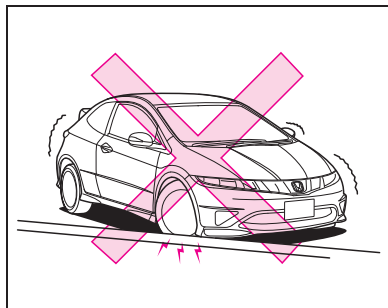
- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。

芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。

アルミホイールについて

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000 km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールや、ブレーキ装置に傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
 - ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
 - アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きの物）によるホイールの洗浄は避けてください。
 - スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
- 光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



HONDA
GENUINE PARTS

- Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	306
運転するとき	308
駐車するとき	312
冬期の手入れ	313

●こんなときは

雨の日の運転	316
夏場の取り扱い	318

●環境にやさしい

省エネドライブを するために	320
-------------------	-----

積雪・寒冷時の取り扱い

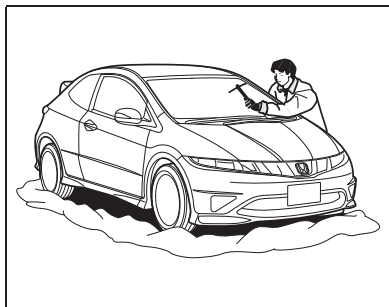
運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時に屋根に積もった雪がすべり落ち視界の妨げになるなど危険です。走行する前に取り除いてください。

- 氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。
- ドアミラーに付着した雪や霜は、ヒートッドアミラースイッチを“ON”にするか、温水や水道水を使って溶かしてください。解氷剤を使ったり、プラスチックの板を使って削り落とすと、ミラー表面に傷が付きます。

ヒートッドアミラー

→63ページ

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

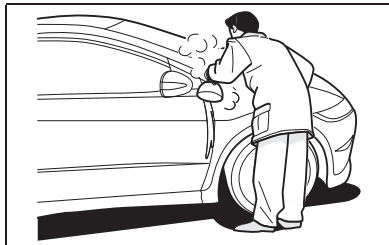


●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結 (ガラス面が着氷、 積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

寒冷地用ワイパーブレードを装着する際は、Honda販売店にご相談ください。

寒冷時以外は通常のワイパーブレードに戻してください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

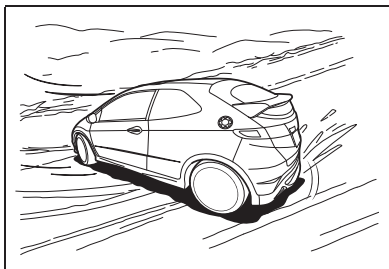
ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて

→310ページ

- 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

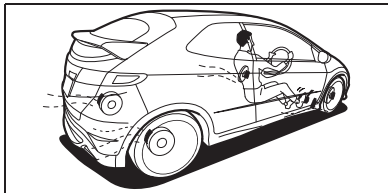
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキの効きについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキの効きが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

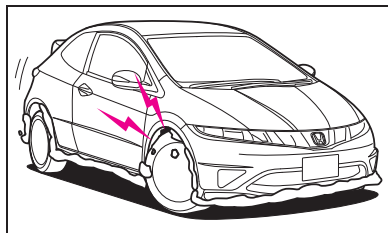
先にデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●タイヤチェーンについて

推奨タイヤチェーン

フェンダーやホイール表面を傷つけるおそれがありますので、Honda純正スチールチェーンをお使いください。

お求めはHonda販売店へお申し付けください。

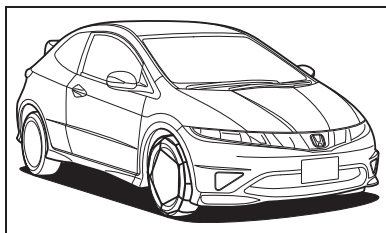
- タイヤチェーンはタイヤに合った適正な物をお使いください。

推奨タイヤチェーン以外の物を使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。



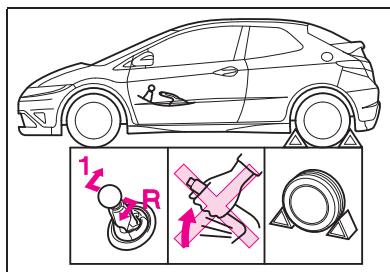


- タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールやブレーキ装置に傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では**30 km/h**以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

ギヤをR(後退)か1に入れます。
石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
 - 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。
 - ワイパーアームは起こしてください。
 - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。
- ワイパーアームの起こしかた
→317ページ



●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

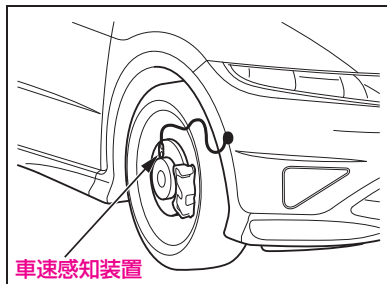
⚠注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり（前、後輪の4か所）に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。

冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。

冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。



- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はHonda販売店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- 急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- 雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- このような状態になると、ハンドルやブレーキが効かなくなり、非常に危険です。

**●ガラスの曇りをとりたいとき**

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

●ガラスの油膜をとりたいとき

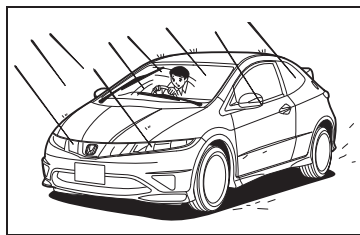
油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

●ワイパーの拭きむらがあると

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、拭きむらが出て視界の妨げとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。



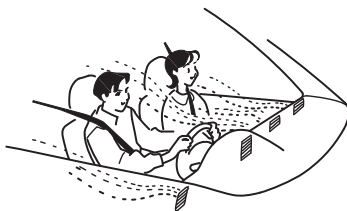
- ワイパーアームを起こしたり倒したりするときは、図の順に行ってください。



夏場の取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

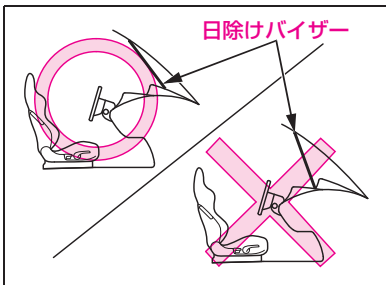


**●炎天下に駐車するときは**

ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。

日除けバイザーを使うときは、インストルメントパネルやメーターの変色、変形を防ぐため、次のことをお守りください。

- 光沢性のものは使わないでください。
- 上側と下側のメーターの間の位置で使わないでください。

**●海から帰ってきたときは**

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- 走行中、水温計の針が“H”の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→266ページ

環境にやさしい省エネドライブをするために

●点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

- 適正空気圧で50 km走ると50 kPa {0.5 kgf/cm²} 減のときに比べてガソリン 150 ccの節約。
- ▲ CO₂ 1250 g削減(650 km/月)



●タイヤの空気圧が低下すると走行抵抗が増加し、燃費に大きく影響します。また、冬用タイヤや幅広タイヤを装着したときも同様に燃費に影響します。

● unnecessary 荷物は降ろして走行しましょう。

- 10 kgの荷物を降ろして50 km走ると、ガソリン 15 ccの節約。
- ▲ CO₂ 130 g削減(650 km/月)



●エアコンは少し控えめにしましょう。 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。

- エアコンを6分停止して、ガソリン 70 ccの節約。
- ▲ CO₂ 1340 g削減(3時間/月)



●エアコンは冷媒を循環するため、コンプレッサーをエンジンで駆動しており、エンジンに大きな負荷が発生します。それを補うため、燃料消費が多くなります。

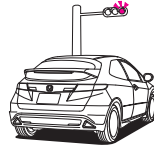
●ヘッドライトやリヤデフロスターは電力を多く消費するため、不要なときはスイッチを“OFF”にしてください。

- 発電機はエンジンで駆動しており、消費電力が増加すると発電量が増加し、エンジンの負荷が大きくなり、それを補うため、燃料消費が多くなります。



●空ぶかしはしないようにしましょう。

- 空ぶかしを1回やめて、ガソリン 6 ccの節約。
- ▲ CO₂ 1150 g削減(300回/月)



●長時間停車するときは、エンジンを停止してください。
また、長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。

- 5分間のアイドリングを止めて、ガソリン 65 ccの節約。
- ▲ CO₂ 420 g削減(10回/月)



●変速位置の選択は、走行速度や坂の勾配に合わせて適切に行ってください。

- ・下り坂で速度が出すぎてしまうときは、ギヤを一段ずつ落としてエンジンブレーキを使います。



- 下り坂などでエンジンブレーキを使う目的で、より低速のギヤを有効に使うと、燃料カットの時間が長くなり、燃費が良くなる場合があります。

●経済速度について

- 高速道路では100 km/hを80 km/hにして燃費10～30 %の節約。
- 一般道路では法定速度(40～60 km/h)の範囲で一定走行すると燃費は良くなります。



●10・15モード燃費について

10・15モード燃費とは

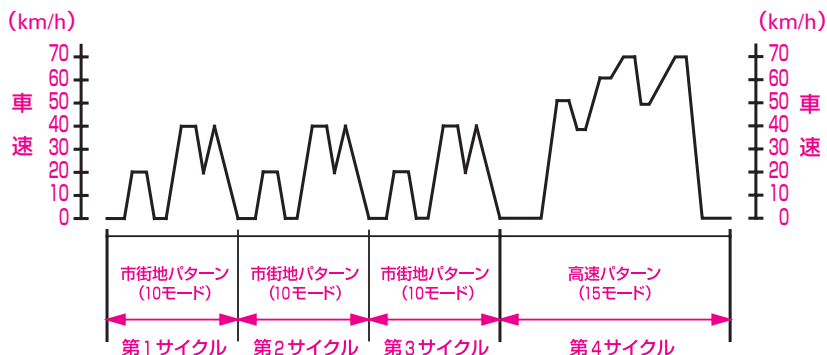
東京都内の幹線道路における平均的な走行形態の10モードと、高速走行や渋滞など大都市における走行形態を反映させた15モードを図のように

- 市街地パターン(10モード)を3回
- 高速パターン(15モード)を1回

の計4サイクルで走行したときの排出ガス量(g/km)を測定します。

このときに消費した燃料を10・15モード燃費(km/l)として表示しています。

* 計測走行距離 約4.2 km、平均车速 22.7 km/h



10・15モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)

- 完全暖機状態 60 km/h 15分暖機後モード測定
- 走行抵抗設定 車両(空車)状態 + 110 kg(2名乗車分)
- 搭載電気機器“OFF”状態
- エアコン“OFF”で測定



●JC08モード燃費について

JC08モード燃費とは

10・15モードに比べ、より実際の走行に近くなるように新たに設けられた試験方法で、大都市圏での走行実態調査に基づいています。

JC08モードの大きな特徴は、

- 細やかな加速・減速を繰り返す速度変化を与えながら走行
- エンジンが冷えた状態からの走行が追加
(冷機状態：25 %、暖機状態：75 %)

などがあります。

一般に燃料消費率は、10・15モードに比べやや低い値になります。

* 計測走行距離 約8.2 km、平均車速 24.4 km/h

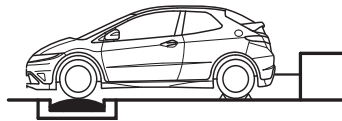
JC08モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)

- 完全暖機状態 60 km/h 15分暖機後モード測定
- 冷機状態からのモード測定
- 走行抵抗設定 車両(空車)状態+110 kg(2名乗車分)
- 搭載電気機器“OFF”状態
- エアコン“OFF”で測定

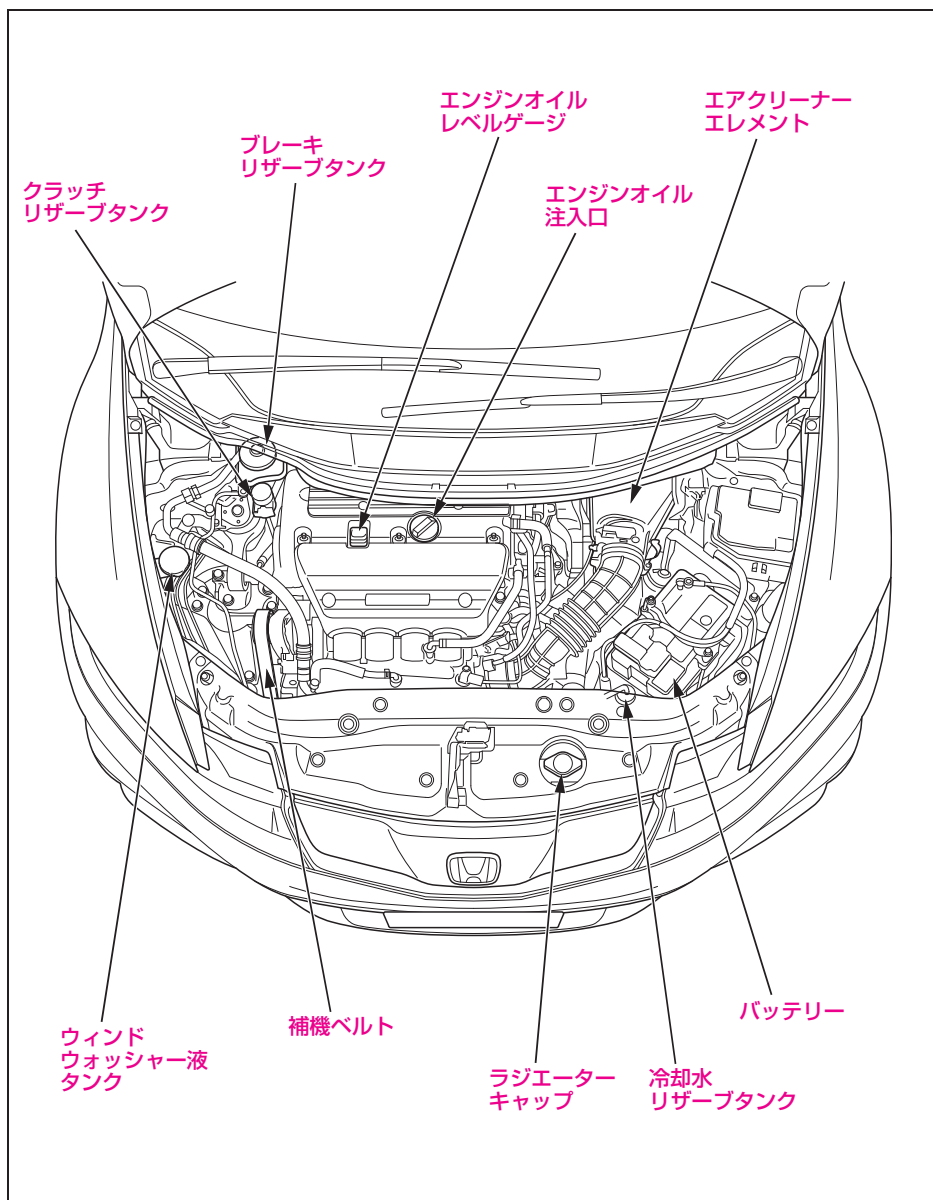
●モード燃費と実走行燃費との違い

モード燃費は図のようにシャーシダイナモーター上で定められた試験条件のもとで行われた燃費値です。

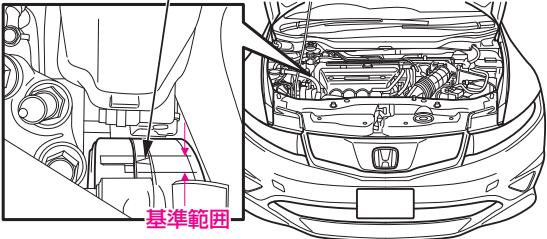
実際の走行時には気象、道路、車両、運転、整備などの状況が異なってきますので、それに応じて燃費が異なります。



サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目	サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量	インジケーター  基準範囲	
	<table><tr><td data-bbox="292 671 518 807">補機ベルト (発電機、 ウォーターポンプ、 エアコンディショナー)</td><td data-bbox="518 671 1025 807">自動調整式 (インジケーターが基準範囲内にあること)</td></tr></table>	補機ベルト (発電機、 ウォーターポンプ、 エアコンディショナー)
補機ベルト (発電機、 ウォーターポンプ、 エアコンディショナー)	自動調整式 (インジケーターが基準範囲内にあること)	

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
点火プラグ※	タイプ	NGK	IFR7G-11KS
		DENSO	SK22PR-M11S
	電極のすき間 (基準値)	1.0－1.1 mm	
ブレーキペダル	遊び	1－5 mm	
	床板とのすき間	80 mm 以上 {約196 N (20 kgf) の力}	
	カーペットとのすき間 (参考値)	43 mm 以上 {約196 N (20 kgf) の力}	
クラッチペダル	遊び	10－18 mm	
	床板とのすき間	149 mm 以上 (クラッチが切れたとき)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	126 mm 以上 (クラッチが切れたとき)	
パーキングブレーキ	引きしろ	6－7 ノッチ {約196 N (20 kgf) の力}	
バッテリー	容量／タイプ	36Ah (5HR) /46B24L (S)	

※： イリジウムプラグを使用しています。交換時期はメンテナンスノートを参照してください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ
電球(バルブ)	W(ワット)数	ヘッドライト(ロービーム)…………… 12V-35W ^{※1}
		ヘッドライト(ハイビーム)…………… 12V-55W ^{※2}
		フォグライト…………… 12V-55W ^{※2}
		前面方向指示器/前面非常点滅表示灯 …… 12V-21W(橙色)
		車幅灯…………… 12V-5W
		側面方向指示器/側面非常点滅表示灯 …… LED
		後面方向指示器/後面非常点滅表示灯 …… 12V-21W(橙色)
		番号灯…………… 12V-5W
		制動灯/尾灯…………… 12V-21/5W
		ハイマウントストップランプ…………… LED
		後退灯…………… 12V-16W
		前席室内灯/マップランプ…………… 12V-5W
		後席室内灯…………… 12V-8W
		バニティミラー照明灯…………… 12V-2W
		カーゴスペース照明灯…………… 12V-5W

※1：ディスチャージヘッドライト

※2：ハロゲンバルブ

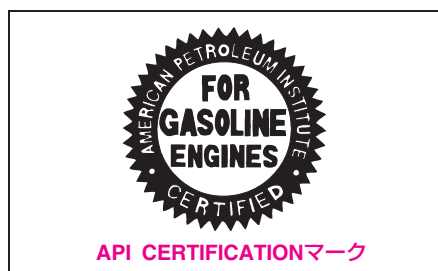
⚠ 注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブを交換する場合は、必ずHonda販売店で行ってください。
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

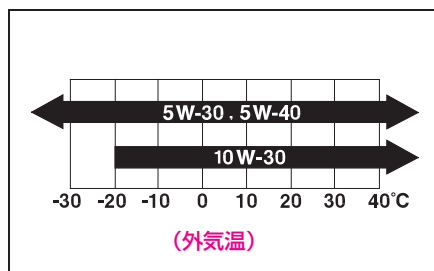
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エアクリナー エレメント	タイプ	湿式	
エンジンオイル	推奨オイル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラLTD-SM(API SM/GF-4級SAE 5W-30) ウルトラGOLD-SM(API SM級SAE 5W-40) ウルトラMILD-SM(API SM/GF-4級SAE 10W-30)	
	規定量	オイル交換時	4.2 L
		オイル、オイルフィル ター同時交換時	4.4 L

推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI SM級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイサーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



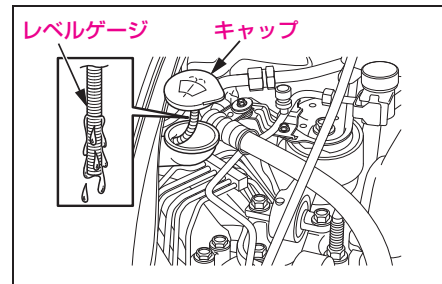
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ
燃料	指定燃料	無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)
	タンク容量	50 L
トランスミッション オイル	指定オイル	Honda純正オイルウルトラMTF-III
	規定量 (交換時)	1.9 L
冷却水	指定液	Honda純正ウルトラeクーラント
	規定濃度	50%
	規定量 (交換時リザーブ タンク0.5 L含む)	4.4 L
ブレーキ液	指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4
クラッチ液	指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4
ウォッシャー液	タンク容量	2.5 L

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ*	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	225/40R18 88Y	240 (2.4)	220 (2.2)		18×7½J

タイヤ溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※： この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。

名称	排気量 (cm ³)	車体形状	乗車定員 (人)	タイプ
シビック	1,998	2 ドア ハッチバック	4	TYPE R EURO

さくいん

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

ア

アクセサリソケット	241
雨の日の運転	316
アルミホイール	301
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	166
警告灯	125・167
取り扱いについて	167
ABSのしくみ	166
アンテナ	195

イ

イグニッション(エンジン)	
キーの種類	34
スイッチ	132
イモビライザーシステム	50
表示灯	119
イルミネーションコントロール	85

ウ

ウィンカー	
スイッチ	138
電球の交換	277・280・281
表示灯	117
ウィンドー	
パワーウィンドー	47
ウェアインジケーター	291
ウェルカムメーター照明	86
ウォッシュャー液	
液量の点検	329
スイッチ	139・141
タンクの容量	329
補給	329
動けなくなったとき	248・249
運転のしかた	144

エ

エアクリナーエレメント	328
エアクリーンフィルター	189
エアコン	176
インデックス	179
エアクリーンフィルター	189
オートエアコン	180
常用しないとき	188
使いかた	180
吹き出し風の調節	177
ベルト	325
エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯	128
エンジンオイル	
オイル量	328
オイルレベル警告表示	129
冬期の手入れ	314
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	328
エンジンキー(キー)	34
エンジンスイッチ	132
エンジンのかけかた	144

オ

追越合図(パッシング)	137
オーディオ	
インデックス	196
上手な使いかた	192
リモートコントロールスイッチ	227
AM/FMラジオ一体式	
CDステレオ	197
オートエアコン	180
オートレベリング機能	137
オーバーヒートしたとき	266
温度感知装置	188

カ

カーゴスペース照明灯	
電球の交換	282
カーゴスペースの作りかた	58
外装の手入れ	297
カスタマイズ機能について	100
カップホルダー	239
ガラスの手入れ	298
環境にやさしい省エネドライブを するために	320
簡単な整備	290
寒冷時の取り扱い	306

キ

キーオフオペレーション	49
キーの種類	34
キーレスエントリー一体キー	35
キーの電池が消耗したとき	285

ク

曇り取り(デフロスター)	184
車にあった部品の使用	304
車の積雪について	306
グローブボックス	236

ケ

警告灯	
警告灯類	120
電球切れの点検	131
ケミカル類	300
けん引	
けん引されるとき	252
故障車をけん引するとき	254

コ

工具(ツール)	
格納場所	244
種類	246
高速道路で故障したとき	248
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	282
コーナーセンサー/バックソナー	150
故障したとき	248
故障の修理について	249
小物入れ	236
こんなときは	316

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

サ

サービスデータ	324
三点式シートベルト	66
サンバイザー	234

シ

シート	
カーゴスペースの作りかた	58
正しい運転姿勢	54
フロントシート	56
リヤシート	58
シートベルト	64
種類	66
ショルダーアンカー	74
チャイルドシート固定機構	76
着用のしかた	73
非着用警告灯(前席)	124
非着用警告表示(後席)	130
リマインダー	
(非着用警報装置)	124・173
シートベルトプリテンショナー	
警告灯	165
シートベルトプリテンショナーのしくみ	164
取り扱いについて	165
事故が起きたとき	250
室内装備品	228
室内灯(ルームランプ)	
電球の交換	283
霜取り・曇り止め	184
前面／側面ガラス	184
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	278
充電警告灯	123
樹脂塗装部品	298
純正部品	304
省エネドライブ	320

ス

スイッチの使いかた	132
スノータイヤ(冬用タイヤ)	308
スパークプラグ(点火プラグ)	326
スピードメーター	83

セ

制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	281・282
整備	288
セーフティインジケーター	129
積雪・寒冷時の取り扱い	306
運転するとき	308
運転するまえ	306
駐車するとき	312
冬期の手入れ	313
セキュリティアラームシステム	
警報装置について	51
作動表示灯	52
セットのしかた	52
セキュリティシステム	
イモビライザーシステム	50・119
セキュリティアラームシステム	51・117
洗車のしかた	297
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	136
上向き(ハイビーム)表示灯	117
追越合図(パッシング)	137
オートレベリング機能	137
スイッチ	135
電球の交換	276・277

ソ

速度計(スピードメーター)	83
その他の安全装備	173

タ

タイヤ

位置交換(ローテーション)	292
ウェアインジケーター	291
空気圧	330
サイズ	330
スノータイヤ(冬用タイヤ)	308
チェーン	310
点検	290
タイヤ空気圧警報システム	
警告灯	126
作動について	126
初期化設定のしかた	113
タコメーター	83
正しい運転姿勢	54

チ

チェーン	310
チケットホルダー	235
チャイルドシート	19・69
チャイルドシート固定機構	
付きシートベルト	76
駐車	
積雪・寒冷時の取り扱い	312
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	121
積雪・寒冷時の取り扱い	312
操作	146
戻し忘れ警告	147
チルト／テレスコピック	
ステアリング	60

テ

ディスチャージヘッドライト	276
テールゲート	
開閉	40
施錠・解錠	36
デフロスター	184
点火プラグ	326
電気系統が異常のとき	268
電気装置が作動しないとき	270
電球(バルブ)	
交換	275
W(ワット)数	327
点検・整備について	288
電池交換	285

ト

ドア	
積雪・寒冷時の取り扱い	307
施錠・解錠	36
ドアミラー	61
冬期の手入れ	313
道路で動けなくなったとき	249
時計	225
塗装の手入れ	296
トップテザーアンカレッジ	69
トランスミッション	
オイルの容量	329

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

ナ

内装の手入れ	299
夏場の取り扱い	318

ニ

日常の手入れ	296
--------	-----

ネ

燃料(ガソリン)	
指定燃料	44・329
タンク容量	44・329
燃料計	84
燃料残量警告灯	124
補給口	44

ハ

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ)	
警告灯	121
積雪・寒冷時の取り扱い	312
操作	146
戻し忘れ警告	147
灰皿	233
ハイドロブレーニング現象	316
ハイビーム表示灯	117
ハイマウントストップランプ	173
電球の交換	280
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	143
電球の交換	277・280・281
発炎筒	
格納場所	244
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	60
パッシング(追越合図)	137
バッテリー	
充電	269
冬期の手入れ	314
バッテリーあがり	268
容量	326
バニティミラー(化粧鏡)	234
電球の交換	284
バルブ(電球)	
交換	275
ハロゲンバルブについて	276
パワーウィンドー	47
はさみ込み防止機構	49
パワーステアリング(EPS)	
警告灯	128
パンク	
パンクしたとき	256
汎用型ISOFIX取付装置(後席)	78

ヒ

ビークルスタビリティアシスト(VSA)	
運転のしかた	169
警告灯	125・171
取り扱いについて	170
表示灯	119・168
VSAのしくみ	168
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	143
電球の交換	277・280・281
尾灯	
電球の交換	281・282
ヒューズ	270
表示灯	116

フ

フォグライト	
スイッチ	138
点灯表示灯	117
電球の交換	279
吹き出し風の調節	177
踏切で動けなくなったとき	248
フューエルリッド	45
プラグ	326
ブレーキ	
警告灯	121
積雪・寒冷時の取り扱い	309
ブレーキ液	329
ペダル	326
ブレーキアシスト	
取り扱いについて	172
ブレーキアシストのしくみ	172
フロントシート	56

ヘ

ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	136
上向き(ハイビーム)表示灯	117
追越合図(パッシング)	137
オートレベリング機能	137
スイッチ	135
電球の交換	276・277
ベルトのたわみ量	325

ホ

ホイールサイズ	330
芳香剤	300
方向指示器(ウィンカー)	
スイッチ	138
電球の交換	277・280・281
表示灯	117
ホーンスイッチ	143
補機ベルト	325
ボンネット	42

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

マ

マップランプ	
使いかた	230
電球の交換	283
マルチインフォメーション	
警告表示について	95
工場出荷時設定のしかた	115
タイヤ空気圧警報システム	
初期化設定のしかた	113
ディスプレイ	88
表示について	89
万一のとき	243

ミ

ミラー	
ドアミラー	61
ルームミラー	60

メ

メーター(計器類)	82
-----------	----

コ

油圧警告灯	122
雪道走行後の手入れ	313

ラ

ライト消し忘れ警告	136
ライトスイッチ	135
ライト点灯表示灯	117
ライト類が点灯しないとき	270

リ

リムサイズ	330
リヤシート	58
リヤデフロスタースイッチ	142

ル

ルームミラー	
(防眩式室内後写鏡)	60

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	329
冬期の手入れ	314

ロ

ロアアンカレッジ	69
----------	----

ワ

ワイパー	
スイッチ	139
積雪・寒冷時の取り扱い	307
ワイパーブレードラバーの交換	293
ワックスがけ	298

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	166
警告灯	125・167
取り扱いについて	167
ABSのしくみ	166
A/C(エアコン)	
インデックス	179
エアクリーンフィルター	189
オートエアコン	180
吹き出し風の調節	177
ベルト	325

E

ELR・ALR付三点式	
シートベルト	66
ELR付三点式シートベルト	66
EPS(エレクトリックパワーステアリング)	
警告灯	128

I

INT(間欠ワイパー)	140・141
ISOFIX	69
i-VTECインジケーター	118

M

MIST(ワイパースイッチ)	140
----------------	-----

P

PGM-FI警告灯	122
PRESS(シートベルト	
バックル)	73

R

REVインジケーター	118
------------	-----

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

S

SRSエアバッグシステム

お子さまを乗せるときは	161
警告灯	125・163
作動しないとき	159
作動するとき	158
取り扱いについて	162
SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために	160
SRSエアバッグシステムのしくみ	156

T

TRIP(トリップメーター)	93
----------------	----

U

USB接続端子	242
---------	-----

V

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

運転のしかた	169
警告灯	125・171
取り扱いについて	170
表示灯	119・168
VSAのしくみ	168

W

W数(ライト類の電球のワット数)	327
------------------	-----



サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- **衝突によりセンサーが一定以上の衝撃を感知したとき**
 - エアバッグシステムの故障診断情報
 - エアバッグの作動に関する情報
 - 運転席および助手席のシートベルト着用の有無
- **常時**
 - 動力伝達機構の状態
 - 運転状態

HondaおよびHondaが委託した第三者は、記録されたデータを、技術的な診断やHondaの車両の研究開発の目的のために、取得・利用することがあります。
なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

HondaおよびHondaが委託した第三者は、取得したデータを、以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。

ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。

QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル

イ イ フ レ ア イ オ
0120-112010

受付時間 9：00～12：00 13：00～17：00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車検証記載事項

車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日

②車種名、タイプ名、走行距離

③ご購入年月日

④販売店名

こんなことでお困りのとき

●キーレスエントリーで解錠しても、自動で閉まってしまう

- ・キーレスエントリーで解錠してから、ドア、テールゲートを開けないまま、約30秒たっていませんか。

キーレスエントリーで解錠するとき →37ページ

●エンジンスイッチが回せない

“0”から“1”に回らないとき（ハンドルロックの解除）

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →133ページ

●エンジンがかからない

- ・イモビライザーシステム表示灯が点滅していませんか。

イモビライザーシステム →50ページ

- ・ガソリンが入っていますか。（メーター内の燃料計で確認してください。）
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →268ページ

- ・クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでいますか。

クラッチ・スタートシステム →145ページ

●パワーウィンドーの開閉ができない

- ・パワーウィンドーのメインスイッチが“OFF”になっていませんか。

パワーウィンドー →47ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

「ピピピピ」とブザーが繰り返し鳴り続けるときは

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告 →134ページ

「ピー」とブザーが鳴り続けるときは

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告 →136ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●水温計の針が“H”の目盛に入った

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)

オーバーヒートしたとき →266ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がある

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(Honda販売店で点検を行ってください。)

●走行中にブレーキを踏むと、ペダルが振動する

- ・アンチロックブレーキシステム(ABS)が作動したものとされます。

ABSのしくみ →166ページ

●走行するとブザーが鳴る

ブザーが鳴り、シートベルト非着用警告灯が点滅しているときは

- ・運転席(助手席)シートベルトを着用していますか。
(運転席または助手席のシートベルトを着用してください。)

シートベルトリマインダー →124ページ

ブザーが鳴り、ブレーキ警告灯が点灯しているときは

- ・パーキングブレーキを完全に解除していますか。
(パーキングブレーキを完全に解除してください。)

ブレーキ警告灯 →121ページ

パーキングブレーキ戻し忘れ警告 →147ページ



万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
最新の Honda 販売店情報は、携帯電話からも検索できます。
(検索方法は 343 ページをご覧ください)

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manual のホームページ
<http://www.honda.co.jp/manual/>